

群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第250集

下芝五反田遺跡

——奈良平安時代以降編——

北陸新幹線地域埋蔵文化財
発掘調査報告書第6集

《第3分冊》

1999

群馬県教育委員会
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
日本鉄道建設公団

群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第250集

しも しば ご たん だ い せき
下 芝 五 反 田 遺 跡

—— 奈良平安時代以降編 ——

北陸新幹線地域埋蔵文化財
発掘調査報告書第6集

《第3分冊》

1999

群馬県教育委員会
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
日本鉄道建設公団

凡 例

1. 出土位置について省略は、下記のとおりである。

床直 床面直上から5 cmまでの範囲である。

埋土 埋没土中、出土位置の明確でないもの。

住居でのグリッドは、85区、86区を省略してある。

R～Tは、85区、A～Qは、86区である。

2. 法量の項の記号、省略は下記のとおりである。

① 口径

② 底径

③ 器高

④ 高台径

柄径 蓋柄の最大径

胴径 瓶・甕等胴部最大径

銜径 羽釜銜端部最大径

頸径 長頸壺頸部最小径

1号住居

押収番号 押収番号	埋 器 類	類 種	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	③焼成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第15図 PL84	土師器 杯	埋土	1/6	① 11.6 ② 8.0 ③ 3.5	①粗砂粒 ②良好 ③褐色			口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第15図 PL84	土師器 杯	埋土、E-5	3/4	① 11.2 ② 5.3 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色			口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第15図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴 ほぼ完形		① 11.4 ② 5.8 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色			口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第15図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴 口唇部5/6欠		① 11.4 ② 6.2 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③によい赤褐色			口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
5 第16図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴	2/3	① 11.6 ② 5.5 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色			口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は砂感か。内面は斜め方向のナデ。	
6 第16図 PL84	土師器 杯	+14	2/3	① 11.7 ② 6.2 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色			口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、傾度が残る。底部は不定方向のヘラ削りで中央に離れ砂部分が残る。	
7 第16図 PL84	土師器 杯	埋土	1/4	① 11.8 ② 5.4 ③ (3.6)	①粗砂粒 ②良好 ③褐色			口唇部は横ナデ、口縁部は中にヘラ削り、その上下はナデ。底部はヘラ削り。	
8 第16図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴	1/2	① 11.9 ② 5.5 ③ 4.1	①細砂粒 ②良好 ③によい褐色			口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りで中央に離れ砂が残る。内面口縁はハケ目	
9 第16図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴 ほぼ完形		① 12.0 ② 5.6 ③ 3.8	①粗砂粒 ②良好 ③褐色			口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向ヘラ削り。底部は不定方向ヘラ削り中央に離れ砂が残る。内面黒色処理、口縁部ハケ目	
10 第16図 PL84	土師器 杯	埋土	1/6	① 12.8 ② 良好 ③ 褐色	①細砂粒 ②良好 ③褐色			口縁部は上位が横ナデ、中位・下位はナデで中位に指頭痕が残る。	
11 第16図 PL84	須恵器 杯	貯蔵穴	3/4	① 12.3 ② 5.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色			ロクロ成形、回転右回り。底部回転糸切り。	
12 第16図 PL84	須恵器 杯	埋土	1/3	① 12.6 ② 6.1 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰燻 ③明灰白色			ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
13 第16図 PL84	須恵器 碗	埋土 口縁部片		① 11.8	①細砂粒 ②還元焰 ③によい褐色			ロクロ成形、回転右回りか。	外面口縁部に墨書、文字判読不能。
14 第16図 PL84	須恵器 碗	埋土、E-3 (水田耕土)	1/4	① 12.3 ②7.2⑤6.8 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰燻 ③によい黄褐色			ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
15 第16図 PL84	須恵器 碗	埋土	1/3	① 12.4 ②7.2⑤6.4 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄褐色			ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
16 第16図 PL84	須恵器 碗	貯蔵穴	1/2	① 12.6 ②6.2⑤5.6 ③ 5.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄褐色			ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
17 第16図 PL85	須恵器 碗	+10 完形		① 13.3 ②6.2⑤5.7 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色			ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
18 第16図 PL85	須恵器 碗	P it 4、+12	1/2	① 13.3 ②6.0⑤5.7 ③ 4.8	①細砂粒・褐色粒 ②還元焰 ③灰白色			ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
19 第16図 PL85	須恵器 碗	貯蔵穴	1/3	① 13.4 ②6.7⑤5.8 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色			ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
20 第16図 PL85	須恵器 碗	貯蔵穴 高台欠		① 13.4 ② 6.8 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色			ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが脱落。	

21 第17回 PL85	須恵器 椀	貯蔵穴、カマド 口縁・底部の一 部欠	① 14.1 ②6.8③6.5 ③ 5.2	①細砂粒 ②熾火焼ざみ ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、 高台は貼付。	外面口縁部に墨書、「物」。
22 第17回 PL85	須恵器 椀	貯蔵穴 3/4	① 14.2 ② 6.6 ③ (4.6)	①細砂粒・褐色粒 ②熾火焼ざみ ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、 高台は貼付であるが脱落。	
23 第17回 PL85	灰釉陶器 椀	埋土 1/6	① 13.3 ②7.1③7.2 ③ 4.4	①微砂粒、水縮 ②熾火焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部はナデ、高台 は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色 かかった灰色。	大原2号室式期
24 第17回 PL85	灰釉陶器 椀	埋土、F-4 1/4	① 15.6 ②7.8③7.6 ③ 5.0	①微砂粒、水縮 ②熾火焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は 透明感のない緑灰色。	大原2号室式期
25 第17回 PL85	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒、水縮 ②熾火焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は漬け掛 け釉調は透明感のない灰白色。	口唇部に塚付着 大原2号室式期
26 第17回 PL85	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 17.6	①微砂粒、水縮 ②熾火焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は漬け掛 け、釉調は透明感のない灰色。	大原2号室式期
27 第17回 PL85	須恵器 長頸壺	埋土 頸部片	頸部径3.1	①細砂粒 ②熾火焼軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。	
28 第17回 PL85	須恵器 鉢	+6・14 1/3	① 37.6 ④ 26.0 ③ 13.8	①細砂粒 ②熾火焼軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明脚部は貼付で接合部は横方向のへう削り。内 面は底部から口縁部にかけてナデ。	
29 第17回 PL85	土師器 台付甕	Pit4、1住2次 2/3	① 11.2 ④ 8.6 ③ 16.4	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③におい赤褐色	内面に輪横痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は 上半が横方向、下半は縦方向のへう削り。脚部 は貼付で横ナデ。内面胴部はナデ。	
30 第17回	土師器 壺	埋土 口縁部片	① 11.2	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③におい赤褐色	口縁部は横ナデ、胴部は上位が横方向へう削り。 内面胴部は横方向のハケ目。	
31 第17回 PL85	土師器 壺	+9 口縁部片	① 19.0	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③棕色	内面に輪横痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は 上位が横方向へう削り。内面胴部は横方向のハ ケ目	
32 第17回	土師器 壺	埋土 口縁部片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③灰黄褐色	口縁部は横ナデ、胴部上位は横方向のへう削り。 内面胴部はへうナデ。	
33 第17回	須恵器 羽釜	埋土 口縁部片	① 14.4	①細砂粒 ②熾火焼 ③灰黄色	ロクロ成形、回転方向不明。脚は貼付。	
34 第17回	須恵器 羽釜	埋土 口縁部片	① 17.6	①細砂粒 ②熾火焼 ③棕色	ロクロ成形、回転方向不明。脚は貼付。	
探訪番号 図版番号	種 類 種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	石 礎 考
35第18回 PL86	石製品 四石	貯蔵穴 一部欠	長 (19.0) 幅 14.2 厚 10.3 孔 8.0×8.0×3.4 重 1,290.0		周囲は研磨で丸みをもたせ、凹は回転による擦 痕が見られる。	標名二ツ岳軽石
36第18回 PL86	石製品 四石	貯蔵穴 完全	長 29.6 幅 29.7 厚 10.2 孔 5.5×4.5×1.2 重 6,690.0		上面に縦打痕による小孔が5カ所見られる。	粗粒輝石安山岩
37第18回 PL86	石製品 石皿	床直 2/3	長 (42.4) 幅 40.4 厚 9.9 重 18,800		全体に擦痕が見られ、中央部の使用頻度が激し いため擦り減っている。	標名二ツ岳軽石

2号住居

探訪番号 図版番号	種 類 種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第21回 PL86	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 14.0	①細砂粒 ②良好 ③棕色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は斜 め方向のへう削り。	
2 第21回 PL86	須恵器 杯	床直、埋土 1/3	① 12.8 ② 5.6 ③ 3.7	①細砂粒 ②熾火焼 ③棕色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第218回 PL86	須恵器 杯	+9 宛形	① 13.0 ② 6.6 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第218回	須恵器 杯	床直 底部付近片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第218回 PL86	灰釉陶器 碗	カマド 口縁部片	① 14.6	①細砂粒、水滸 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
6 第218回	土師器 嬰	+6 口縁部片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は横ナデ、胴部上位はヘラ削り。	
7 第218回 PL86	土師器 嬰	+6・7・10 口縁部片	① 19.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

3号住居

押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 (単位 量 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第238回 PL86	須恵器 杯	掘方 1/5	① 12.0 ② 5.9 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第238回 PL87	須恵器 碗	埋土 1/2	① 14.1 ②7.2③7.3 ③ 5.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法高台貼付時ナデのため不明。	外面底部に墨書 「八木」
3 第238回 PL87	須恵器 碗	床直 2/3	① 14.8 ②6.2③6.2 ③ 5.7	①細砂粒 ②還元焰ざみ ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	外面口縁部に墨書、文字判読不能。
4 第238回 PL86	須恵器 碗	掘方 底部片	② 7.0 ③ 6.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
5 第238回 PL86	須恵器 碗	+7 底部へ口縁部 下位片	② 7.6 ④ 7.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
6 第238回 PL87	須恵器 皿	床直 1/4	① 15.2 ② 5.7 ③ (2.3)	①細砂粒・褐色粒 ②還元焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
7 第238回 PL87	灰釉陶器 土師器 口縁部片	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒、水滸 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色をおびた灰色。	
8 第24回	須恵器 鉢	掘方、埋土 口縁部片	① 35.8	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転方向不明。	
9 第24回 PL87	土製品 平瓦	掘方 小片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	上面は布目状、周囲はヘラ削り。側面もヘラ削り下面もヘラ削り。	
押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 (単位 量 cm, g)		特 徴 等	備 考
10第24回 PL87	鉄器 紡織車	床直 両端部を欠	長 (16.5)円盤径 5.0 厚 0.6 軸径 0.6~0.7		円盤部は厚さが中心で0.6cm、端部で0.3cmの断面が薄い台形状を呈す。	

4号住居

1 第27回	土師器 杯	カマド 1/4	① 10.8 ② 6.4 ③ 3.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位ナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第27回 PL87	須恵器 碗	+6 1/2	① 12.6 ②6.4③6.0 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	

3 第27回 PL87	須恵器 椀	床直 1/4	① 12.6 ②6.4③5.5 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰焼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り摩し技法不明、高台は貼付。	
4 第27回 PL88	須恵器 椀	+19 1/3	① 13.8 ②6.6③6.3 ③ 5.5	①粗砂粒 ②還元焰焼 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り、高台は貼付。	
5 第27回 PL88	須恵器 椀	埋土、G-5 1/4	① 13.8 ②7.1③6.4 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰焼 ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り、高台は貼付。	
6 第27回 PL88	須恵器 椀	床直、+10 1/4	① 14.2 ②7.3③7.0 ③ 5.8	①細砂粒 ②還元焰焼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り摩し技法不明、高台は貼付。	
7 第27回 PL88	灰釉陶器 椀	床直、G-4 1/2	① 15.0 ②8.0③7.8 ③ 5.1	①微砂粒、水靨 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り摩し技法はナデ調整のため不明、高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない緑灰色。	大塚2号窯式期
8 第27回	土師器 甕	+6 口縁部片	① 15.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口唇部に輪痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上位が横方向へ削り。内面胴部はヘラナデ。	
9 第28回 PL88	土師器 甕	+9 口縁部～胴部 中位	① 17.8	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪痕が残る。口縁部から胴部は横ナデ胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のへ削り内面胴部はヘラナデ。	
10 第27回	土師器 甕	カマド 口縁部片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は横ナデ、胴部は上位が横方向へ削り。内面胴部は横方向ハゲ目。	
11 第28回	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は横ナデ、胴部は上位が横方向へ削り。内面胴部は横方向のハゲ目。	
12 第28回 PL88	須恵器 甕	床直 口縁部～胴部 上位片	① 19.6	①細砂粒 ②還元焰焼 ③にぶい黄褐色	外面の整形は不鮮明。内面胴部は横方向のハゲ目	

5号住居

神岡番号 図版番号	器 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第31回	須恵器 椀	カマド 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②還元焰焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第31回 PL88	須恵器 椀	床直 底部片	② 6.2 ④ 6.2	①細砂粒 ②還元焰焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り、高台は貼付。	
3 第31回 PL88	土師器 台付甕	床直、3住 底部片	② 4.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部下位は縦方向のへ削り。内面はヘラナデ。	
4 第31回 PL88	土師器 甕	床直 底部片	② 3.7	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部下位は縦方向のへ削り。底部もへ削り。内面はヘラナデ。	
5 第31回	須恵器 甕	床直 胴部片		①粗砂粒 ②還元焰焼 ③灰色	外面は平行叩き後横方向に3cmほどの間隔でかき目。内面下半は同心円状アケ貝痕が残る。	

6号住居

神岡番号 図版番号	器 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第34回 PL88	土師器 杯	埋土、B-4 1/3	① 11.6 ② 6.6 ③ 3.7	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のへ削り。底部は不定方向のへ削り。	
2 第34回	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 12.0	①細砂粒 ②還元焰焼 ③褐色	内面黒色地焼。ロクロ成形、回転方向不明。	

3 第34図 PL88	須恵器 杯	床直 2/3	① 11.6 ② 4.2 ③ 3.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③赤褐色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。
4 第34図 PL88	須恵器 杯	床直 1/3	① 11.6 ② 4.7 ③ 3.5	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい赤褐色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。
5 第34図 PL88	須恵器 杯	床直 1/2	① 12.0 ② 4.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②燧火屑 ③明赤褐色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。
6 第34図 PL88	須恵器 杯	床直 3/4	① 12.4 ② 5.0 ③ 4.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③明赤褐色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。
7 第34図 PL89	須恵器 杯	床直 3/4	① 12.6 ② 5.5 ③ 3.5	①粗砂粒 ②燧火屑 ③赤褐色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。
8 第34図 PL89	須恵器 杯	埋土、B-4 1/3	① 13.0 ② 7.2 ③ 3.5	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。
9 第35図 PL89	須恵器 椀	+19、B-4 2/5	① 13.4 ② 6.6 ③ 4.4	①細砂粒 ②燧火屑ごみ ③灰黄色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。
10 第35図 PL89	須恵器 椀	埋土 2/5	① 11.0 ②6.4③6.2 ④ 4.7	①細砂粒 ②燧火屑軟質 ③灰色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。
11 第35図 PL89	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.6 ②6.8③6.6 ④ 5.0	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	クロロ成形成、回転右回りか。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。
12 第35図 PL89	須恵器 椀	+15 1/4	① 12.2 ②6.6③6.8 ④ 4.5	①粗砂粒 ②燧火屑僅 ③黒褐色	クロロ成形成、回転右回りか。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。
13 第35図 PL89	須恵器 椀	+12 口縁部一部欠	① 12.5 ②6.3③6.2 ④ 4.7	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
14 第35図 PL89	須恵器 椀	+6 ほぼ完形	① 12.5 ②6.0③5.4 ④ 5.3	①粗砂粒 ②燧火屑 ③黄灰色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
15 第35図 PL89	須恵器 椀	+15 1/6	① 12.0 ②7.6③6.8 ④ 5.0	①細砂粒 ②燧火屑ごみ ③浅黄褐色	クロロ成形成、回転右回りか。底部切り離し技法不明。高台は貼付。
16 第35図 PL89	須恵器 椀	+7 口縁部一部欠	① 13.6 ②6.6③6.0 ④ 4.9	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
17 第35図 PL89	須恵器 椀	カマド 1/4	① 13.4 ②6.2③6.0 ④ 5.1	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	クロロ成形成、回転右回りか。底部切り離し技法不明。高台は貼付。
18 第35図 PL89	須恵器 椀	床直、+8 1/4	① 14.4 ②7.8③6.7 ④ 4.8	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
19 第34図 PL89	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 14.2 ②6.8③5.7 ④ 5.0	①粗砂粒、褐色粒 ②燧火屑 ③にぶい赤褐色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
20 第35図 PL89	須恵器 椀	床直、+10 口縁部一部・高 台一部欠	① 14.2 ② 6.8 ③ 4.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが打ち欠き剥離面をすり込んでいる。
21 第35図 PL89	須恵器 椀	埋土 高台一部欠	① 14.4 ②7.4③7.4 ④ 5.9	①粗砂粒、褐色粒 ②燧火屑 ③灰黄色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
22 第35図 PL89	須恵器 (底部穿孔)	壺方、埋土 1/2	① 14.4 ②7.2③7.0 ④ 5.7	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄色	クロロ成形成、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。焼成前に底部穿孔、孔径0.8cm
23 第35図 PL89	須恵器 椀 (底部穿孔)	+8 底面片	② 7.4 ③ 7.2	①粗砂粒 ②燧火屑ごみ ③灰黄色	クロロ成形成、回転右回りか。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。焼成前に底部穿孔、孔径1.4cm

24 第36回 PL90	須恵陶 椀 (底部穿孔)	埴土 底部	② 7.6 ④ 7.5	①粗砂粒 ②燻火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。焼成前に穿孔。孔径0.7cm。口縁部は打ち欠いた可能性がある。	
25 第36回 PL90	灰釉陶器 小椀	埴土、B-1 1/3	① 9.6 ②9.8③9.2 ④ 3.0	①微砂粒、水鏡 ②燻火焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲのため不明、高台は貼付。口縁部下半は回転へら削り。施釉方法は刷毛塗りか。	光ヶ丘1号窯式 期
26 第36回 PL90	灰釉陶器 小椀	+26、C-6、B-4 1/2	① 10.0 ②5.2③5.0 ④ 3.2	①微砂粒、水鏡 ②燻火焰 ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲのため不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。軸調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
27 第36回	灰釉陶器 椀	埴土 口縁部片	① 16.0	①微砂粒 ②燻火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか。軸調は透明感のない灰白色。	光ヶ丘1号窯式 期
28 第36回 PL90	灰釉陶器 椀	+8 口縁部下位～ 底部片	② 7.0 ④ 6.2	①微砂粒、水鏡 ②燻火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み部に重焼き板が残る。底部切り離し技法はナゲで不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか。	光ヶ丘1号窯式 期
29 第36回 PL90	灰釉陶器 椀	埴土 口縁部下位～ 底部片	② 8.2 ④ 8.0	①微砂粒 ②燻火焰焼締め ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み部に重焼き板が残る。底部切り離し技法はナゲで不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか。	光ヶ丘1号窯式 期
30 第36回 PL90	灰釉陶器 椀	埴土 底部	② 8.4 ④ 8.0	①粗砂粒 ②燻火焰 ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、軸調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
31 第36回	須恵陶 長頸壺	埴土 底部片	② 8.6 ④ 9.0	①粗砂粒 ②燻火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
32 第36回 PL90	須恵器 短頸壺	埴土 底部片	② 14.0 ④ 14.0	①細砂粒 ②燻火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。胴部最下位に1条の凸帯が巡る。	
33 第36回 PL90	土師器 壺	埴土 口縁部～胴部 上位片	① 18.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪痕が残る。口縁部から胴部は横ナゲ胴部上位は横方向のへら削り。内面胴部はへらナゲ。	
34 第36回 PL90	土師器 台付壺	埴土 脚部片	② 5.0 ④ 9.4	①細砂粒 ②良好 ③褐色	脚部は接合。接合部分から脚部は横ナゲ。	
35 第36回 PL90	須恵器 壺	+27、A-5・B-4 ・C-4 口縁部	① 41.4	①粗砂粒、小礫 ②燻火焰 ③黄灰色	口縁部は波状文(4条)が施されている(段数不明)。	
36 第36回	須恵器 壺	+21 底部片	② 16.0	①粗砂粒、白色粒 ②燻火焰 ③灰色	胴部はナゲ、底部はへら削り。内面胴部はナゲ。	
37 第36回	須恵陶 羽釜	埴土 口縁部～胴部 上位片	① 22.0 脚径 25.0	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。脚は貼付。口唇部に凹線が1条巡る。	

7号住居

探検番号 採取番号	種類 形態	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第39回	土師器 杯	埴土 口縁部片	① 14.6	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上位が横ナゲ、中位はナゲ、下位は横方向のへら削り。	
2 第39回 PL90	須恵器 杯	床直 宛形	① 11.4 ② 6.4 ③ 3.6	①微砂粒 ②燻火焰ざみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向へのへら削り。	
3 第39回 PL90	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① 12.2 ② 5.7 ③ 4.1	①粗砂粒 ②燻火焰焼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	外面口縁部に墨書、「物」
4 第40回 PL90	須恵器 椀	床直 宛形	① 12.4 ②6.4③5.4 ④ 6.9	①粗砂粒、小礫 ②燻火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第40回 PL90	須恵器 椀	床直 ほぼ宛形	① 13.4 ②7.1③6.6 ④ 4.5	①粗砂粒 ②燻火焰ざみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	外面口縁部に墨書、「万得」。

6 第40図 PL90	須置器 椀	カマド 口縁部片	①	14.6	①細砂粒、褐色粒 ②燧火屑 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は割離。	
7 第40図 PL91	須置器 椀	埋土 口縁部片	①	15.6	①細砂粒、褐色粒 ②燧火屑 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。	
8 第40図 PL91	須置器 椀	埋土 口縁部下位～ 底部片	② ④	8.2 7.4	①粗砂粒 ②燧火屑 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
9 第40図	須置器 羽釜	埋土 口縁部片	①	19.8	①細砂粒 ②燧火屑 ③によい褐色	ロクロ成形、露は貼付。	

8号住居

探出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	量	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第43図 PL91	土師器 杯	+13、埋土 1/2	①	10.8	①細砂粒 ② 5.0 ③ 4.6	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第43図 PL91	土師器 杯	+16 1/6	① ② ③	12.0 7.7 3.7	①細砂粒 ②良好 ③によい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第43図	土師器 杯	+13 口縁部片	① ② ③	12.0 7.0 3.3	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第43図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① ② ③	12.0 7.6 3.8	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削りか。	
5 第43図 PL91	土師器 杯	+8 1/5	① ② ③	12.4 6.4 3.1	①粗砂粒、白色粒 ②良好 ③によい赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
6 第43図 PL91	土師器 杯	埋土 1/5	① ② ③	12.2 7.6 4.0	①細砂粒 ②良好 ③鈍い褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上位・下位に横方向のヘラ削り、中位はナデ、底部は不定方向のヘラ削りで中央に離れ砂部分が残る。	
7 第43図 PL91	土師器 杯	床直、+24 1/3	① ② ③	12.7 8.0 4.4	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③によい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、下半はナデで一部に横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
8 第43図 PL91	土師器 椀	+8・11、埋土 1/5	① ② ③	13.6 6.4 6.0	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③によい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、高台は貼付。	
9 第43図 PL91	黒色土器 椀	カマド 底部欠	①	13.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③によい褐色	内面黒色処理で二次焼成により割離か。ロクロ成形、回転右回り。内面口縁部に放射状暗文状のヘラ磨き。	
10 第43図	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	①	14.6	①細砂粒 ②燧火屑 ③明赤褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内面口縁部は縦方向、横方向の粗いヘラ磨き。	
11 第43図 PL91	須置器 杯	埋土 1/5	① ② ③	11.4 5.8 3.4	①細砂粒 ②燧火屑 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
12 第44図 PL91	須置器 杯	埋土 2/3	① ② ③	12.0 6.2 3.1	①細砂粒、白色粒 ②燧火屑 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
13 第44図	須置器 杯	+14、埋土 1/5	① ② ③	13.2 7.6 3.7	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
14 第44図 PL91	須置器 杯	床直、埋土 1/5	① ② ③	13.8 8.0 3.3	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
15 第44図 PL91	須置器 杯	+15 底部	②	5.8	①細砂粒 ②燧火屑 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。	

16 第44回 PL91	須志器 椀	埴土 1/2	① 12.0 ② 5.2 ③ 4.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
17 第44回 PL92	須志器 椀	床直 完形	① 10.6 ②6.4③6.0 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰槽 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか、高台は貼付。	
18 第44回 PL92	須志器 椀	床直 完形	① 10.6 ②6.4③6.0 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰槽 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか、高台は貼付。	
19 第44回 PL92	須志器 椀	床直 口縁部一部欠	① 10.8 ②6.6③6.4 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰さみ ③にぶい褐色	内面に粘土層巻き上げ痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
20 第44回 PL92	須志器 椀	埴土、A-5 1/3	① 12.6 ②5.8③5.2 ③ 4.6	①細砂粒 ②還元焰槽 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
21 第44回 PL92	須志器 椀	埴土 1/4	① 12.4 ② 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが脱落。	
22 第44回 PL92	灰軸陶器 椀	埴土 口縁部片	① 16.6	①細砂粒 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。施軸方法不明、軸調は透明感のない灰色。	大塚2号窯式期
23 第44回 PL92	灰軸陶器 皿	埴土 口縁部片	① 13.7	①細砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下半は回転ヘラ削り。施軸方法は濡け掛け、軸調はやや緑色をおびた灰色。	大塚2号窯式期
24 第44回	灰軸陶器 皿	埴土 底部片	② 7.0 ④ 6.8	①細砂粒、水滲 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施軸方法不明、軸調はやや緑色をおびた灰色。	大塚2号窯式期
25 第44回 PL92	灰軸陶器 皿	埴土 底部	② 7.0 ④ 6.8	①細砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。口縁部下半は回転ヘラ削り。施軸方法は濡け掛け。	大塚2号窯式期
26 第44回 PL92	灰軸陶器 皿	埴土、B-3 底部片	② 8.2 ④ 7.6	①細砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施軸方法は濡け掛けか、軸調はやや緑色をおびた灰色。	大塚2号窯式期
27 第44回 PL92	灰軸陶器 短頸甕	埴土、T-5、A-5 口縁部～胴部上 位片	① 10.2	①細砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施軸方法不明、軸調はやや緑色をおびた灰色。	
28 第44回 PL92	須志器 短頸甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 16.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。内面胴部はナデ。	
29 第44回 PL92	須志器 羽釜	カマド、床直 口縁部～胴部中 位片	① 21.2 口径 24.6	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。肩は貼付。胴部中位は斜め方向のヘラ削り。	
30 第44回	須志器 甕	埴土 口縁部片	① 25.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。器面剥落。	
31 第45回 PL92	須志器 甕	埴土 口縁部片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、口縁部は沈線による区画と波状文が施文。	
32 第45回 PL92	須志器 甕	カマド 胴部下半片	② 16.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。内面に輪痕が残る。胴部最下位に回転ヘラ削り。	
神岡番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	石 器 材 考	
33第45回 PL93	石製品 袴帯流方	カマド 完形	縦 3.5 横 3.7 厚 0.6 重 17.8		裏面に留め具用の孔が4カ所、そのうち1カ所に網眼状のものが残存	備後岩

9号住居

神岡番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第48回 PL93	須志器 杯	床直 1/2	① 12.0 ② 6.8 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

2 第48回 PL93	須恵器 杯	+10、埋土 1/3	① 12.8 ② 5.7 ③ 3.7	①粗砂粒 ②燻火箱 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第48回 PL93	須恵器 杯	床直 2/3	① 12.8 ② 6.8 ③ 3.9	①粗砂粒 ②燻火箱 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第48回 PL93	須恵器 杯	埋土 1/3	① 13.2 ② 9.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②燻火箱 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部へラ切り後回転へラ削り。	
5 第48回 PL93	須恵器 碗	+9 1/3	① 11.0 ② 5.7 ③ 4.2	①細砂粒 ②燻火箱 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第48回 PL93	須恵器 碗	+7 1/3	① 13.4 ②6.2③5.4 ③ 4.8	①細砂粒 ②燻火箱 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付。口縁部下位はへラナゲ。	
7 第48回 PL93	須恵器 碗	埋土 1/4	① 14.0 ②7.2③6.6 ③ 5.0	①粗砂粒 ②燻火箱軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第48回 PL93	須恵器 碗	床直、+9、埋土 高台欠	① 14.8 ② 7.0 ③ (5.3)	①細砂粒 ②燻火箱 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
9 第48回	須恵器 碗	埋土 口縁部片	① 13.9	①細砂粒 ②燻火箱 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
10 第348回	須恵器 碗	+17 口縁部片	① 17.7	①細砂粒 ②燻火箱 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
11 第48回	須恵器 碗	埋土 底部	② 6.2 ④ 5.6	①細砂粒 ②燻火箱 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第48回 PL93	須恵器 碗	床直 底部	② 9.2 ④ 9.0	①粗砂粒 ②燻火箱 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。内面底部面が剥離しておりその面に回転糸切りが見られる。	
13 第48回 PL93	灰釉陶器 皿	カマド 1/6	① 14.2 ②7.4③6.8 ③ 2.8	①微砂粒 ②燻火箱焼締め ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。高軸方法は横け掛け、軸調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
14 第48回 PL93	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部片	① 15.6	①微砂粒、水曜 ②燻火箱焼締め ③灰白色	ロクロ成形。施釉方法は刷毛塗りか、軸調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
15 第49回 PL94	土師器 壺	カマド、床直、 +10 1/5	① 19.8 ② 8.0 ③ 28.4	①細砂粒 ②中軟質 ③改黄褐色	口縁部は横ナゲ、胴部は中位から下位にかけて縦方向のへラ削り。内面胴部はへラナゲ。	
16 第48回 PL94	土師器 壺	床直 口縁部～胴部 上位片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪積痕が残る、口縁部から頸部は横ナゲ胴部は上位が横方向のへラ削り。内面胴部はへラナゲ。	
17 第48回 PL94	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のへラ削り。内面胴部はへラナゲ。	
18 第49回 PL94	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のへラ削り。内面胴部はへラナゲ。	
19 第49回 PL94	土師器 壺	カマド、床直 口縁部～胴部 上位片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のへラ削り。内面胴部はへラナゲ。	
20 第49回 PL94	須恵器 羽釜	床直、+6・10口 縁部～胴部 上位片	① 19.0 跨径 21.2	①粗砂粒 ②燻火箱 ③よい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部は下位から跨へ削りてのへラ削り。	
21 第49回	土師器 杯	床直 製入品 1/5	① 12.8 ② 10.0 ③ 4.1	①微砂粒 ②軟質 ③よい黄褐色	口縁部は上半が横ナゲ、下半はへラ削り。底部もへラ削り。内面は口縁部に放射状、底部に環状状文。	
編図番号 国定番号 22第48回 PL94	器 類 種 器 種	出土位置 残存率	計 画 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	備 考	
	鉄器 刀子	+10 刀部片	長 (8.7) 幅 1.0 厚 0.4		刀身と刀端の厚みは僅かである。	

10号住居

棟号 図版番号	種 器 類	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第51図 PL94	須恵器 杯	埋土 1/3	① 12.2 ② 6.8 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第51図 PL94	須恵器 杯	埋土 1/5	① 12.8 ② 7.8 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	クロロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第51図	須恵器 杯	埋土 1/6	① 12.2 ② 7.0 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第51図	須恵器 杯	+13 1/3	① 13.4 ② 9.0 ③ 2.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	クロロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第51図 PL95	須恵器 杯	+6 口縁部一部欠	① 13.4 ② 7.4 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第51図 PL95	須恵器 椀	床直 ほぼ完成	① 15.0 ②7.2③6.8 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	クロロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第51図 PL95	須恵器 椀	床直 完成	① 16.0 ②8.4③8.2 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	クロロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	内面にウルシ付着。
8 第51図 PL95	須恵器 皿	床直 完成	① 13.0 ②6.2③5.6 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第51図	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.4 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	クロロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は不明。	大原2号窯式刷
10 第51図	須恵器 短頸壺	埋土 口縁部片	① 11.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	クロロ成形、回転右回りか。	
11 第51図 PL95	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 17.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はハゲ目。	
12 第52図 PL95	土師器 台付甕	+8、埋土 胴部下半片	② 5.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部下半は縦方向のヘラ削り。脚部との接合部は横ナゲか。内面胴部はヘラナゲ。	
13 第52図 PL95	須恵器 甕	床直 口縁部～胴部 中位片	直径19.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	胴部の一部に自然釉が付着。外面は平行叩き。内面にはアケ具痕が残る。	
14 第51図 PL95	土師器 杯	埋土 混入品 1/3	① 12.4 ② 8.8 ③ 4.2	①細砂粒 ②やや軟質 ③他色	底部に粘土継ぎき上げ痕が残る。口縁部は上半がナゲ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	

11号住居

棟号 図版番号	種 器 類	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第54図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 11.4 ② 7.4 ③ (3.0)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部中ほどに1条の凹線が走る。口縁部は上半が横ナゲ、下半がナゲ、底部はヘラ削り。	
2 第54図 PL95	土師器 杯	埋土、22往 1/4	① 12.8 ② 10.4 ③ 3.3	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は上半が横ナゲ、下半がナゲ、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第54図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
4 第54図	土師器 甕	床直 胴部下位片		①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	

12号住居

挿入番号 図版番号	種 類	出土位置 数 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第56図 PL96	須恵器 杯	床直 1/5	① 10.6 ② 5.2 ③ 3.4	①細砂粒 ②燻火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第56図 PL96	須恵器 杯	埋土、20・23住 1/3	① 11.8 ② 5.4 ③ 3.4	①粗砂粒 ②燻火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第56図 PL96	須恵器 椀	床直 2/3	① 12.2 ②6.6③6.4 ③ 5.6	①細砂粒、褐色粒 ②燻火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第56図 PL96	須恵器 椀	床直 1/5	① 12.8 ②6.4③6.8 ③ 4.5	①細砂粒 ②燻火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明、高台は貼付。	
5 第56図 PL96	須恵器 椀	+7、埋土 1/4	① 14.0 ②7.2③6.5 ③ 5.4	①細砂粒 ②燻火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ナゲで不明、高台は貼付。	
6 第56図 PL96	須恵器 椀	床直 3/4	① 15.4 ② 7.9 ③ (5.9)	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ナゲで不明、高台は貼付であるが下半を打ち欠 いている。	
7 第56図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②燻火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
8 第56図 PL96	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部片	① 15.4	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
9 第57図	須恵器 椀	床直 底部片	② 6.4 ④ 6.4	①粗砂粒 ②燻火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り難し技法 はナゲで不明、高台は貼付。	
10 第57図 PL96	須恵器 椀	床直 底部	② 6.4 ④ 6.2	①粗砂粒 ②燻火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ナゲで不明、高台は貼付。	
11 第57図 PL96	須恵器 椀	+7 口縁部下半	② 6.2	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 ナゲ調整。高台は貼付であるが割落。	
12 第57図 PL96	須恵器 椀	床直、埋土 高台片	④ 11.2	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。	
13 第57図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.0	①細砂粒 ②燻火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛 け輪調は透明感のない灰色。	大塚2号窯式期
14 第57図 PL96	灰釉陶器 椀	床直、G-3 底部	② 7.4 ④ 7.0	①細砂粒 ②燻火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ナゲで不明、高台は貼付。施釉方法は漬け掛 け、輪調は透明感のない灰色。	大塚2号窯式期
15 第57図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.6	①細砂粒 ②燻火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ナゲで不明、高台は貼付。施釉方法は不明。	大塚2号窯式期
16 第57図	灰釉陶器 椀	+7 底部片	② 9.0 ④ 8.2	①細砂粒 ②燻火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ナゲで不明、高台は貼付。	大塚2号窯式期
17 第57図 PL96	須恵器 羽釜	床直、埋土、 22住 1/5	① 18.0 ② 4.8 ③ 22.8	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、脚は貼付。胴部は縦方向、底部付 近は斜め方向のヘラ削り。内面胴部の下位はナ ゲ。	
18 第57図 PL96	須恵器 羽釜	床直、+8・9 口縁部～胴部 下位片	① 19.8 脚径 21.6	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、脚は貼付。胴部は下半が縦方向 のヘラ削り。	
19 第57図 PL97	須恵器 羽釜	床直、+8、 埋土、G-3・4 口～胴中位片	① 20.2 脚径 23.6	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、脚は貼付。	
20 第57図 PL97	須恵器 羽釜	床直、+10 G-3 口～胴下位片	① 21.0 脚径 24.0	①粗砂粒 ②燻火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、脚は貼付。胴部は下半が斜め方 向のヘラ削り。	

21 第57図	須志器 羽釜	埋土 胴部下位片	㊲ 8.0	①粗砂粒、小礫 ②燉火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。胴部下位は縦方向のへう削り。	
22 第58図 PL.97	須志器 壺	埋土 口縁部～胴部片	① 46.4 胴径37.4	①粗砂粒 ②燉火焰 ③灰色	ロクロ成形。頸部で胴部と口縁部を接合、接合部はナデ。口縁部の一部もナデ。	

13号住居

検出番号 図版番号	種類 類種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第61図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 10.8 ② 9.6 ③ (2.8)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	内面口唇部に1条の凹線が走る。口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部はへう削り。	
2 第61図	須志器 椀	床直 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②燉火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
3 第61図	須志器 椀	埋土 底部片	② 7.8 ④ 6.4	①粗砂粒 ②燉火焰 ③残黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第61図	土師器 壺	カマド脇方 口縁部片	① 11.8	①粗砂粒 ②良好 ③明褐色	内面に輪横痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、胴部上位は横方向のへう削り。内面胴部はへうナデ	
検出番号 図版番号	種類 類種	出土位置 残存率	計 量 (単位 cm, g)	①粘土 ②焼成 ③色調	特 徴 等	石 器 材 考
5 第61図 PL.97	石製品 管玉	埋土 完形	長0.8 径0.6 孔0.2 重			蛇紋岩

14号住居

検出番号 図版番号	種類 類種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第64図 PL.97	須志器 杯	床直、埋土 2/3	① 10.2 ② 6.0 ③ 3.1	①細砂粒 ②燉火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第64図 PL.97	須志器 杯	床直、+9 1/5	① 10.4 ② 4.6 ③ 2.8	①粗砂粒 ②燉火焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第64図 PL.97	須志器 杯	貯蔵穴 3/4	① 11.0 ② 4.5 ③ 4.7	①粗砂粒 ②燉火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第64図	須志器 杯	埋土 口縁部片	① 11.8 ② 5.8 ③ 3.5	①粗砂粒 ②燉火焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第65図 PL.97	須志器 椀	貯蔵穴 口縁部一部欠	① 11.0 ② 3.8 ③ 3.9	①粗砂粒 ②燉火焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第65図 PL.97	須志器 椀	貯蔵穴 完形	① 11.6 ② 5.1 ③ 4.1	①粗砂粒 ②燉火焰 ③残黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第65図 PL.58	須志器 椀	床直、埋土 1/2	① 12.6 ② 5.4 ③ 4.0	①粗砂粒 ②燉火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第65図 PL.58	須志器 椀	床直、+7、埋土 1/2	① 10.8 ②7.0③5.8 ④ 4.2	①粗砂粒 ②燉火焰 ③暗オリーブ灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第65図 PL.58	須志器 椀	+7 口縁部・高台 一部欠	① 12.0 ②6.4③6.2 ④ 4.8	①粗砂粒 ②燉火焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	外面口縁部に墨書「物」
10 第65図 PL.58	須志器 椀	貯蔵穴 完形	① 11.8 ②6.0③5.8 ④ 5.1	①粗砂粒 ②燉火焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

11 第65図 PL98	須恵器 椀	貯蔵穴 1/3	① 11.8 ②7.5③6.8 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
12 第65図 PL98	須恵器 椀	床直 2/3	① 12.0 ②7.6③7.0 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
13 第65図 PL98	須恵器 椀	貯蔵穴、+12 1/3	① 12.4 ②6.3③6.0 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
14 第65図 PL98	須恵器 椀	床直 1/4	① 12.6 ②6.8③6.4 ③ 4.7	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
15 第65図	須恵器 椀	床直 1/6	① 12.8 ②7.5③7.0 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
16 第65図 PL98	須恵器 椀	貯蔵穴 3/4	① 12.2 ② 6.4 ③ (4.6)	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付であるが剥落。	
17 第65図 PL98	須恵器 椀	カマド、床直 +7 貯蔵穴	① 15.0 ② 8.0 ③ (5.4)	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。	
18 第65図 PL98	灰釉陶器 椀	埋土、E-7 底部～口縁部下位	② 7.2 ④ 6.8	①微砂粒、水層 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか。	光ヶ丘1号室式 期
19 第65図 PL98	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 9.4 ④ 8.6	①微砂粒、水層 ②還元焰焼締め ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか。釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号室式 期
20 第65図	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.1 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は不明。	
21 第65図 PL98	須恵器 長頸壺	埋土、15住、D-6 E-5-6、F-5-6 胴部上位片	頸径 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。頸部と胴部は接合であるが接合部は不詳明。	
22 第65図	須恵器 甕	床直 底部片	② 15.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。内面に輪模痕が残る。	
23 第65図 PL98	須恵器 羽釜	埋土、E-6 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 脚径 23.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形。脚は貼付。	
24 第65図	須恵器 甕	床直 胴部下位片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。外面に自然粘付着。	
採掘番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等 徴	石 備 材 備 考
25第65図 PL98	石製品 砥石	+9 1/2	長 (9.0) 幅 5.8 厚 1.4～4.4 重 215		各面に磨痕が見られ、中ほどの使用頻度が激しく著しくすり減っている。	砥沢石

15号住居

採掘番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第68図 PL99	須恵器 椀	+8 完形	① 12.4 ② 6.2 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
2 第68図 PL99	須恵器 椀	床直 3/4	① 13.0 ②6.0③5.4 ③ 5.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
3 第68図 PL99	須恵器 椀	埋土 口縁部小片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。	外面口縁部に墨書、文字判読不能。
4 第68図	須恵器 皿	埋土 口縁部片	① 13.6 ②8.9③9.8 ③ 2.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。	

16号住居

棟号 図版番号	種類 種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第70回 PL99	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.6	①胎土 ②焼成 ③色調	口縁部は上半が横ナゲ、下半が横方向のヘラ削り。 内面は斜放射状暗文。	
2 第70回 PL99	須恵器 蓋(杯・椀)	埋土 口縁部片	① 11.2	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。横みは貼付か。	
3 第70回 PL99	須恵器 蓋(杯・椀)	埋土 口縁部片	① 11.6	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。横みは貼付。	
4 第70回 PL99	須恵器 蓋(杯・椀)	埋土 口縁部片	① 17.6	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。	
5 第70回 PL99	須恵器 杯	埋土、17住、T-3 1/4	① 13.3 ② 7.8 ③ 4.2	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
6 第70回 PL99	須恵器 杯	床直、埋土 18住、A-4 1/2	① 13.6 ② 8.0 ③ 4.6	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
7 第70回 PL99	須恵器 椀	カマド 1/2	① 14.2 ② 5.8 ③ 4.1	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切りか。	
8 第70回 PL99	須恵器 椀	埋土 底部へ口縁部中 位片	② 7.0	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
9 第70回 PL99	須恵器 椀	T-4 高台一部欠	① 11.8 ② 6.0 ③ 4.5	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
10 第70回 PL99	須恵器 耳皿	埋土、17住 1/3	① 12.0 ② 6.2 ③ 2.5	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
棟号 図版番号	種類 種類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	備考	
11 第70回 PL99	鉄器 釘	埋土 先端付近片	長 (3.2) 厚 0.5×0.6		中心部に空洞部分がある。	

17号住居

棟号 図版番号	種類 種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第73回 PL99	土師器 杯	+6・9 1/2	① 12.0 ② 8.0 ③ 3.8	①胎土 ②焼成 ③色調	口縁部は上半が横ナゲ、下半が横方向のヘラ削り、 底部は不定方向のヘラ削り。内面口縁部は 斜放射状暗文。	
2 第73回 PL99	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 17.2	①胎土 ②焼成 ③色調	口縁部は上位が横ナゲ、中位・下位は横方向の ヘラ削り。内面口縁部は斜放射状暗文。	
3 第73回 PL99	須恵器 蓋(杯・椀)	埋土 口縁部片	① 18.4	①胎土 ②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第73回 PL99	土師器 壺	+9 口縁部～胴部 上位片	① 15.8	①胎土 ②焼成 ③色調	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
5 第73回 PL99	土師器 壺	埋土、T-4 口縁部～胴部 上位片	① 20.6	①胎土 ②焼成 ③色調	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
6 第73回 PL99	土師器 壺	+9・12、埋土 口縁部～胴部 上位片	① 21.8	①胎土 ②焼成 ③色調	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	

18号住居

棟号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第76図 PL100	須恵器 杯	カマド 1/3	① 12.4 ② 7.0 ③ 3.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
2 第76図 PL100	須恵器 杯	+7、埋土、 17住 2/3	① 12.9 ② 7.7 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
3 第76図 PL100	須恵器 杯	埋土 1/3	① 13.6 ② 7.2 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
4 第76図 PL100	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.4 ②8.2③7.7 ④ 5.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
5 第76図 PL100	須恵器 椀	+22 底部	② 8.4 ④ 8.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
6 第76図 PL100	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
7 第76図 PL100	灰釉陶器 椀	カマド、埋土 2/3	① 16.6 ②8.1③7.6 ④ 5.5	①細砂粒、小礫 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み・高台畳 付に重焼き痕が残る。底部切り離し技法は回転 ナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。	大原2号窯式期
8 第76図 PL100	灰釉陶器 皿	カマド 口縁部片	① 15.8 ② 6.2	①細砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。高台方法は漬け掛 けか、輪廻はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
9 第76図	土師器 椀	埋土 口縁部片	① 18.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナ ゲ割部上位は横方向のヘラ削り。	
10 第76図	土師器 椀	カマド 口縁部片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方 向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
11 第76図 PL100	土師器 椀	埋土、T-4 口縁部～胴部上 位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方 向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	

19号住居

棟号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第79図 PL100	須恵器 杯	+8、19-29住 口縁部・底部 の一部欠	① 11.6 ② 6.4 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
2 第79図 PL100	須恵器 椀	床直 1/2	① 12.2 ②3.0③5.6 ④ 4.4	①粗砂粒・小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。	
3 第79図 PL101	須恵器 椀	カマド 3/4	① 12.8 ②6.6③6.0 ④ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
4 第79図 PL101	須恵器 椀	+12 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第79図 PL101	須恵器 椀	カマド 1/3	① 14.0 ② 6.8 ③ (4.0)	①細砂粒 ②還元焰ざみ ③暗褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナゲで不明。高台は貼付であるが剥落。	
6 第79図 PL101	須恵器 椀	カマド 底部～口縁部 下半	① 3.6 ④ 3.6	①細砂粒・小礫 ②還元焰ざみ ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナゲで不明。高台は貼付。	
7 第79図 PL101	須恵器 椀	床直 1/2	① 16.2 ② 7.8 ③ (5.5)	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付であるが剥落、剥落後高台貼付箇所 を磨削し平坦にしている。	

8 第798回 PL101	須恵器 椀	+13 2/3	① 17.2 ② 8.0 ③ (6.7)	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付であるが脱落。
9 第798回	須恵器 椀	縦方 高台片	④ 10.8	①粗砂粒 ②燧火屑 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転方向不明。高台は貼付。
10 第798回 PL101	須恵器 羽釜	カマド 1/4	① 24.4 ② 8.0 ③ 24.8	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。脚は貼付。胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部はナデ。
11 第798回 PL101	須恵器 羽釜	+17、12住 胴部下片		①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部下半は縦方向のヘラ削り。
12 第798回 PL101	須恵器 羽釜	カマド、+13 埋土 胴部下片		①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部下位は縦方向のヘラ削り。
13 第798回 PL101	須恵器 羽釜	カマド、+13 底部	② 7.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。胴部下位は縦方向のヘラ削り。
14 第808回 PL101	土製品 丸瓦	カマド 小片		①粗砂粒・長石 ②燧火屑 ③灰色	内面は布目直で周辺部ヘラ削り。端面もヘラ削り外面はヘラナデ。

20号住居

探検番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第82回 PL102	須恵器 椀	+15 完形	① 12.7 ② 6.3 ③ 4.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周辺部をナデ整形。	
2 第82回 PL102	須恵器 椀	埋土 完形	① 12.8 ②5.6③4.5 ③ 4.9	①粗砂粒 ②燧火屑軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第82回 PL102	須恵器 椀	床直 1/3	① 13.4 ②8.1③7.2 ③ 4.3	①粗砂粒 ②燧火屑強 ③オリーブ褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、周辺部は高台貼付時のナデ。	
4 第82回 PL102	灰輪陶器 皿	床直 1/5	① 13.0 ②7.0③6.6 ③ 2.8	①微砂粒 ②燧火屑鈍鈍め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り出し技法不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号塚式 期
5 第82回 PL102	土師器 甕	埋土、F-4 口縁部片	① 17.6	①粗砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部に輪積りが残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。	
6 第82回 PL102	須恵器 甕	床直、+7、12住 E-4、F-3、G-3・ 4胴部上位片	縦径47.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	胴部外面平行引き、内面同心円状アケ具痕が残る。頸部に胴部と口縁部を接合。	

21号住居

探検番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第84回 PL102	土師器 杯	埋土 口縁部～底部 片	① 11.8 ② 9.0 ③ 2.5	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第84回 PL102	土師器 杯	床直 口縁部下半～ 底部片	② 9.0	①粗砂粒・褐色粒 ②やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。内面口縁部に斜放射状暗文。	
3 第84回 PL102	須恵器 貯蔵穴 杯蓋	貯蔵穴 口縁部一部・ 胴一部欠	① 14.0 縦径 3.8 ③ 3.5	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。掴みは貼付。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	
4 第84回 PL102	須恵器 杯	周溝上の壁面 口縁部一部欠	① 12.1 ② 8.7 ③ 3.3	①粗砂粒 ②燧火屑 ③褐色灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

5 第84回	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 13.6 ② 8.0 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転ヘラ削りか。	
6 第84回 PL102	須恵器 短頸壺	床直、埋土 胴部下半～底部	② 11.0 ④ 11.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	胴部に輪痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。内面底部に指痕が残る。	

22号住居

押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第86回 PL102	土師器 杯	埋土、B-3 1/4	① 12.0 ② 10.2 ③ (3.7)	①細砂粒・褐色粒 ②やや軟質 ③褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第86回 PL102	須恵器 杯蓋	埋土、A-4 天井部	横径 2.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。掴みは貼付。天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
3 第86回 PL102	須恵器 杯蓋	+9・24、埋土 口縁部片	① 19.6	①細砂粒 ②還元焰ざみ ③残黄色	ロクロ成形、回転右回りか。内外面の色調の違いは焼成時の重焼き痕か。	
4 第86回	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第86回	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
6 第86回	須恵器 杯	埋土 底片	② 11.8 ④ 10.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。高台は貼付。	

23号住居

押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第89回 PL103	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 11.2 ② 5.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第89回 PL103	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 11.6 ② 6.1 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第89回 PL103	須恵器 碗	床直 1/4	① 11.8 ② 5.1 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第89回 PL103	須恵器 碗	床直、+13、 24住 1/4	① 13.2 ② 7.2 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第89回 PL103	須恵器 碗	床直 完形	① 11.9 ②7.3③7.0 ④ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第89回 PL103	須恵器 碗	床直 1/4	① 11.9 ②5.9③6.0 ④ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰燐 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第89回 PL103	須恵器 碗	床直、埋土 3/4	① 12.6 ②5.0③4.4 ④ 4.8	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第89回 PL103	須恵器 碗	床直 4/5	① 13.2 ②8.0③9.0 ④ 6.2	①粗砂粒 ②還元焰ざみ ③残黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。	
9 第90回 PL103	須恵器 碗	床直 3/4	① 14.2 ②7.8③8.8 ④ 7.3	①粗砂粒 ②還元焰ざみ ③残黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。	

10 第90回 PL103	須恵器 椀	+6、埋土 1/2	① 11.7 ② 5.8 ③ (3.9)	①粗砂粒 ②燉火痕 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
11 第90回 PL103	須恵器 椀	床直、埋土 1/4	① 12.8 ② 5.2 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②燉火痕 ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明、高台は貼付であるが剥落。	
12 第90回 PL103	灰釉陶器 椀	床直 2/3	① 12.2 ②7.0③6.2 ④ 4.2	①微砂粒 ②燉火痕焼締め ③ 灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明、口縁部下位は回転ヘラ削り。蓋軸方法は漬 け掛け軸調は透明感のない灰色。	大塚2号窯式期
13 第90回 PL103	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 18.0 口径 21.8	①粗砂粒 ②燉火痕ざみ ③褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部の一部にヘラ削り 痕が残る。	
14 第90回 PL104	須恵器 羽釜	+9 口縁部～胴部中 位片	① 20.0 口径 23.5	①粗砂粒・褐色粒 ②燉火痕 ③褐色	ロクロ成形。罫は貼付、罫の下面にヘラのあつ た痕跡が残る。	
15 第90回 PL103	須恵器 羽釜	床直、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.8 口径 25.7	①粗砂粒 ②燉火痕ざみ ③にぶい褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
16 第90回 PL104	須恵器 羽釜	床直 胴部下半片	口径 22.0	①粗砂粒 ②燉火痕ざみ ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。胴部下位は縦方向のヘラ削り。	
17 第90回 PL104	須恵器 羽釜	床直 胴部下半片		①粗砂粒 ②燉火痕 ③灰色	ロクロ成形。胴部下位は斜め方向のヘラ削り、 最下位は横方向のヘラ削り。	
18 第90回	須恵器 壺	+7 口縁部片	① 21.8	①粗砂粒 ②燉火痕軟膏 ③灰色	ロクロ成形。	
19 第90回 PL104	須恵器 壺	床直 口縁部片	① 25.0	①粗砂粒 ②燉火痕軟膏 ③灰色	ロクロ成形。	
姉岡番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	備 考	石 壺 材 考
20第90回 PL104	石製品 凹石	床直 完形か	重 11.2 幅 8.2 厚 7.3 孔 2.0×1.0×0.4 重 560.0	軽石を球状に加工し、上面に敲打痕が4カ所見 られる。	標名ニッ岳軽石 られる。	

24号住居

姉岡番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②構成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第92回 PL104	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.8 ② 6.2 ③ 3.2	①粗砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第92回	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 11.8	①粗砂粒・褐色粒 ②良好 ③褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が 横方向のヘラ削り。	
3 第92回	須恵器 杯	埋土 底部片	② 6.2	①粗砂粒・小磯 ②燉火痕 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第92回	須恵器 杯	床直 底部	② 6.0	①粗砂粒 ②燉火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第92回 PL104	須恵器 椀	+20 1/5	① 14.0 ② 7.0 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②燉火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
6 第92回	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.8 ④ 5.4	①粗砂粒 ②燉火痕 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第92回 PL104	須恵器 椀	+18 底部片	② 7.8	①粗砂粒 ②燉火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
8 第92回	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位小片	① 25.0 口径 29.0	①粗砂粒 ②燉火痕ざみ ③黄灰色	ロクロ成形。罫は貼付。	

9 第93回 PL104	須臾器 双子杵	埋土			①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	胴部とは貼付。整形はナデ。	
10 第93回 PL104	土製品 平瓦	+10 小片			①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	側面、上面周囲はヘラ削り、上面内部は布目が残る。下面はヘラナデ。	
11 PL104	土製品 籾羽口	埋土 端部小片			①粗砂粒 ②還元焰 ③橙色	炉内に入る端部で若干の鉄分の付着が見られる。	

25号住居

採回番号 採取番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第94回 PL104	須臾器 椀	床直、埋土 完形	① 12.6 ② 6.8 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第96回	須臾器 椀	埋土 底部片	② 6.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第96回 PL104	須臾器 椀	床直、埋土 ほぼ完形	① 13.4 ②7.0G6.6 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	内面口縁部墨書 「物」
4 第96回	須臾器 椀	埋土 底部片	② 6.8 ④ 6.0	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
5 第96回 PL104	灰輪肉部 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は漬け掛け、輪調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式閉
6 第96回 PL104	灰輪肉部 皿?	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.4	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。内面見込み部に輪痕が残る。	大原2号窯式閉
7 第96回 PL104	灰輪肉部 長頸杵	埋土、9土坑、 A-8-D-7・12 口縁部～頸部	頸径 7.0	①微砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は不明、輪調は透明感のある緑灰色。	
8 第96回	須臾器 椀	埋土 口縁部片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	口縁部は波状文(単位7条)。	

26号住居

採回番号 採取番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第99回	土師器 杆	埋土 口縁部片	① 11.8 ② 7.8 ③ (2.9)	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。	
2 第99回	須臾器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②還元焰ざみ ③淡黄色	ロクロ成形、回転方向不明。	
3 第100回	須臾器 椀	埋土 底部片	② 7.4 ④ 7.0	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転方向不明。高台は貼付。	
4 第100回 PL105	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第100回 PL105	土師器 台付甕	埋土、F-8 脚部片	② 4.2 ④ 9.7	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	脚部に輪痕が残る。整形は内外面とも横ナデ。	

27号住居

棟号 図番	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第103図	土師器 杯	埋土 1/5	① 10.8 ② 6.0 ③ (3.1)	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③褐色	口縁部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第103図 PL105	土師器 杯	貯蔵穴、+7 完形	① 11.8 ② 6.6 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は中心部に砂底が残り、周囲をヘラ削り。	
3 第103図 PL105	須恵器 椀	床直 1/3	① 12.8 ② 6.0 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第103図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.8	①粗砂粒 ②還元火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第103図	須恵器 椀	埋土 口縁部～高台片	① 13.8 ②6.6③6.2 ④ 4.6	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
6 第104図 PL105	須恵器 椀	床直 口縁部下～底部	② 7.0 ④ 6.5	①粗砂粒 ②還元火焰や軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第104図 PL105	灰釉陶器 小椀	埋土 口縁部片	① 11.6	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
8 第104図 PL105	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部片	① 13.6	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
9 第104図 PL105	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 17.6	①細砂粒 ②良好 ③暗褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
10 第104図 PL105	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目(単位12条)。	
11 第104図	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。	
12 第104図 PL105	土師器 甕	カマド、埋土 胴部下位～底部	② 4.2	①細砂粒 ②良好 ③暗褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
13 第104図 PL105	土師器 台付甕	床直、埋土 1/2	① 12.4 ② 5.4 ③ (15.5)	①粗砂粒・褐色粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。脚部接合部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
14 第104図	須恵器 甕	カマド 口縁部小片		①粗砂粒・白色粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部には数段にわたり波状文(単位8～)。	

28号住居

棟号 図番	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第105図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 11.6	①粗砂粒 ②還元火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
2 第105図 PL105	須恵器 椀	床直 底部	② 6.2 ④ 5.6	①粗砂粒 ②還元火焰 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。	
3 第105図 PL105	須恵器 椀	床直 底部	② 6.8 ④ 6.0	①粗砂粒 ②還元火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

29号住居

採回番号 採取番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第108回 PL106	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.4 ② 8.8 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上位・下位が横方向のへう削り、中位はナデ。底部はへう削り。	
2 第108回 PL106	土師器 杯	埋土 1/4	① 12.0 ② 6.2 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位はへう削り。底部は不定方向のへう削り。	
3 第109回 PL106	須恵器 杯蓋	床直 口縁部欠	焼住 4.0	①粗砂粒・小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。掴みは貼付。天井部中ほどは回転へう削り。内面研磨でロクロ痕磨耗、掴みは上部を握り握り平ら面を作っている。	瓶用皿か
4 第109回 PL106	須恵器 杯	+11、埋土 1/5	① 10.8 ② 6.2 ③ 3.7	①細砂粒・褐色粒 ②還元焰 ③いよ黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転へう削り	
5 第109回 PL106	須恵器 椀	+12 完形	① 13.1 ② 7.4 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第109回 PL106	須恵器 椀	カマド、30住 完形	① 12.8 ② 6.5 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第109回 PL106	須恵器 椀	床直 完形	① 12.8 ② 6.2 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第109回 PL106	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.6 ② 7.2 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第109回 PL106	須恵器 椀	カマド、30住 口縁部一部欠	① 12.0 ②6.8②6.2 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第109回 PL106	須恵器 椀	床直、30住 完形	① 13.5 ②7.0②6.1 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪み大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第109回 PL106	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.6 ②7.0②6.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③洗黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第109回 PL106	須恵器 椀	カマド 完形	① 13.6 ②6.3②6.0 ③ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	焼成時の歪み大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は高台貼付時のナデで不明。	
13 第109回 PL106	須恵器 椀	カマド、埋土 30住 3/4	① 13.5 ②7.6②6.4 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	焼成時の歪み大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第109回 PL106	須恵器 椀	埋土 2/3	① 13.6 ②6.4②5.4 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
15 第109回 PL107	須恵器 椀	+24、埋土、 G-9 1/4	① 13.8 ②6.6②6.4 ③ 5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り難し技法不明。高台は貼付。	
16 第109回 PL107	須恵器 椀	床直 高台一部欠	① 13.8 ②7.8②7.2 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
17 第110回 PL107	須恵器 椀	床直 完形	① 13.8 ②7.7②7.0 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
18 第110回 PL107	須恵器 椀	埋土、30住 1/4	① 14.4 ②6.8②6.6 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	口唇部に歪み有り。ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。	
19 第110回 PL107	須恵器 椀	床直、埋土 43住 1/4	① 14.4 ②6.7②6.2 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
20 第110回	土師器 壺	埋土 口縁部片	① 21.8	①粗砂粒 ②良好 ③いよ褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のへう削り。内面胴部はへうナデ。	

21 第110回 PL107	土師器 甕	カマド、床直 埋土 胴部下位片	②	4.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部下位は縦方向のへらけずり、底部はへら削り、内面胴部はへらナデ。	
22 第110回 PL107	土師器 甕	埋土 胴部下位	②	4.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部下位は縦方向のへらけずり、底部はへら削りであるが一部砂底が残る。内面胴部はへらナデ。	
23 第110回 PL107	土師器 台付甕	カマド、30住 脚部	② ④	4.2 8.0	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	脚部は横ナデ。	
24 第110回 PL107	須恵器 羽釜	カマド、30住 口縁部片	①	16.0 18.6	①粗砂粒 ②燧火硝 ③にぶい褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
25 第110回 PL107	須恵器 羽釜	+18、埋土、 30住 口縁部～胴部	①	21.4 25.8	①粗砂粒 ②燧火硝 ③灰色	ロクロ成形。罫は貼付。	
26 第110回 PL107	須恵器 羽釜	+28、埋土 31住、G-10 口縁部～胴部	①	21.8 25.8	①粗砂粒 ②燧火硝 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
27・28 第110回 PL107	須恵器 甕	カマド、+14 27住、G-9・10 口～胴部片	① ②	21.2 14.0	①粗砂粒 ②燧火硝 ③黄灰色	ロクロ成形。胴部中に縦方向のへら削り。底部の整形は磨耗のため不明。	
29 第111回 PL107	須恵器 甕	+7、30住 口縁部片	①	43.6	①粗砂粒 ②燧火硝 ③灰黄色	口縁部はロクロ成形。	
30 第110回 PL107	須恵器 甕	埋土、G-10 胴部～胴部上位 片			①粗砂粒 ②燧火硝 ③灰白色	口縁部はロクロ成形。胴部は平行叩き。	

30号住居

棟回番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法	量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第114回	土師器 杯	埋土 1/5	①	11.8 9.6 2.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のへら削り。	
2 第114回 PL108	土師器 杯	掘方 1/4	①	12.0 9.8 3.2	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のへら削り。	外面底部に墨書「の」。
3 第114回 PL108	須恵器 杯	埋土、G-9・10 1/4	①	12.4 7.4 3.5	①粗砂粒 ②燧火硝 ③紫灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。口縁部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ。	
4 第114回	土師器 甕	床直 口縁部片	①	24.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色		

31号住居

棟回番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法	量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第117回 PL108	土師器 杯	カマド、埋土 4/5	①	11.4 5.8 3.5	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位がナデ、下半が横方向のへら削り、中にナデが残る。底部は不定方向のへら削り。	
2 第117回	土師器 杯	床直、G-11 1/4	①	12.0 7.0 (3.4)	①粗砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位がナデ、下半が横方向のへら削り、中にナデが僅かに残る。底部は不定方向のへら削り。	
3 第117回 PL108	須恵器 椀	床直 1/4	①	11.8 7.0 6.5 4.8	①粗砂粒・小礫 ②燧火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付で輪な成形。	
4 第117回 PL108	須恵器 椀	床直、+6、 埋土 1/4	①	12.5 7.4 6.8 5.6	①粗砂粒 ②燧火硝 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切りか。高台は貼付。	

5 第117回 PL108	須恵器 椀	+6、30住 3/4	① 13.0 ②6.3⑥6.0 ③ 5.3	①粗砂粒 ②燧火焙ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第117回 PL108	須恵器 椀	床直 1/3	① 13.0 ②6.5⑥6.1 ③ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第117回 PL108	須恵器 椀	埋土、G-10 1/4	① 13.6 ②6.8⑥5.8 ③ 5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
8 第117回 PL108	須恵器 椀	+6 1/4	① 14.0 ②6.8⑥5.6 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第117回 PL108	灰輪陶器 椀	+9 底部片	② 6.6 ④ 6.2	①微砂粒 ②還元焰燻締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。煎軸方法不明。	大原2号室式期
10 第117回	須恵器 短頸壺	床直 底部	② 15.0 ④ 13.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は一定方向後側辺部を回転へら削り。高台は貼付。	
11 第118回	土師器 壺	床直 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のへら削り。内面割部はへらナデ。	
12 第118回 PL108	土師器 壺	床直 口縁部片	① 17.0	①細砂粒 ②やや軟質 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のへら削り。内面割部はへらナデ。	
押出番号 図版番号	種 器 類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等		備 考
13第108回 PL108	鉄器 用途不明	床直 1/2	長(7.6) 幅1.6 厚0.6~0.7	先端部欠損、頸部はやや肥厚している。		
14第108回 PL108	鉄器	+6 1/2	長(4.3) 幅0.4~0.9	中ほどの中心部は空洞化している。		

32号住居

押出番号 図版番号	種 器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第121回 PL108	土師器 杯	カマド 口縁部片	① 11.8	①細砂粒 ②軟質 ③明褐色	口縁部は上半がナデ、下半が横方向のへら削り。	
2 第121回	須恵器 杯蓋	カマド 口縁部小片	① 17.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
3 第121回 PL108	須恵器 杯	床直 1/4	① 10.2 ② 6.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部最下位に1段の回転へら削り。底部は回転へら削り。	
4 第121回 PL108	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.0 ② 9.0 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へら削り。	
5 第121回	須恵器 杯	カマド 1/6	① 13.0 ② 8.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転へら削り外面に自然軸付着。	
6 第121回 PL108	須恵器 椀	埋土 1/2	① 11.0 ②6.2⑥6.2 ③ 5.1	①粗砂粒 ②燧火焙ぎみ ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	混入品
7 第121回 PL108	土師器 壺	カマド、埋土、 T-6泥流上面 口縁部へら削り	① 22.8	①細砂粒 ②良好 ③によい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のへら削り。内面割部はへらナデ。	
8 第121回 PL109	土師器 壺	カマド、埋土 口縁部へら削り 胴部中位片	① 23.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向、中位は縦方向のへら削り。内面割部はへらナデ。	

33号住居

棟号番号 図版番号	種別 類種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第124図 PL109	土師器 杯	床直、+13、 埋土 ほぼ完形	① 11.6 ② 6.7 ③ 3.7	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第124図 PL109	土師器 杯	カマド 4/5	① 11.6 ② 5.5 ③ 4.4	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第124図 PL109	土師器 杯	カマド 1/2	① 11.8 ② 6.4 ③ 3.9	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第124図 PL109	土師器 碗	床直 2/3	① 14.4 ②7.0④6.4 ③ 6.0	①粗砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は斜め方向のヘラ削り。底部はナデ、高台は貼付。	
5 第124図 PL109	黒色土器 碗	カマド、床直 +6、埋土 3/4	① 15.7 ②6.8④7.4 ③ 5.8	①細砂粒 ②還元焰 ③オリーブ黒色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ、高台は貼付。内面放射状に花卉状の暗文を施文。	
6 第124図	黒色土器 碗	埋土 口縁部片	① 14.6	①細砂粒 ②還元焰 ③秋褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内面は縦方向のヘラ磨き後花卉状の暗文を施文。	
7 第124図	黒色土器 碗	+9・22・24 口縁部片	① 14.6	①細砂粒 ②還元焰 ③褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内面は縦方向のヘラ磨き。	
8 第124図 PL109	須恵器 碗	+5、埋土、 E-10 1/5	① 12.0 ② 6.0 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
9 第124図 PL109	須恵器 碗	埋土 1/4	① 13.5 ② 6.5 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③秋黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
10 第124図 PL109	須恵器 碗	+11、埋土 口縁部一部欠	① 12.3 ②6.6④6.3 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
11 第124図 PL109	須恵器 碗	+8、E-10 1/2	① 12.6 ②6.6④5.8 ③ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③秋褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
12 第124図 PL109	須恵器 碗	+10、埋土 1/2	① 13.2 ②6.2④5.8 ③ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
13 第124図 PL109	須恵器 碗	+8 1/5	① 13.4 ②7.6④7.0 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③秋黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
14 第124図 PL109	須恵器 碗	埋土、E-9 3/4	① 13.5 ②7.3④7.2 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
15 第124図 PL110	須恵器 碗	床直 口縁部一部欠	① 14.3 ②6.2④6.0 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
16 第124図 PL110	須恵器 碗	+7、埋土 1/4	① 15.2 ②7.7④7.2 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③秋黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
17 第124図 PL110	須恵器 碗	+9、埋土 1/3	① 13.6 ② 7.3 ③ (5.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付であるが剥落。	
18 第124図 PL110	須恵器 碗	+7・8、E-9 1/4	① 13.8 ② 7.0 ③ (5.1)	①粗砂粒 ②還元焰 ③秋黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付であるが剥落。	
19 第125図 PL110	灰釉陶器 碗	+23、埋土 1/5	① 13.8 ②6.8④6.5 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口縁部は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある緑灰色	大原2号窯式期
20 第125図 PL110	灰釉陶器 皿	+18、埋土、 1/2	① 12.4 ②6.1④5.9 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期

21 第125図 PL110	灰軸陶器 皿	+14 1/4	① 12.6 ② 6.636.0 ③ 2.8	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
22 第125図 PL110	灰軸陶器 皿	埋土、E-10-18 口縁部片	① 13.0	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
23 第125図 PL110	灰軸陶器 長頸壺	埋土、25・34・35 住 頸部～胴部片	頸径 6.8 胴径 16.2	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰白色	ロクロ成形、回転右回り。頸部接合は二段。施釉方法は不明、釉調は透明感のない緑灰色。	
24 第125図	灰軸陶器 長頸壺	埋土、34住、 E-9 胴部下半片	② 7.6 ④ 7.0	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。胴部は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	
25 第125図 PL110	須恵器 長頸壺	埋土 胴部下半片	② 5.0 ④ 3.6	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
26 第125図 PL110	須恵器 長頸壺	床直、+8・9・15・ 17、埋土 E-9-10 口縁部欠	② 8.0③ 8.0 頸径 5.2 胴径 15.7	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 暗灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。胴部は回転ヘラ削り、頸部は二段接合。自然釉付着。	
27 第125図 PL110	須恵器 長頸壺	+7・12・16、34住 E-9・10 胴部上半片	胴径 24.0	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰色	ロクロ成形、回転右回りか。自然釉付着。	
28 第125図 PL111	土師器 壺	床直、埋土 口縁部～胴部 上位片	① 19.0	① 粗砂粒 ② 良好 ③ ぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
29 第125図 PL110	土師器 壺	+14、埋土、E-9 口縁部～胴部 上位片	① 20.8	① 粗砂粒 ② 良好 ③ ぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
30 第125図 PL110	土師器 台付壺	カマF、+13、埋 土口縁部～胴部 中位片	① 11.6 胴径 13.8	① 粗砂粒 ② 良好 ③ 褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
31 第127図 PL111	須恵器 広口壺	カマF、床直、+ 8-23、34住 1/6	① 31.4 ② 15.8 ③ 43.7	① 粗砂粒 ② 還元焰軟質 ③ 灰褐色	ロクロ成形、回転方向不明。内面に輪痕が残る。頸部は接合。底部はナデ。内面胴部は指ナデが残る。	
32 第125図 PL111	須恵器 広口壺	床直、埋土、 E-9・10 口縁部片	① 22.0	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
33 第125図 PL111	須恵器 広口壺	+9、埋土 口縁部片	① 22.2	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
34 第126図 PL111	須恵器 広口壺	床直、+6・7・11・ 22、E-10 底部	② 15.8	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部はヘラナデ。胴部下位は回転ヘラ削り、内面に指ナデが残る。	
35 第126図 PL111	須恵器 壺	床直、+7・11・34 住、E・F-9・10口 縁部～胴片	① 23.0 頸径 17.0 胴径 35.0	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰色	口縁部はロクロ成形、胴部は平行引き。内面胴部は同心円状アテ具痕が残るが単位・形状等は不明。	
36 第126図 PL112	須恵器 壺	床直、+6～19 E-9・10 口縁部～胴片	① 37.2 頸径 29.6 胴径 49.8	① 粗砂粒 ② 還元焰 ③ 灰色	口縁部はロクロ成形。胴部上半は縦方向のヘラナデ、下半は縦方向のヘラ削り。	
37 第126図 PL111	須恵器 円筒壺	+9・19 裏面の1/2と脚 部欠	縦径 13.8	① 粗砂粒・黒色粒 ② 還元焰 ③ 灰色	裏面周囲は2状の凸帯が走り、脚部は9カ所の透かしと透かしの間に2～4条の凹帯が施されている。裏面は磨り込まれている。	
38 第126図 PL112	須恵器 刀子	埋土 完形	計 19.5 単位 cm、g	① 4.0-0.9 身幅 0.5-1.7 厚 0.5	基部が湾曲している。	特 徴 等
39 第126図 PL112	須恵器 刀子	床直 刀身部大半欠	長 (8.2) 基部 0.5-0.8 身幅 1.3 厚 0.2-0.4		基部長さは4.9cm。	
40 第126図 PL112	須恵器 刀子	+17 ほぼ完形	長 14.6 身幅 (3.8) 身厚 0.6 納長 8.8 納厚 0.3-0.6		鎌身は長三角形。寛背は凹で片面に木質部が付着。	
41 第126図 PL112	須恵器 刀子	+18 茎大部欠	長 (10.3) 身長 8.4 身幅 4.1 身厚 0.3 寛背幅 0.9×0.7		鎌身は長三角形。寛背は凹。	
42 第126図 PL112	須恵器 刀子	+17 茎・身片方欠	身長 8.5 幅 (4.8) 厚 0.2 寛背幅 0.4×0.4		鎌身は雁又式。寛背は凹。	

43第127回 PL112	鉄器 鏃	埋土 身〜黄緑	長 (7.8) 幅 0.5 厚 0.5	鏃身は御堂式。莖部は不明瞭。身断面は真。	
44第127回 PL112	鉄器 鏃	+8 柄	幅 0.6 厚 0.3		
45第127回 PL112	鉄器 釘	埋土 先端部欠損	長 (6.0) 幅 1.0、0.3~0.5	頭部は折り曲げ。	
46第127回 PL112	鉄器 針	埋土 先端部欠損	長 (3.9) 頭部茎 2.0×2.0 針部幅 0.5×0.5	頭部は円形に近く、針部は断面四角形を呈す。	
47第127回 PL112	鉄製品 門金具	カマド 宛形	縦 7.5 横 4.5 幅 0.7 厚 0.3	形態は長方形を呈し、下部で重なりが見られる。	

34号住居

押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第130回 PL113	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 15.2	①細砂粒 ②燼火燂 ③よじ黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内面は上半が横方向、下半が縦方向のへら磨き。	
2 第130回 PL113	黒色土器 椀	埋土 底部	② 5.3	①細砂粒 ②燼火燂 ③よじ褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。内面に雑な放射状暗文を施す。	
3 第130回	黒色土器 鉢	+8 口縁部片	① 18.0	①粗砂粒・褐色粒 ②燼火燂 ③明褐色	内面黒色処理。ロクロ成形。内面は横方向のへら磨き後花弁状暗文を施す。	
4 第130回 PL113	須恵器 杯	埋土 1/4	① 11.6 ② 6.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②燼火燂 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
5 第130回 PL113	須恵器 杯	貯蔵穴 口縁部一部欠	① 11.6 ② 5.6 ③ 3.9	①粗砂粒 ②燼火燂 ③灰白色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
6 第130回 PL113	須恵器 杯	床直 宛形	① 13.0 ② 6.3 ③ 4.1	①細砂粒・白色粒 ②燼火燂 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
7 第130回 PL113	須恵器 椀	+14 口縁部一部欠	① 11.8 ② 5.5 ③ 4.3	①粗砂粒・褐色粒 ②燼火燂 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
8 第130回 PL113	須恵器 椀	埋土 3/4	① 10.8 ② 6.6⑤ 5.4 ③ 5.5	①粗砂粒 ②燼火燂 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
9 第130回 PL113	須恵器 椀	+11 3/4	① 11.4 ② 6.6⑤ 5.5 ③ 4.5	①細砂粒 ②燼火燂 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
10 第130回	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.4 ② 6.9⑤ 5.2 ③ 4.5	①細砂粒 ②燼火燂 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
11 第130回 PL113	須恵器 椀	床直 宛形	① 11.8 ② 6.4⑤ 5.8 ③ 4.5	①粗砂粒 ②燼火燂 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
12 第131回 PL113	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.0 ② 7.2⑤ 6.7 ③ 4.7	①粗砂粒 ②燼火燂 ③よじ黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
13 第131回 PL113	須恵器 椀	床直 高台大部分欠	① 12.1 ② 6.0⑤ 5.4 ③ 4.5	①粗砂粒 ②燼火燂 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
14 第131回 PL113	須恵器 椀	カマド、+6 1/2	① 12.2 ② 6.0⑤ 5.7 ③ 4.9	①細砂粒 ②燼火燂 ③よじ赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
15 第131回 PL113	須恵器 椀	+6 口縁部一部欠	① 12.8 ② 7.4⑤ 6.9 ③ 4.6	①粗砂粒 ②燼火燂 ③淡黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
16 第131回 PL113	須恵器 椀	貯蔵穴 1/3	① 13.8 ② 6.3⑤ 6.1 ③ 5.1	①粗砂粒 ②燼火燂 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	

17 第131回 PL114	須恵器 椀	床直、+6-12 口縁部	①	13.7	①粗砂粒・褐色粒 ②燻火焼 ③ぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。	
18 第131回 PL114	須恵器 椀	カマド、貯蔵穴 口縁部	①	17.8	①粗砂粒・褐色粒 ②燻火焼 ③ぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。	
19 第131回 PL114	灰軸陶器 椀	埋土、E-10 口縁部片	①	16.6	①粗砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形。施釉方法は掛け掛け、軸調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
20 第131回 PL114	灰軸陶器 椀	カマド、E-9 底部片	② ④	7.0 6.5	①粗砂粒 ②燻火焼 ③燻灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は掛け掛けか、軸調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
21 第131回 PL114	灰軸陶器 皿	床直 底部片	② ④	8.4 8.2	①粗砂粒、水脈 の燻火焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。	大原2号窯式期
22 第131回	灰軸陶器 兵須壺	埋土、E-9 頸部片		6.0	①粗砂粒 ②燻火焼締め ③灰色	ロクロ成形。施釉方法不明、軸調はやや緑色をおびた灰色。内面に漆付着。	
23 第131回 PL114	灰軸陶器 兵須壺	床直、E・F-10 底部	② ④	8.6 8.4	①粗砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。内外面に漆付着。	
24 第131回 PL114	土師器 斐	埋土 口縁部～胴部 上位片	①	12.0	①細砂粒 ②良好 ③燻灰色	胴部上位に輪痕が残る。ロクロ成形。	
25 第131回 PL114	土師器 斐	貯蔵穴 口縁部～胴部 上半片	①	12.6	①細砂粒 ②良好 ③灰黄色	内面胴部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部上半は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
26 第131回 PL114	須恵器 羽釜	+16 口縁部～胴部 上位片	①	21.0 口径 24.4	①粗砂粒 ②燻火焼 ③ぶい黄褐色	ロクロ成形。内面に輪痕が残る。罫は貼付。	
27 第132回 PL114	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部 上位片	①	27.6 口径 31.2	①粗砂粒 ②燻火焼 ③ぶい黄褐色	ロクロ成形。口縁部に輪痕が残る。罫は貼付。	
28 第131回 PL114	須恵器 羽釜	+12 底部片	②	7.4	①粗砂粒 ②燻火焼 ③ぶい黄褐色	胴部下位は斜め方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
29 第131回	須恵器 斐	床直 口縁部片	①	19.8	①粗砂粒 ②燻火焼 ③灰色	ロクロ成形。	
30 第131回	須恵器 広口壺	床直、埋土、 E-10 頸部～口縁部		15.0	①粗砂粒 ②燻火焼 ③灰黄色	内面に輪痕が残る。ロクロ成形。	
柿原番号 図版番号	器 類	出土位置 残 存 率		計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
31第134回 PL114	鉄器 釘	埋土 先端部欠損		長 (5.2) 幅 0.4~0.6 頭部 1.4×0.9 厚 0.2		頭部は折り曲げ	
32第134回 PL114	鉄器 釘	埋土 頭部・先端欠		長 (4.5) 幅 0.5~0.8		頭部は折り曲げ	
33第134回 PL114	鉄器 釘	+18 頭部・先端欠		長 (4.5) 幅 0.4~0.7			

35号住居

柿原番号 図版番号	器 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考	
1 第134回	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	①	13.0	①粗砂粒 ②燻火焼 ③浅黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。内面横方向のヘラ磨き。	
2 第134回 PL114	須恵器 椀	埋土 2/3	① ② ③	10.2 5.4 3.7	①粗砂粒 ②燻火焼 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第134回 PL114	須恵器 椀	埋土、142住 G-12 1/2	① ② ③	12.8 6.1(6.2) 4.6	①粗砂粒 ②燻火焼 ③ぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

4 第134回 PL115	須志器 櫛	+13、埋土 口縁部一部欠	① 14.2 ② 6.8⑦6.6 ③ 5.6	①粗砂粒 ②酸火焔 ③灰黄色	ロクロ成形。回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第134回 PL115	須志器 櫛	カマド 2/3	① 14.2 ② 6.2⑧6.2 ③ 6.0	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焔 ③褐色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切りか、高台は貼付。	
6 第134回 PL115	灰輪陶器 輪花鏡	埋土 口縁部片	① 17.8	①微砂粒 ②還元焔 ③灰白色	ロクロ成形。口唇部に1状の凹縁が巡る。輪花はごく僅かな盛り上がりである。施釉方法は漬け掛けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎渡山1号窯式 期
7 第134回 PL115	灰輪陶器 長頸壺	埋土、110住 頸部上欠、胴部 ～底部1/2	②7.0④7.4 頸径 5.0 胴径 14.6	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。頸部二段接合。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎渡山1号窯式 期
8 第134回	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 10.8	①粗砂粒 ②酸火焔 ③褐色	ロクロ成形。内面胴部はヘラナデ。	
9 第134回	須志器 羽釜	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 19.6 胴径 22.2	①粗砂粒 ②酸火焔 ③浅黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	

36号住居

調査番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第138回 PL115	土師器 杯	埋土 3/4	① 11.8 ② 6.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第138回 PL115	土師器 櫛	カマド 2/3	① 14.8 ② 6.2⑧6.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②酸火焔 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。口唇部は横ナデ、口縁部は上位・中位がナデ、下位は横方向のヘラ削り底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第138回 PL115	土師器 櫛	カマド、37住 口縁部片	① 15.8 ② 6.8	①粗砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	口縁部上位と高台との接合部は横ナデ、口縁部中位・下位はヘラナデ。内面下位はヘラナデ。	
4 第138回 PL115	黒色土器 櫛	カマド 底部	② 6.8 ④ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焔 ③黄褐色	内面黒色施釉。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面は横方向のヘラ磨き。	
5 第138回 PL115	須志器 杯	カマド 口縁部下半片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焔軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明。	内面口縁部に刻 罫「十」。
6 第138回 PL115	須志器 櫛	埋土、37住 口縁部片	① 12.6 ② 6.4 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②酸火焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切りか。高台は貼付。	
7 第138回 PL115	灰輪陶器 皿	カマド ほぼ完形	① 11.8 ② 6.5⑧6.0 ③ 2.2	①微砂粒、水藍 ②還元焔 ③白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。施釉は施されていない。	虎渡山1号窯式 期
8 第138回 PL116	須志器 長頸壺か	+8・11 胴部下半～底部	② 12.4 ④ 12.4	①粗砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
9 第138回 PL116	土師器 瓶	床直、埋土 1/3	① 17.0 ② 8.0 ③ 10.1	①粗砂粒 ②良好 ③灰黄褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位・中位が横方向、下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
10 第138回 PL115	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③明褐色	胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
11 第138回 PL115	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 23.6	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	内面に輪積痕が残る。ロクロ成形。	
12 第138回 PL116	須志器 羽釜	カマド、37住 1/3	① 18.0 ② 9.8 ③ 13.4	①粗砂粒 ②やや軟質 ③褐色	内外面に輪積痕が残る。罫は貼付。胴部・底部の整形は不明。	
13 第138回 PL116	須志器 羽釜	+11、埋土、 37住 口縁部～胴片	① 22.0 胴径 26.0	①粗砂粒 ②酸火焔 ③明褐色	ロクロ成形、回転方向不明。罫は貼付。胴部は底部から罫へ向けての縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

14 第138回 PL116	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 22.8 胴径 28.0	①粗砂粒 ②酸火焔 ③明褐色	ロクロ成形、回転方向不明。脚は貼付。胴部は底部から脚へ向けての縦方向のヘラ削り。
15 第139回	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 半片	① 26.8 胴径 36.4	①粗砂粒 ②酸火焔 ③にぶい褐色	ロクロ成形。胴部上半は横・縦方向のへらけずり。
16 第138回 PL116	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 15.6	①粗砂粒 ②酸火焔 ③灰黄褐色	ロクロ成形。

37号住居

押回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第140回	須恵器 椀	床直 2/3	① 14.0 ②6.8⑥6.4 ③ 5.3	①粗砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第140回 PL116	須恵器 椀	カマド、埋土 2/3	① 14.3 ② 7.4 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが脱落。	
3 第140回 PL116	須恵器 椀	カマド、床直、埋土 1/2(口唇部欠)	① (16.4) ②7.6⑦7.4 ③ (6.5)	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第140回	須恵器 長頸壺	床直、埋土 胴部下半片	② 9.0 ④ 10.8	①細砂粒 ②還元焔 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法不明。高台は貼付。外面自然釉付着。	
5 第140回 PL117	須恵器 壺	+12・17 口縁部～胴部上 半片	① 15.0 胴径 23.8	①細砂粒 ②還元焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。内面頸部はヘラナデ。	
6 第149回 PL117	土師器 壺	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.6	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部は横方向のハケ目。	
7 第140回 PL117	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 16.8	①細砂粒 ②良好 ③褐色	内面に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第141回 PL117	土師器 壺	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.6	①細砂粒 ②良好 ③褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部は横方向のハケ目。	
9 第141回	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 22.8	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部は横方向のハケ目。	

38号住居

押回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第144回	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.8 ② 6.0 ③ 3.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りか。	
2 第144回 PL117	土師器 杯	床直、埋土 1/4	① 13.8 ② 6.8 ③ 4.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデと横方向への指ナデ、下位は横方向へのヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第144回 PL117	須恵器 椀	床直、埋土 2/3	① 13.6 ② 6.2 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第144回 PL117	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 13.8 ② 6.2 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第144回 PL117	須恵器 椀	埋土 1/2	① 12.6 ②5.6⑤5.0 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

6 第144図 PL117	須恵器 碗	+6 1/2	① 13.0 ②7.436.6 ④ 4.7	①細砂粒 ②燧火焼ぎみ ③にぶい棕色	ワコロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
7 第144図 PL117	須恵器 碗	+11、埋土、 A-10 口縁部一部欠	① 13.8 ②7.236.8 ③ 4.8	①粗砂粒、小礫 ②燧火焼 ③灰色	ワコロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
8 第144図 PL117	須恵器 碗	+6 1/2	① 14.0 ②6.235.9 ③ 5.3	①粗砂粒、小礫 ②燧火焼 ③淡黄色	ワコロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
9 第144図 PL117	須恵器 碗	床直、+9、 埋土、B-10 1/5	① 16.0 ②7.336.8 ③ 4.3	①粗砂粒、小礫 ②燧火焼軟質 ③灰白色	ワコロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
10 第144図 PL117	灰釉陶器 碗	床直 口縁部一部欠	① 14.4 ②7.336.6 ③ 4.3	①細砂粒 ②燧火焼 ③黄灰色	ワコロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号室式 期
11 第144図 PL118	土師器 壺	床直、+9、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 16.8	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	内面胴部に輪横直が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
12 第144図 PL118	土師器 壺	床直、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	頸部に輪横直が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
13 第144図 PL118	土師器 壺	+8、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部は上位が横方向のハケ目。	
14 第144図 PL118	土師器 壺	埋土 胴部下位片	② 5.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は一定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
15 第144図 PL118	土師器 壺	+10 胴部下位片	② 6.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は砂底部分が残る。内面胴部はヘラナゲ。	
16 第144図 PL118	土師器 壺	床直 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
編図番号 図版番号	種類 類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 器 材 号	
17第148図 PL118	石製品 磁石	埋土 完形	長 9.7 幅 4.1 厚 0.9~1.4 重 61.0	表裏に磨痕が見られる。	磁石	
18第168図 PL118	鉄器 鈎	+7 両端欠損	長 (24.0) 厚 0.7×0.6		断面多角形を呈しており、残存部の右端が僅かに曲がることから鈎の一部と推定される。	

39号住居

編図番号 図版番号	種類 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第148図 PL118	土師器 杯	カマド、+12 口縁部片	① 13.0 ② 9.2 ③ (3.4)	①細砂粒 ②軟質 ③にぶい棕色	口縁部は上半がナゲ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りか。	
2 第148図 PL118	須恵器 杯	床直、埋土 1/5	① 11.8 ② 8.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②燧火焼 ③褐色	ワコロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
3 第148図 PL118	須恵器 杯	+13 3/4	① 13.0 ② 8.2 ③ 4.0	①細砂粒 ②燧火焼 ③灰白色	ワコロ成形、回転右回り。底部は回転余切り後周囲をナゲ。	
4 第148図 PL118	須恵器 碗	埋土 1/5	① 12.0 ② 6.1 ③ 4.5	①細砂粒 ②燧火焼 ③灰白色	ワコロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
5 第148図 PL118	須恵器 碗	埋土 1/5	② 7.2	①細砂粒 ②燧火焼 ③灰色	ワコロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
6 第148図	灰釉陶器 長頸壺	埋土、E-10 底部～胴部下 位片	② 7.6 ④ 8.0	①微砂粒 ②燧火焼締め ③灰白色	ワコロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は不明。	

7 第148回 PL118	土師器 甌	床直 口縁部～胴部上 位片	① 23.0	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③によい橙褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は頸部に向 けての縦方向へラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第148回 PL118	土師器 甌	+10、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.8	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	頸部に輪痕直が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のへラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
9 第148回 PL118	土師器 甌	+15・17、埋土口 縁部～胴部中心 片	① 20.6 胴径 21.0	①細砂粒 ②良好 ③によい橙褐色	口縁部から頸部は横ナデで中ほどにナデ部分が 残る。胴部は上位が横方向、中位は斜め方向の へラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
10 第148回	土師器 甌	埋土 底部片	② 3.8	①細砂粒 ②良好 ③橙褐色	胴部下位は縦方向のへラ削り。底部は不定方向 のへラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
11 第148回	土師器 甌	埋土 底部片	② 5.0	①細砂粒 ②良好 ③によい橙褐色	胴部下位は縦方向のへラ削り。底部は不定方向 のへラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第148回	須恵器 甌	+12 口縁部片	① 26.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。	
検出番号 区版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等		石 礎 材 考
13第148回 PL118	石製品 凹石	+13 尖形	長 14.0 幅 10.8 厚 6.1 孔 7.0×7.0×2.1 重 500.0	凹は回転による磨痕が見られる。		地名ニツ岳石

40号住居

検出番号 区版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第151回 PL119	土師器 杯	床直 ほぼ完形	① 12.4 ② 8.7 ③ 3.7	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ。底部は不定方 向のへラ削り。	
2 第151回	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 12.8 ② 8.4 ③ (2.9)	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不 定方向のへラ削り。	
3 第151回	土師器 杯	+13 口縁部片	① 12.8 ② 9.0 ③ (3.3)	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③によい橙褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のへラ削 り、底部は不定方向のへラ削り。	
4 第151回 PL119	土師器 杯	貯蔵穴埋土 ほぼ完形	① 12.8 ② 9.0 ③ 4.1	①細砂粒 ②良好 ③によい橙褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のへラ削 り横ナデ下にナデが僅かに残る。底部は不定方 向のへラ削り。	
5 第151回 PL119	須恵器 杯蓋	貯蔵穴 完形	① 17.1 胴径 4.1 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③ 灰白色	ロクロ成形、回転右回り。胴みは貼付。天井部 中ほどは回転へラ削り。外面に重焼き痕が見ら れる。	
6 第151回 PL119	須恵器 杯蓋	貯蔵穴埋土、 T-12、A-12 1/5	① 17.6	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。天井部中ほどは回転 へラ削り。	
7 第151回	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 10.6 ② 6.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③ 灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部は回転糸切り 後周囲を回転へラ削り。	
8 第151回 PL119	須恵器 杯	床直 完形	① 10.5 ② 5.1 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③ 灰白色	焼成時の歪みがある。ロクロ成形、回転右回り。 底部は回転糸切り。	
9 第151回 PL119	須恵器 杯	床直、埋土 1/2	① 11.6 ② 7.0 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
10 第151回 PL119	須恵器 杯	床直、埋土 3/4	① 11.8 ② 6.6 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③ 灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へラ削り。	
11 第151回 PL119	須恵器 杯	貯蔵穴 3/4	① 12.1 ② 6.6 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③ 灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へラ切り 後周囲をへラ調整。	
12 第152回 PL119	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 12.6 ② 7.7 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③ 灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

13 第152回 PL119	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 12.8 ② 8.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②澁火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
14 第152回	須恵器 杯	埋土 1/6	① 12.6 ② 9.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②澁火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
15 第152回 PL119	須恵器 杯	野藏穴埋土 口縁部一部欠	① 13.2 ② 7.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②澁火焔さみ ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
16 第152回	須恵器 杯	カマド、埋土 1/6	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②澁火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
17 第152回 PL119	須恵器 椀	床直 1/3	② 9.0 ④ 9.2	①細砂粒 ②澁火焔軟質 ③白色	外面は器面の割離が激しい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
18 第152回 PL119	須恵器 皿	床直 底部	② 7.0 ④ 6.8	①細砂粒 ②澁火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
19 第152回 PL119	須恵器 短冊查蓋	+37 1/5	① 14.4	①細砂粒 ②澁火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。罎・凸帯は貼付。天井部に自然輪付着。	
20 第152回	土師器 壺	カマド 口縁部片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③によい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のへう削り。内面胴部はヘラナデ。	
21 第152回 PL120	土師器 台付壺	床直 1/2	② 4.5 ④ 10.2 脚径 15.2	①細砂粒 ②良好 ③によい黄褐色	胴部は上半が横方向、下半は縦方向のへう削り。脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
22 第152回 PL120	須恵器 壺	床直 底部片	② 20.0	①細砂粒 ②澁火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部下位に1枚の凹輪が回りその下位は横方向のへう削り。底部はヘラナデ。	
押図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	石 籠 材 考	
23第152回 PL120	石製品 紡錘車	+23 ほぼ完形	表径 4.6 裏径 4.6 厚 1.0 孔 1.0 重 34.0		表面端部の一部が欠損。表面に細かい溝が見られる。	蛇文岩
24第152回 PL120	鉄器 刀子	野藏穴 柄の基部欠損	長 (15.8) 身長 13.4 幅 0.9~1.3 厚 0.2~0.3		柄の断面は逆台形状を呈す。	

41号住居

押図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 変 形 の 特 徴	備 考
1 第155回 PL120	黒色土師 椀	+10 口縁部片	① 15.0	①細砂粒 ②澁火焔さみ ③褐色	内外面黒色地埋。ロクロ成形。内外面とも横方向へう磨き。	
2 第155回 PL120	黒色土師 椀	+22 底部片	② 6.7 ④ 6.2	①細砂粒 ②澁火焔 ③によい黄褐色	内面黒色地埋。ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面は格子状へう磨き。	
3 第156回 PL120	黒色土師 椀	カマド、埋土 底部～口縁部 下半	② 7.0 ④ 6.6	①細砂粒 ②澁火焔 ③によい黄褐色	内面黒色地埋。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面は口縁部が横方向、底部が縦方向のへう磨き。	
4 第156回 PL120	須恵器 椀	+10 口縁部片	① 18.0	①細砂粒 ②澁火焔 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第156回 PL120	須恵器 椀	床直 底部	② 7.0 ④ 7.3	①粗砂粒 ②澁火焔 ③によい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第156回	須恵器 皿	埋土 底部片	② 7.2 ④ 7.5	①細砂粒 ②澁火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
7 第156回	須恵器 椀	埋土、D-13 底部片	② 21.6	①粗砂粒 ②澁火焔 ③褐色	ロクロ成形、回転方向不明。	

8 第156回 PL120	土器器 甕	埋土 口縁部片	① 19.8	①粗砂粒 ②燧火屑 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は横方向のヘラ削り。内面胴部は横方向のハケ目。	
9 第156回 PL120	須恵器 羽釜	カマド 底部一部欠	① 20.4 ② 9.0 ③ 24.2	①粗砂粒、小礫 ②燧火屑 ③淡黄色	ロクロ成形。甕は貼付。胴部下位は斜め方向のヘラ削り。底部はヘラナデか。	
10 第156回 PL120	須恵器 羽釜	+22 口縁部～胴部 中位片	① 23.0 径径 24.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄褐色	ロクロ成形。甕は貼付。	
11 第156回	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 19.0 径径 24.4	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい褐色	ロクロ成形。甕は貼付。	

42号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第159回 PL120	須恵器 椀	カマド、26土坑 1/3	① 12.0 ② 5.6 ③ 3.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
2 第159回 PL120	須恵器 椀	床直 完形	① 11.4 ② 6.1 ③ 4.1	①粗砂粒 ②燧火屑 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
3 第159回 PL120	須恵器 椀	床直 完形	① 12.4 ② 5.7 ③ 4.4	①粗砂粒 ②燧火屑 ③褐色	口縁部中ほどに輪積痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
4 第159回 PL120	須恵器 椀	床直、26土坑 口縁部一部欠	① 11.4 ②6.8③5.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第159回 PL121	須恵器 椀	カマド、26土坑 1/3	① 12.4 ②6.5③5.7 ③ 4.7	①粗砂粒 ②燧火屑 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り後 周囲をナデ。高台は貼付。	
6 第159回 PL121	須恵器 椀	床直、26土坑 口縁部大部分 ・高台欠	① 11.7 ② 7.0 ③ (4.2)	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り後 ナデ。高台は貼付であるが剥落。	
7 第159回 PL121	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部 上位片	① 19.2 径径 22.8	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形。甕は貼付。	
8 第159回 PL121	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 27.0 径径 29.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③褐色	ロクロ成形。甕は貼付。	
9 第159回 PL121	須恵器 羽釜	床直、埋土、 26土坑 胴部下半片	② 6.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄褐色	胴部に輪積痕が残る。ロクロ成形。胴部下位は 斜め方向のヘラ削り。	
10 第160回 PL121	土製品 平瓦	カマド、26土坑 1/4	厚 1.8	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい褐色	上面は布目。下面はヘラナデ。周囲はヘラ削り。	
採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 画 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	石 備 材 考
11第160回 PL121	石製品 凹石	床直 完形か	長 24.9 幅 20.6 厚 13.2 孔 7.3×6.8×3.0 重 3,800.0		側面は一部研磨され平坦面を作っている。凹は 回転による擦痕が見られる。	緑名ニッ岳凹石

43号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第163回 PL121	須恵器 杯蓋	埋土 溝～天井部片	径径 1.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③淡黄色	ロクロ成形、回転方向不明。掴みは貼付で周囲 はナデ、回転ヘラ削り。	
2 第163回 PL121	須恵器 杯	+12、埋土 1/4	① 13.6 ② 7.5 ③ 3.3	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	

3 第163図 PL122	須恵器 椀	埋土 1/4	① 16.8 ② 4.2 ③ 4.4	①細砂粒 ②濃火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。	
4 第163図 PL122	須恵器 椀	+23、埋土 1/2	① 12.3 ② 5.4 ③ 4.0	①多量の砂粒 ②濃火焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。	
5 第163図 PL122	須恵器 椀	+23、埋土 1/2	① 12.6 ②7.2③6.6 ③ 4.3	①細砂粒 ②濃火焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付で蓋な整形。	
6 第163図 PL122	須恵器 椀	+3、埋土 1/3	① 13.7 ②6.8③6.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
7 第163図 PL122	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.8 ②7.4③6.8 ③ 4.7	①粗砂粒 ②濃火焔ざみ ③におい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
8 第163図 PL122	須恵器 椀	+10 口縁部一部・ 高台欠	① 12.3 ② 6.8 ③ (3.9)	①粗砂粒 ②濃火焔ざみ ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付であるが剥落。	
9 第163図 PL122	須恵器 椀	貯蔵穴 高台欠	① 13.0 ② 6.3 ③ (5.1)	①粗砂粒 ②濃火焔 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
10 第163図 PL122	須恵器 椀	カマド 1/2	① 13.4 ② 5.0 ③ (4.4)	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り後ナデ。高台は貼付であるが剥落。	
11 第163図 PL122	須恵器 椀	+36 1/2	① 13.7 ② 7.0 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付であるが剥落。	
12 第164図 PL122	須恵器 椀	カマド 1/3	① 19.8 ② 8.0 ③ (7.7)	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
13 第164図 PL122	須恵器 椀 (底面穿孔)	床直 口縁部上半欠	② 7.5 ④ 8.0 孔径 0.8	①細砂粒 ②濃火焔 ③灰白色	底部に焼成前の穿孔あり。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
14 第163図 PL122	須恵器 皿	埋土 1/4	① 12.8 ②7.9③7.7 ③ 3.2	①細砂粒 ②濃火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
15 第163図 PL122	須恵器 皿	貯蔵穴 3/4	① 13.6 ②6.4③6.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②濃火焔ざみ ③におい褐色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
16 第164図 PL122	灰軸陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗り、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
17 第164図 PL122	灰軸陶器 椀	埋土 口縁部片	① 14.0	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のある灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
18 第164図 PL122	灰軸陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のある灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
19 第164図 PL122	灰軸陶器 皿	埋土 底部片	② 8.2 ④ 7.8	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	光ヶ丘1号窯式 期
20 第164図 PL123	灰軸陶器 長頸甕	埋土、68-104住 口縁部欠、胴部	②9.0③9.0 頸径 4.6 胴径 15.8	①細砂粒 ②濃火焔 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ、高台は貼付。胴部中位以下は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色	光ヶ丘1号窯式 期
21 第164図 PL123	須恵器 長頸甕	カマド、埋土 B-10-11 胴部片	頸径 5.5	①粗砂粒 ②濃火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。頸部と胴部は二段接合。	
22 第164図 PL123	須恵器 短頸甕	埋土、B-12 1/6	① 11.8 頸径 13.0 ③ (2.7)	①細砂粒 ②濃火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。肩と凸帯は貼付。天井部に自然軸付着。	
23 第164図 PL123	須恵器 短頸甕	埋土、A-11、 B-12、C-11 口縁部～胴片	① 8.0 頸径 13.2	①細砂粒 ②濃火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。口唇部に僅かな四線が見られる。外面胴部に自然軸付着。	

24 第164回 PL123	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 18.6	①細砂粒 ②良好 ③によい褐色	胴部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
25 第164回 PL123	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部 中位片	① 19.8 胴径 22.4	①細砂粒 ②良好 ③によい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
26 第164回 PL123	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部 中位片	① 20.0 胴径 22.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
27 第164回 PL123	土師器 壺	カマド、埋土 口縁部～胴部 中位片	① 22.6 胴径 23.6	①細砂粒 ②良好 ③洗黄褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
28 第164回 PL123	土師器 台付壺	床直、埋土 口縁部～胴部 上位片	① 12.6 胴径 14.0	①細砂粒 ②良好 ③によい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
押込番号 図版番号	埋 器 種	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
29第165回 PL123	鉄器 鏃	埋土 柄	長 (7.0) 幅 0.8 厚 0.4		先端部、断面長方形。	
30第165回 PL123	鉄器 棒状	+21 両端欠損	長 (4.6) 厚 0.6~0.8		頭部付近片か	
31 第165回	土師器 杯	埋土 1/5	① 10.8 ② 6.8 ③ (3.5)	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ。底部は不定方向のヘラ削り。	
32 第165回 PL123	黒色土器 碗	+12・13 1/3	① 14.0 ②7.2③7.2 ④ 7.0	①細砂粒 ②燐火焔 ③黒色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面は横方向のヘラ磨き。	
33 第165回 PL123	黒色土器 碗	埋土 1/4	② 6.2 ④ 6.0	①細砂粒 ②燐火焔 ③黒色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。内外面の口縁部にヘラ磨き。	
34 第165回 PL123	須恵器 杯	+11 完形	① 9.2 ② 4.6 ③ 2.9	①粗砂粒 ②燐火焔 ③によい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
35 第165回 PL123	須恵器 杯	床直 ほぼ完形	① 10.5 ② 5.7 ③ 3.3	①粗砂粒、褐色粒 ②燐火焔 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
36 第165回 PL123	須恵器 杯	埋土 1/6	① 11.2 ② 5.8 ③ 3.3	①粗砂粒、小礫 ②燐火焔 ③によい褐色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法不明。	
37 第165回 PL123	須恵器 杯	貯蔵穴、埋土 完形	① 11.4 ② 5.6 ③ 4.3	①粗砂粒、褐色粒 ②燐火焔 ③洗黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで使用時の磨痕が見られる。	
38 第165回 PL123	須恵器 碗	カマド、埋土 口縁部一部・ 高台大部分欠	① 11.2 ②6.0③5.8 ④ 4.5	①粗砂粒、小礫 ②燐火焔 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
39 第165回 PL124	須恵器 碗	+18・21、埋土 2/3	① 12.0 ②6.4③5.6 ④ 4.8	①粗砂粒 ②燐火焔ざみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
40 第165回 PL124	須恵器 碗	+9 2/3	① 11.8 ② 6.0 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②燐火焔 ③洗黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付であるが剥落。高台剥落後も使用したのか剥落部分が磨減。	
41 第165回 PL124	須恵器 碗	埋土 1/4	① 13.6 ②6.0③5.6 ④ 5.3	①細砂粒 ②燐火焔 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	黒色土器の可能性あり。
42 第165回 PL124	須恵器 碗	+19・20・22 埋土 1/3	① 14.6 ② 7.0 ③ (8.6)	①細砂粒 ②燐火焔 ③洗黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口唇部は平坦面をもち、口縁部中ほどに凹線が1条走る。	
43 第165回 PL124	緑釉陶器 椀	埋土 口縁部中位小 片		①微砂粒 ②燐火焔 ③灰色	内面の様より上部には陰刻文が施文、形状は不明。	東海産
44 第165回 PL124	須恵器 羽蓋	+19・20・22埋土 64・139住 口縁部～胴片	① 19.0 胴径 23.2	①粗砂粒 ②燐火焔 ③によい黄褐色	ロクロ成形。踵は貼付。口唇部は内傾する平坦面をもつ。胴部下半は底部からの縦方向のヘラ削り	

45 第165図 PL124	須恵器 羽蓋	カマド、+9 64位、32土坑 口縁部~胴片	① 19.0 口径 23.4	①粗砂粒 ②燧火痕 ③におい黄褐色	ロクロ成形。蓋は貼付。口唇部は内傾する平坦面をもつ。胴部下半は底部からの縦方向のヘラ削り	
46 第165図 PL124	須恵器 羽蓋	カマド、+9・10、 26・139位、34土 坑口縁部~胴片	① 20.2 口径 25.2	①粗砂粒 ②燧火痕 ③褐色	胴部に輪痕が残る。ロクロ成形。蓋は貼付。口唇部は内傾する平坦面をもつ。胴部下半は底部からの縦方向のヘラ削り。	

44号住居

検出番号 図版番号	種別	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第168図 PL124	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 13.0 ② 6.2 ③ 3.4	①粗砂粒 ②燧火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
2 第168図 PL124	須恵器 椀	貯蔵穴 2/3	① 12.4 ② 5.2 ③ 3.9	①粗砂粒 ②燧火痕 ③灰青色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
3 第168図 PL124	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.0 ② 5.5 ③ 4.2	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
4 第168図 PL124	須恵器 椀	カマド 1/3	① 13.2 ② 8.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
5 第168図 PL124	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.2 ②7.9③7.2 ③ 5.1	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第168図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.8 ②7.0③6.4 ③ 4.4	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法はナデで不明。高台は貼付。	
7 第168図 PL125	須恵器 椀	周溝、埋土 口縁部上半1/2 欠	① 15.0 ②8.2③7.5 ③ 4.8	①粗砂粒 ②燧火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。周囲はナデ。高台は貼付。	
8 第168図 PL125	須恵器 椀	+17 底部	② 7.9 ④ 7.6	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
9 第168図 PL125	須恵器 椀	カマド、埋土 1/2	① 13.4 ②6.4③6.0 ③ 5.0	①粗砂粒、褐色粒 ②燧火痕 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
10 第168図 PL125	須恵器 椀	+6 完形	① 13.8 ②6.6③6.4 ③ 5.7	①粗砂粒、褐色粒 ②燧火痕 ③におい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
11 第168図 PL125	須恵器 皿	床直、埋土 1/3	① 14.2 ② 8.0	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付であるが剥落。	
12 第168図 PL125	須恵器 皿	埋土 底部片	② 8.2 ④ 7.8	①細砂粒、黒色粒 ②燧火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
13 第169図 PL125	灰輪陶器	埋土、F-11、 P-R-10-T-11 1/3	② 8.0 ④ 7.9	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉は内面のみ全面に施され、釉調はやや緑色をおびた灰色。	黒管14号窓式期
14 第169図	灰輪陶器 皿	埋土 底部片	② 7.3 ④ 6.5	①微砂粒 ②燧火痕焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	光ヶ丘1号窓式期~大原2号窓式期
15 第169図	須恵器 長頸甕	埋土 口縁部片	① 9.8	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰色	ロクロ成形。	
16 第169図	土師器 甕	カマド 口縁部~胴部中 位片	① 11.0 胴径 12.8	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
17 第169図 PL125	土師器 甕	床直、+7・12 口縁部~胴部 中位片	① 19.8 胴径 24.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ	

18 第169回 PL125	土師器 壺	床直、+6・10埋 土 胴部片	胴径 24.0 ② (4.6)	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③褐色	胴部は上位が横方向、中位は斜め方向、下位は縦方向のへう削り。
19 第169回 PL125	土師器 台付壺	カマF、床直 +12・13、埋土 3/4	① 11.8 ④ 10.0 ⑤ 17.4	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位～中位が横方向、下位は縦方向のへう削り。頸部は貼付で接合部分から下は横ナデ、内面胴部はへうナデ。

45号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第172回 PL125	須恵器 椀	床直 完形	① 11.8 ② 4.8 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第172回 PL125	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ②6.0⑤5.6 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰燻 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第172回 PL125	須恵器 椀	+6 完形	① 11.8 ②6.3⑤5.6 ③ 4.6	①粗砂粒、小粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。	
4 第172回 PL125	須恵器 椀	カマD 口縁部上半2/3 欠	① 12.0 ②6.0⑤4.9 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周辺をナデ。高台は貼付。	
5 第172回 PL126	灰輪陶器 椀	+8、C-11 1/2	① 16.4 ②7.8④7.4 ③ 5.9	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口縁部下位は回転へう削り。施触方法は漬け掛け、軸調は緑灰色。	大原2号窯式期末
6 第172回 PL126	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部 中位片	① 20.4 胴径 24.0	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	胴部に輪痕が残る。ロクロ成形。脚は貼付。胴部下半は底部からの縦方向へう削り。	
7 第172回 PL126	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部 上位片	① 20.6 胴径 24.8	①細砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形。脚は貼付。口唇部は平坦面をもつ。	
8 第172回 PL126	須恵器 羽釜	カマD 口縁部～胴部 上位片	① 21.0 胴径 23.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。脚は貼付。口唇部は平坦面をもつ。	

47号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第176回	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 10.0 ② 8.0 ③ (3.1)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。底部は不定方向のへう削りか。	
2 第176回 PL126	須恵器 椀	貯蔵穴 3/4	① 12.8 ②6.5⑤5.9 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第176回 PL126	須恵器 椀	貯蔵穴 底部～口縁部 下半	② 6.0 ④ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第176回	灰輪陶器 椀	埋土 底部片	② 7.1 ④ 6.7	①微砂粒、水腫 ②還元焰焼締め ③灰白色	内面見込みに重巻き痕。ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	大原2号窯式期
5 第176回 PL126	灰輪陶器 皿	埋土、43住、 C-11 1/4	① 12.4 ②6.8④6.2 ③ 3.0	①微砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施触方法は漬け掛け、軸調は緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期

48号住居

棟居番号 図版番号	種 器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第179図 PL126	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.0 ②7.3③6.7 ③ 4.1	①粗砂粒 ②燻火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
2 第179図 PL126	須恵器 椀	カマド、+6 4/5	① 13.4 ②6.7③5.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②燻火痕 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
3 第179図	須恵器 椀	+17 底部片	② 8.6 ④ 8.8	①粗砂粒 ②燻火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
4 第179図 PL126	灰軸陶器 椀	埋土 口縁部片	① 17.8 径径 13.0	①微砂粒 ②燻火痕焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。椀の内面側に凹線が走る。施軸方法は刷毛塗り、軸調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式期
5 第179図	灰軸陶器 椀	埋土 底部片	② 6.8 ④ 6.6	①微砂粒 ②燻火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施軸方法は不明。軸調は透明感のない灰色。	大塚2号窯式期

49号住居

棟居番号 図版番号	種 器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第182図	土師器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①粗砂粒 ②やや軟質 ③褐色	口唇部は横ナゲ、口縁部は上半が横ナゲ、下半がヘラ削り。	
2 第182図 PL126	須恵器 皿	+6 口縁部一部欠	① 10.0 ② 5.2 ③ 2.5	①粗砂粒 ②燻火痕 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
3 第182図 PL126	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 22.0 径径 23.2	①粗砂粒 ②燻火痕 ③明赤褐色	ロクロ成形。踵は貼付。	

50号住居

棟居番号 図版番号	種 器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第185図 PL126	須恵器 椀	カマド 兜形	① 12.6 ②6.5③6.0 ③ 4.9	①粗砂粒 ②燻火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
2 第185図 PL126	須恵器 椀	灰漬、+6、埋土 3/4	① 13.2 ②6.6③6.0 ③ 5.0	①粗砂粒 ②燻火痕ざみ肌 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
3 第185図 PL127	須恵器 椀	+24、埋土 3/4	① 13.8 ②7.0③6.7 ③ 5.3	①粗砂粒 ②燻火痕 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
4 第185図 PL127	須恵器 椀	カマド 口唇部・高台 一部欠	① 13.0 ②6.2③5.5 ③ 5.3	①粗砂粒 ②燻火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
5 第185図 PL127	須恵器 椀	カマド 口唇部・高台 一部欠	① 13.5 ② 7.3 ③ (4.2)	①粗砂粒 ②燻火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り後周囲をナゲ。高台は貼付。	
6 第185図	灰軸陶器 椀	埋土 底部片	② 7.4 ④ 6.8	①微砂粒、水磨 ②燻火痕焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施軸方法は不明。	大塚2号窯式期
7 第185図	灰軸陶器 椀	埋土 底部片	② 8.4 ④ 8.0	①微砂粒、水磨 ②燻火痕焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施軸方法は不明。	大塚2号窯式期
8 第185図 PL127	須恵器 羽釜	+7、埋土 口縁部～胴部 中位片	① 21.2 径径 24.2	①粗砂粒、褐色粒 ②燻火痕 ③によい褐色	内面口縁部に輪積板が残る。ロクロ成形。踵は貼付。胴部下半は底部からの縦方向のヘラ削り。	

51号住居

採回番号 採取番号	種別 種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①粘土 ②色調 ③焼成	成形・整形の特徴	備考
1 第188回 PL127	土師器 杯	埋土 口縁部片	①	14.2	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上半が横ナゲ、下半がナゲ。口唇部に煤が付着。	
2 第188回 PL127	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部一部欠	① ② ③	12.3 5.6 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第188回 PL127	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	②	6.8	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第188回	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部上 位片	②	8.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第188回 PL127	須恵器 皿	+12、90住 1/5	① ② ③	12.8 7.5⑦6.6 2.9	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第188回 PL127	須恵器 皿	カマド、埋土 1/4	① ② ③	13.4 7.6⑧6.0 2.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第188回 PL127	土師器 杯	埋設土 底部片			①粗砂粒 ②軟質 ③褐色	底部へクワ後「+」の刻書	観入品

52号住居

採回番号 採取番号	種別 種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①粘土 ②色調 ③焼成	成形・整形の特徴	備考
1 第191回 PL127	須恵器 椀	カマド 1/2	① ② ③	9.7 5.0 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。一部口縁部下位まで及んでいる。	
2 第191回 PL127	須恵器 椀	カマド 1/2	① ② ③	10.6 6.8 3.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第191回 PL127	須恵器 椀	床直 1/2	① ② ③	12.8 6.8 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第191回 PL128	須恵器 椀	掘方、埋土 2/3	① ② ③	13.0 5.7 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第191回 PL128	須恵器 椀	カマド、埋土 2/3	① ② ③	14.0 7.2 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。口唇部は横ナゲ、口縁部は内外面ともロクロ水引き板をナゲ調整。	内面底部に刻書「大」
6 第191回 PL128	須恵器 椀	+6、A-12 1/2	① ② ③	11.4 7.2⑩6.6 3.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第191回 PL128	須恵器 椀	+12・18、埋土 口縁部一部欠	① ② ③	12.0 6.1⑪5.8 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③秋オリーブ色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第191回 PL128	須恵器 椀	床直 1/2	① ② ③	12.0 6.0⑫5.9 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
9 第191回 PL128	須恵器 椀	カマド 1/2	① ② ③	12.0 6.5⑬6.5 4.1	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は口縁部最下部に貼付。	
10 第191回 PL128	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① ② ③	13.2 7.0⑭6.3 5.4	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。口縁部下半に横方向の指ナゲ。	
11 第191回 PL128	須恵器 椀	+13 2/3	① ② ③	10.6 6.0⑮6.5 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

12 第191図 PL128	須恵器 椀	+11 1/2	① 11.6 ② 6.6③6.4 ③ 4.7	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
13 第191図 PL128	須恵器 椀	+15 口縁部一部欠	① 11.6 ② 6.7③6.6 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
14 第191図 PL128	須恵器 椀	カマド、埋土 3/4	① 11.4 ② 6.8③6.3 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
15 第191図 PL128	須恵器 椀	飯方、埋土 1/3	① 12.0 ② 6.7③6.3 ③ 4.4	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
16 第192図 PL128	須恵器 椀	+14、埋土 45住、B-11 2/3	① 12.2 ② 7.5③7.4 ③ 5.5	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰軟質 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。高台は貼付。	
17 第192図 PL128	須恵器 椀	カマド 2/3	① 12.0 ② 6.9③6.5 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③淡黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
18 第192図 PL128	須恵器 椀	カマド 2/3	① 12.0 ② 7.4③7.8 ③ 5.5	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口縁部はヘラナデ。	
19 第192図 PL128	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 13.4 ② 6.4③6.3 ③ 6.5	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
20 第192図 PL128	灰軸陶器 椀	+8、A-11 底部へ口縁部片	② 8.0 ④ 7.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み部に重焼き 痕。底部切り磨し技法はナデで不明。高台は貼付 施軸方法は漬け掛け、軸調は緑色をおびた灰色。	大塚2号窯式 期
21 第192図 PL129	灰軸陶器 皿	床直 底部片	② 6.1 ④ 5.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。施軸方法は漬け掛け か、軸調はやや緑色をおびた灰色。	大塚2号窯式 期
22 第192図 PL129	灰軸陶器 皿	床直 底部	② 7.8 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。施軸方法は刷毛塗り、 軸調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
23 第192図 PL129	緑軸陶器 椀	埋土 口縁部小片	①14cm前後	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	外面口唇部に緑彩。軸調は濃緑色。	黒雲90号窯式 期
24 第192図 PL129	土師器 罍	+17、埋土、 口縁部へ割部 上位片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
25 第192図 PL129	土師器 罍	+9、埋土、A-11 口縁部へ割部 上位片	① 18.2	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
26 第192図	土師器 脚付鍋?	埋土 脚部接合部片		①粗砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	整形はナデ。	
種別番号 図版番号	種 類 類 種	出土位置 残 存 率	計 量 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 體 材 考	
27第194図 PL129	石製品 硯石	埋土 1/3	重 (17.6) 幅 5.5~7.7 厚 2.3~4.3 重 720.0	各面に磨面がみられ、端部が中央より磨り減っ ている。	砥石	

53号住居

種別番号 図版番号	種 類 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第194図 PL129	土師器 杯	埋土 1/3	① 12.1 ② 7.6 ③ 3.6	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③褐色	成形は明確で口縁部の歪みが大い。口唇部は 横ナデ、口縁部はナデ。底部は不定方向のヘラ 削り。	
2 第194図 PL129	須恵器 杯	埋土 1/5	① 12.0 ② 8.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第194図 PL129	須恵器 杯	埋土 2/3	① 12.3 ② 6.0 ③ 3.3	①細砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

4 第194図 PL129	須恵器 杯	埋土、63住 2/3	① 12.6 ② 6.2 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
5 第194図 PL129	須恵器 杯	埋土、63住 1/4	① 15.6 ② 8.4 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
6 第194図 PL129	須恵器 椀	床直、埋土 底部へ口縁部 下半	② 7.2 ④ 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。 高台は貼付。	
7 第194図 PL129	須恵器 皿	埋土 1/6	① 13.6 ②8.6③9.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。 高台は貼付。	
8 第194図 PL129	須恵器 壺	+8、埋土 底部	② 8.0 ④ 8.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。 高台は貼付。口縁部は放意の打ち欠きか。	
9 第194図	土師器 壺	埋土 口縁部片	① 17.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口唇部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ割部上位は横方向のへら削り。内面割部はへ ラナデ。	
10 第194図 PL129	土師器 壺	埋土 底部片	② 3.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部下位は縦方向のへら削り、底部もへら削り。 内面割部はハケ目。	
11 第194図 PL129	土師器 壺	埋土 底部片	② 4.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部下位は縦方向のへら削り、底部もへら削り。 内面ハケ目(単位など不鮮明)。	
12 第194図	須恵器 壺	+8 口縁部片	① 25.0	①細砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形。	
13 第194図 PL129	土製品 土罐	埋土 ほぼ完形	全長 3.5 幅 0.95 孔径 0.30	①微砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	外面はナデ整形。	

54号住居

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第196図 PL130	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 12.9 ② 6.9 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
2 第196図 PL130	須恵器 杯	埋土、53住 1/2	① 13.6 ② 8.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
3 第196図 PL130	須恵器 杯	カマド 1/4	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
4 第196図 PL130	須恵器 皿	床直 1/6	① 14.8 ②8.0③8.0 ③ 2.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切りか。 高台は貼付。	
5 第196図	土師器 壺	床直 口縁部へ胴部上 位片	① 18.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ。胴部は上位が横方向 のへら削り。内面割部はへラナデ。	
採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	計 量 (単位 cm、g)	特 徴 等		備 考
6 第196図 PL130	鉄器 刀子	周溝 柄部欠損	長 (12.4) 身幅 0.9~1.8 柄幅 0.5~1.2 厚 0.2~0.4	刀身が僅かに湾曲している。		

55号住居

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第200図 PL130	土師器 杯	カマド 底部片	② 9.2	①細砂粒 ②軟質 ③褐色	底部に粘土紐巻き上げ痕が残る。口縁部下位・ 底部はへら削りが施されているが方向・単位不 鮮明。内面口縁部は斜放狀付文。	

2 第200図 PL130	須恵器 杯	埋土 1/4	① 11.5 ② 7.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②濃灰層 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り後ヘラナデ。
3 第200図 PL130	須恵器 杯	+11 宛形	① 12.4 ② 8.0 ③ 4.0	①粗砂粒、小礫 ②濃灰層 ③灰白色	焼成時の歪み大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り。
4 第200図 PL130	須恵器 椀	+8・12 埋土、50住 口縁部一部欠	① 10.9 ②6.3③6.5 ④ 5.0	①細砂粒 ②濃灰層 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り。高台は貼付。
5 第200図 PL130	須恵器 椀	床直 口縁部・高台 一部欠	① 11.2 ②6.9③6.8 ④ 5.0	①粗砂粒 ②濃灰層 ③灰色	ロクロ成形、回転ヘラ切り。底部は回転ヘラ切り後回転ヘラ削り。高台は貼付。
6 第200図 PL130	須恵器 椀	+6 ほぼ宛形	① 11.2 ②6.4③6.6 ④ 5.0	①細砂粒 ②濃灰層 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り。高台は貼付。
7 第200図 PL131	須恵器 横瓶	カマド、66住 D-13 胴部1/3	胴径 25.6 底面径 11.6	①細砂粒 ②濃灰層 ③灰色	肩部は粘土板による閉塞、内面に指ナデ痕が残る。外面は平行叩き、一部に自然釉が付着。
8 第201図 PL130	土師器 甕	カマド、50住 口縁部～胴部上 位片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
9 第201図 PL130	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.2	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
10 第201図 PL131	土師器 甕	カマド、50住 口縁部～胴部下 位片	① 22.3 胴径 22.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部・胴部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
11 第201図 PL131	土師器 甕	カマド、50・51住 D-14 1/4	① 20.4 ② (4.0) ③ 27.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口唇部、内面胴部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
12 第201図 PL131	土師器 甕	カマド、50住 1/3	① 24.0 胴径 34.0 残高 25.5	①粗砂粒、小礫 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向、下位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
13 第202図 PL131	須恵器 甕	床直 口縁部下半片	胴径 35.6	①粗砂粒 ②濃灰層 ③灰色	口縁部と胴部は接合。外面は凹線による区画を行いその内部に波状文を施文、内面はヘラナデ。
14 第202図 PL131	須恵器 甕	埋土 胴部片	② 20.2 胴径 38.8	①細砂粒 ②濃灰層 ③灰色	胴部は平行叩き、底部はヘラ削りであるが方向・単位は不鮮明。内面は平行状アテ具痕が残る。

56号住居

調査番号 図版番号	器種 器型	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第205図	須恵器 杯	埋土 1/6	① 12.0 ② 6.0 ③ 3.9	①粗砂粒、褐色粒 ②濃灰層 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り。	
2 第205図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 6.0	①細砂粒 ②濃灰層 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り。	
3 第205図 PL131	須恵器 短瓶	埋土 宛形	① 4.1 ②4.8③5.2 ④ 6.6	①細砂粒 ②濃灰層 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。	
4 第205図 PL131	土師器 壺	床直、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 18.2 胴径 20.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第205図 PL131	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 31.0	①粗砂粒、褐色粒 ②やや軟質 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

57号住居

調査番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第208図 PL132	須恵器 椀	+7、埋土 1/3	① 14.8 ② 8.0③6.3 ③ 4.8	①細砂粒 ②激火焼 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第208図	灰輪陶器 椀	埋土 口縁部小片		①微砂粒 ②激火焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、輪割は透明感 のない灰色。	虎沢山1号窯式 期
3 第208図 PL132	須恵器 壺	+3 口縁部～胴部上 位片	① 26.8	①粗砂粒、褐色粒 ②激火焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。断面に輪割痕が観察できる。	
4 第208図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.7 径 21.2	①粗砂粒 ②激火焼 ③黄灰色	ロクロ成形。罫は貼付。	
5 第208図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 21.6 径 24.6	①粗砂粒 ②激火焼 ③明黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。内面に輪割痕が残る。	

58号住居

調査番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第211図 PL132	黒色土器 杯	カマド 1/4	① 10.0 ② 5.4 ③ (3.4)	①粗砂粒 ②激火焼 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 にはナデ。高台は貼付であるが剥落。内面は底 部が放射状、口縁部は横方向のヘラ磨き。	
2 第211図 PL132	黒色土器 椀	埋土 底部	② 7.0 ④ 6.2	①粗砂粒 ②激火焼 ③黄灰色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 はナデ。高台は貼付。内面は底部がヘラ磨き、 口縁部は背面割削で不鮮明であるがヘラ磨き か。	
3 第211図 PL132	黒色土器 椀	カマド 底部	② 8.0 ④ 7.8	①粗砂粒 ②激火焼 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面 はヘラ磨き。	
4 第211図 PL132	須恵器 杯	床直 完形	① 9.0 ② 4.5 ③ 3.0	①粗砂粒、褐色粒 ②激火焼 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第211図 PL132	須恵器 椀	埋土 底部	② 5.8 ④ 5.6	①粗砂粒 ②激火焼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第211図 PL132	灰輪陶器 椀	+30 底部片	② 8.2 ④ 8.4	①微砂粒 ②激火焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け か、輪割はやや緑色をおびた灰色。	内外面の一部に 漆付電。 大塚2号窯式期
7 第211図 PL132	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 25.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は下位からの頸 部への縦方向ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 16.4 径 23.8	①粗砂粒、褐色粒 ②激火焼 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部は横方向のヘラ削 り。	
9 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 21.0 径 26.0 径 25.6	①粗砂粒、褐色粒 ②激火焼 ③明赤褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部は下位と一部中程 に底部から上位へ向けての縦方向ヘラ削り。	
10 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド、床直、+ 8、埋土 口縁部～胴片	① 21.6 径 26.0 径 26.8	①粗砂粒 ②激火焼 ③明赤褐色	口縁部は楕円形に歪んでいる。ロクロ成形。罫 は貼付。	
11 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド、F-13 口縁部～胴部上 位片	① 21.6 径 23.6	①粗砂粒、褐色粒 ②激火焼 ③明赤褐色	内外面に輪割痕が残る。ロクロ成形。罫は貼付。 胴部は下位から罫へ向けての縦方向ヘラ削り。	
12 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 21.8 径 27.0	①粗砂粒、褐色粒 ②激火焼 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部は下位から罫へ向 けての縦方向ヘラ削り。	

59号住居

縄文番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第213図 PL133	須恵器 杯	床直 兜形	① 9.0 ② 5.0 ③ 2.4	①粗砂粒、褐色粒 ②燻火焼 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第213図 PL133	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 9.6 ② 5.6 ③ 3.5	①粗砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第213図 PL133	灰粘陶器 段皿	床直、G-13 2/3	① 13.6 ②8.2③7.8 ③ 2.9	①微砂粒 ②燻火焼焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。口縁部下位は回転へラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大塚2号室式期
4 第213図	灰粘陶器 長頸壺	埋土 底部片	② 8.8 ③ 8.0	①微砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	
5 第213図 PL133	須恵器 羽釜	+15 口縁部～胴部上 位片	① 20.6 脚径 23.6	①粗砂粒 ②燻火焼ざみ ③黒褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	

60号住居

縄文番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第215図 PL133	須恵器 碗	床直 兜形	① 9.8 ② 5.2 ③ 3.3	①粗砂粒 ②燻火焼 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は砂底か、磨減で不鮮明。	
2 第215図	須恵器 碗	床直 口縁部下半片	② 5.7 ④ 5.4	①粗砂粒 ②燻火焼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第215図 PL133	灰粘陶器 碗	床直、+10 F-11 1/4	① 15.8 ②7.9③7.8 ③ 6.3	①微砂粒 ②燻火焼焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。口縁部下位は回転へラ削り。口唇部に凹線が走る。釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎浜山1号室式期
4 第215図 PL133	灰粘陶器 碗	+10、埋土 口縁部片	① 14.8	①粗砂粒 ②燻火焼焼締め ③灰白色	ロクロ成形。口唇部に凹線が走る。施釉方法は漬け掛けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎浜山1号室式期
5 第215図 PL133	灰粘陶器 碗	床直 底部片	② 8.4 ④ 8.0	①粗砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口縁部下位は回転へラ削り。施釉方法不明。	大塚2号室式期
6 第215図 PL133	灰粘陶器 碗	+26 底部片	② 10.0 ④ 9.6	①微砂粒 ②燻火焼やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法不明。釉調は透明感のない灰色。	虎浜山1号室式期
7 第215図 PL133	灰粘陶器 小皿	埋土 1/6	① 11.6 ②7.4③7.0 ③ 2.0	①微砂粒 ②燻火焼焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。釉調は透明感のない灰色。	虎浜山1号室式期
8 第215図	灰粘陶器 皿	埋土 口縁部下半～底 部片	② 7.2 ④ 6.4	①微砂粒 ②燻火焼焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。釉調は透明感のない灰色。	大塚2号室式期
9 第215図 PL133	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴片	① 21.8 脚径 24.6	①粗砂粒 ②燻火焼 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。内面に輪痕が残る。罫は貼付。	
10 第215図 PL133	土師器 杯	埋土 1/5	① 15.0 ② 8.6 ③ (3.9)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半は横方向のへラ削り底部は不定方向のへラ削り。内面は口縁部に斜線状、底部に縦線状凹文。	混入品

61号住居

縄文番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第218図 PL133	黒色土器 碗	カマド 1/4	① 12.0 ②8.0③6.2 ③ 5.0	①粗砂粒 ②燻火焼 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。内面は底部と口縁部で若干方向が異なるが全面にへラ磨き。	

2 第218回 PL133	灰軸陶器 椀	埋土 底部片	② 9.0 ④ 8.4	①微砂粒、水痕 ②遺火焼跡跡め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	大原2号窯式刷
3 第218回 PL133	灰軸陶器 長頸壺	床直 胴部上半片	頸径 8.0 胴径 28.8	①微砂粒 ②遺火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。頸部と胴部は2段接合。内面胴部に指頭直が残る。施釉方法は漬け掛けか、軸調は透明感のない緑灰色。	
4 第219回	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 23.0 径径 26.6	①細砂粒 ②遺火焼 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。鈔は貼付。	
採掘番号 採取番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	②構成	特 徴 等	石 礎 材 考
5 第218回 PL133	石製品 砥石	埋土 1/6程度か	長 (5.8) 幅 5.1～6.0 厚 1.6～2.5 重 114.0		表面側面に擦痕、端部は敲打痕が見られる。	砥石

63号住居

採掘番号 採取番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②構成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第223回 PL134	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.4	①細砂粒 ②良好 ③棕色		口縁部は上半が横ナゲ、下半は横方向のヘラ削り	
2 第223回 PL134	須恵器 杯蓋	+13 天井部片	口径 4.0	①細砂粒 ②遺火焼 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。積みは貼付。天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
3 第223回 PL134	須恵器 杯蓋	埋土、S3・54住 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②遺火焼 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	
4 第223回 PL134	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 12.6 ② 7.4 ③ 3.5	①細砂粒 ②遺火焼軟質 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第223回 PL134	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.2 ② 7.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②遺火焼 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第224回 PL134	須恵器 杯	床直、埋土 1/3	① 14.4 ② 10.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②遺火焼 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
7 第224回 PL134	須恵器 杯	埋土 口縁部下半片	② 8.4	①細砂粒 ②遺火焼 ③褐色		ロクロ成形、回転右回りか。底部はヘラ削り。	
8 第224回 PL134	須恵器 椀	床直 3/4	① 15.5 ②7.8③7.7 ④ 5.3	①細砂粒 ②遺火焼 ③灰色、灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第224回 PL134	須恵器 椀	床直、+16 底部	② 8.0 ④ 8.0	①細砂粒 ②遺火焼 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナゲか。高台は貼付。	
10 第224回 PL134	須恵器 皿	+21 口縁部一部欠	① 13.8 ②9.2③9.6 ④ 2.7	①粗砂粒 ②遺火焼軟質 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第224回 PL134	土師器 壺	埋土、53住 口縁部～胴部上 位片	① 19.4	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色		口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
12 第224回 PL134	土師器 壺	床直 口縁部～胴部上 位片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③棕色		口縁部から頸部は横ナゲ、中ほどにナゲ部分が残る。胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
13 第224回 PL134	土師器 壺	+6 胴部下位～底部 片	② 3.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色		胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
14 第224回 PL134	土師器 壺	埋土 胴部下位～底部 片	② 4.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色		胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は一定方向へのヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
15 第224回 PL134	土師器 台付壺	+6 脚部片	④ 8.2	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色		脚部は内外面ともナゲ。	

64号住居

棟号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第227図 PL135	黒色土器 椀	床直、+8 1/4	① 13.8 ② 6.4③7.0 ③ 6.1	①粗砂粒 ②散火焼 ③にぶい赤褐色	内面黒色処理であるが二次焼成を受けたのか吸灰が剥落。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をナゲ。高台は貼付。	
2 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 完形	① 12.0 ② 5.2 ③ 4.2	①粗砂粒 ②散火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第227図 椀	須恵器 椀	埋土 底部片	② 5.2	①粗砂粒 ②散火焼 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 完形	① 11.6 ② 6.7③7.4 ③ 6.2	①粗砂粒 ②散火焼 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
5 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 2/3	① 14.4 ② 6.4③7.6 ③ 7.3	①粗砂粒 ②散火焼 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
6 第227図 PL135	須恵器 椀	埋土、B-11 底部	② 6.4 ④ 5.5	①粗砂粒 ②散火焼 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 底部～口縁部下 半	② 7.4 ④ 6.6	①粗砂粒 ②散火焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 底部片	② 7.0 ④ 6.5	①粗砂粒 ②散火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第227図 PL135	灰軸陶器 椀	床直 1/2	① 12.8 ② 6.6③6.0 ③ 3.9	①微砂粒 ②散火焼焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をナゲ。高台は貼付。施釉方法は置き掛け、釉調は透明感のない灰白色。	大塚2号窯式期
10 第227図 長頸壺	須恵器 長頸壺	床直 底部片	② 10.0 ④ 8.2	①粗砂粒、小礫 ②散火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付で端部を研磨している。	
11 第227図 PL135	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 21.0 胴径 24.6	①粗砂粒 ②散火焼 ③灰白色	ロクロ成形。罫は貼付。内面に輪横痕が残る。	
棟号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
12第227図 PL135	鉄器 釘	+8 同層部欠損	長 (5.7) 厚 0.6~0.7		断面多角形を呈す。	

65号住居

棟号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第230図 PL135	灰軸陶器 椀	埋土 口縁部片	① 14.8	①微砂粒 ②散火焼焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は置き掛け、釉調は透明感のない灰白色。	大塚2号窯式期
2 第231図 PL135	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪横痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
3 第231図 PL135	土師器 甕	床直、44-119住 口縁部～胴部中 位片	① 21.8 胴径 21.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	内外面に輪横痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
4 第231図 PL135	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴片	① 18.4 胴径 22.4	①細砂粒 ②散火焼 ③にぶい褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	

66号住居

採収番号 採取番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第234回 PL136	須恵器 杯	+13、埋土 1/3	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周辺をヘラナゲ。	
2 第234回 PL136	須恵器 杯	+8 底部片	② 5.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第234回	須恵器 杯	埋土 底部片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口縁部に重焼き痕が見られる。外面に自然釉付 着。	
4 第234回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第234回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.8 ② (8.3)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
6 第234回 PL136	須恵器 椀	+8 底部	② 7.0 ④ 6.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第234回 PL136	土器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	胴部に輪状痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナゲ。	
8 第234回	土器 甕	埋土 底部片	② 3.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナゲ。	

67号住居

採収番号 採取番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第237回 PL136	黒色土器 椀	カマド 1/3	① 16.9 ②9.0②9.0 ③ 6.8	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③洗青褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は 回転ヘラ削り。高台は貼付。内面は口唇部横方向 底部・口縁部に3～5単位の斜格子状ヘラ削き。	
2 第237回 PL136	須恵器 椀	埋土 完形	① 10.0 ② 5.2 ③ 3.5	①粗砂粒、小粒 ②還元焰ざみ ③によい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第237回 PL136	須恵器 椀	+6、埋土 3/4	① 11.1 ② 4.8 ③ 3.4	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第237回 PL136	須恵器 椀	カマド、+9 埋土 1/3	① 10.6 ②6.2③6.4 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法 はナゲで不明。高台は貼付。口縁部は内外面と も丁寧な整形でロクロ痕が残らない。	
5 第237回 PL136	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 11.0 ②5.8③6.0 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口縁部は内外面とも丁寧な整形で ロクロ痕が残らない。	
6 第237回 PL136	須恵器 椀	カマド、E-18 1/3	① 13.3 ②6.0③5.6 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナゲで不明。高台は貼付。	
7 第237回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.4 ② 6.0 ③ (4.1)	①細砂粒 ②還元焰ざみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第237回	灰胎陶器 椀	埋土 口縁部片	① 15.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法不鮮明。 輪調は透明感のある灰色。	大原2号窯式閉
9 第237回	灰胎陶器 椀	埋土 底部片	② 7.4 ④ 7.0	①微砂粒、水藍 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナゲ。高台は貼付。施釉方法不明、輪調 はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式閉
10 第237回 PL136	須恵器 短頸甕	カマド 底部片	② 14.0 ④ 13.4	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り 後周囲はナゲ。高台は貼付。	

11 第237回 PL136	須恵器 羽釜	カマド、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 18.0 口径 22.2	①粗砂粒、褐色粒 ②燧火痕 ③棕色	ロクロ成形。罫は貼付。	
12 第237回 PL136	須恵器 羽釜	カマド、埋土 胴部下位～底部 片	② 6.6	①粗砂粒 ②燧火痕 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下半は斜め方向、最下位は横方向のへう削り。底部はへラナダ。	
種別番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 量 (単位 cm, g)	特 徴 等	石 礎 材 考	
13第27回 PL136	石製品 砥石	カマド 2/3	長 (10.2) 幅 3.0～4.2 厚 1.6～3.4 重 153.0		表裏・側面に敲打痕が見られる。	砥石

68号住居

種別番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②焼成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第240回 PL137	土師器 杯	カマド 1/2	① 12.2 ② 6.6 ③ 3.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい褐色		口縁部は上半が横ナダ、下半が横方向のへう削り。底部は不定方向のへう削り。	
2 第240回 PL137	須恵器 椀	埋土 2/3	① 14.0 ② 6.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②燧火痕 ③褐灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第240回 PL137	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.2 ② 6.7 ③ (4.3)	①細砂粒 ②燧火痕		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	外面口縁部下位に刻書「大」。
4 第240回 PL137	須恵器 椀	床直 2/3	① 11.0 ②6.3③5.8 ④ 5.1	①粗砂粒 ②燧火痕 ③黄灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第241回	須恵器 椀	埋土、84住 1/5	① 14.0 ②7.2③6.2 ④ 5.0	①粗砂粒 ②燧火痕 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り隠し技法不明。高台は貼付。	
6 第241回	須恵器 椀	カマド 底部片	② 7.4 ④ 7.4	①細砂粒 ②燧火痕 ③馬褐色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り隠し技法はナダで不明。高台は貼付。	
7 第241回 PL137	須恵器 皿	カマド、床直 2/3	① 13.2 ②8.2③6.6 ④ 3.0	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第241回	灰釉陶器 椀	埋土、84住 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②燧火痕 ③灰白色		ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式期
9 第241回 PL137	須恵器 甕	床直、埋土、 84住、H-14 口縁部～胴片	口径 16.0	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰色		ロクロ成形、回転方向不明。胴部に自然釉付着。	

69号住居

種別番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②焼成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第244回 PL137	須恵器 杯	+10、埋土 3/4	① 11.4 ② 6.3 ③ 3.7	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰白色		焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第244回 PL137	須恵器 椀	カマド 1/4	① 12.8 ②6.2③5.4 ④ 4.8	①粗砂粒 ②燧火痕 ③黄灰色		ロクロ成形、回転右回りか。底部切り隠し技法不明。高台は貼付。	
3 第244回 PL137	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.0 ② 6.7 ③ (4.1)	①細砂粒 ②燧火痕 ③灰黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り隠し技法はナダで不明。高台は貼付であるが割落。	
4 第244回 PL137	須恵器 椀	床直、+15 1/5	① 17.6 ② 9.0 ③ (5.5)	①粗砂粒 ②燧火痕 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが割落。	
5 第244回 PL137	須恵器 椀	埋土、H-I-16 口縁部片	① 13.2	①粗砂粒 ②燧火痕 ③黄灰色		ロクロ成形、回転右回りか。	

6 第244回 PL138	須恵器 椀	カマド 底部	② 6.8 ④ 7.0	①粗砂粒 ②遺灰増き ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第244回	灰釉陶器 輪花椀	埋土 口縁部片	① 17.0	①凝砂粒、木灰 ②遺灰増き ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下位は回転へう削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	大京2号窯式期
8 第244回	灰釉陶器 椀	カマド 底部片	② 7.8 ④ 7.8	①凝砂粒 ②遺灰増き ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。	大京2号窯式期
9 第244回 PL138	土師器 甕	床直、+9・12 I-16 1/4	① 20.9 ② 8.5 ③ 17.9	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口唇部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ。胴部は縦方向のへう削り。内面は頸部が横方向のハケ目、胴部はへうナデ。	
10 第244回 PL138	須恵器 羽釜	床直、+7 口縁部～胴部上 位片	① 18.0 胴径 21.2	①粗砂粒 ②酸火痕 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
11 第244回 PL138	須恵器 羽釜	カマド、H-16 口縁部～胴部中 位片	① 20.2 胴径 24.0 胴径 23.3	①粗砂粒 ②酸火痕 ③灰黄色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部下半は縦方向のへう削りか。	
12 第244回 PL138	須恵器 羽釜	床直、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 23.2 胴径 25.3 胴径 24.8	①粗砂粒 ②酸火痕 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部中に横方向のへう削りが一部見られる。	
13 第244回 PL138	須恵器 羽釜	床直、埋土 口縁部～胴部下 位片	① 24.0 胴径 28.0 胴径 26.0	①粗砂粒 ②酸火痕 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部は下位に縦方向のへう削り。	
14 第245回 PL138	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 25.0 胴径 29.2 胴径 28.4	①粗砂粒 ②酸火痕 ③淡黄色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部中に縦方向のへう削り。	
15 第245回 PL138	須恵器 羽釜	床直、埋土 胴部片	① 25.0 ② 酸火痕 ③ にぶい黄褐色	①粗砂粒 ②酸火痕 ③ にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部下位は縦方向のへう削り。	
16 第245回 PL138	須恵器 甕	床直 底部片	② 17.0	①粗砂粒 ②遺灰増き ③灰色	ロクロ成形。底部は不定方向のへう削り。胴部下位はへうナデ。	

70号住居

押戻番号 回数番号	器 種 類	出土位置 残存率	法 (単位 量 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第248回 PL138	黒色土器 椀	+17 底部	② 6.4 ④ 5.6	①粗砂粒 ②酸火痕 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不明。高台は貼付。内面はへう磨き。	
2 第248回 PL138	黒色土器 椀	埋土 底部～口縁部下 半	② 6.6 ④ 6.3	①粗砂粒 ②酸火痕 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。内面はへう磨き。	
3 第248回 PL139	須恵器 杯	埋土 1/2	① 10.2 ② 5.0 ③ 3.1	①粗砂粒 ②遺灰増き ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第248回 PL139	須恵器 杯	+20、埋土 1/3	① 11.8 ② 5.8 ③ 3.5	①粗砂粒 ②酸火痕 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第248回 PL139	須恵器 椀	カマド 1/5	① 11.8 ②7.5③6.5 ③ 4.7	①粗砂粒 ②酸火増き ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第248回 PL139	須恵器 椀	埋土 2/3	① 11.2 ②6.7③6.0 ③ 4.6	①粗砂粒 ②酸火痕 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へう削り。高台は貼付。	
7 第248回 PL139	須恵器 椀	+10 ほぼ完形	① 11.8 ②5.7③5.6 ③ 4.9	①粗砂粒 ②酸火痕 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第248回 PL139	須恵器 椀	+20 1/4	① 12.0 ②6.8③7.0 ③ 5.5	①粗砂粒 ②酸火痕 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不明。高台は貼付。口縁部はへうナデ。	

9 第248回 PL139	須恵器 椀	埋土 1/3	① 11.0 ②5.5③5.5 ③ 4.6	①粗砂粒 ②酸火焔ざみ ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
10 第248回 PL139	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.4 ②6.2③5.8 ③ 4.8	①細砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
11 第248回 PL139	須恵器 椀	+8、埋土 2/3	① 12.0 ②6.2③6.2 ③ 4.7	①粗砂粒、小摩 ②酸火焔 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
12 第248回 PL139	須恵器 椀	カマド 1/3	① 12.2 ②6.7③6.5 ③ 5.0	①細砂粒 ②酸火焔ざみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
13 第248回 PL139	須恵器 椀	+10 1/4	① 12.5 ②7.5③7.1 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
14 第248回 PL139	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.6 ②7.0③6.0 ③ 5.4	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は 貼付。	
15 第249回 PL139	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.4 ②6.4③6.0 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
16 第249回 PL139	須恵器 椀	床直 1/4	① 13.0 ②7.2③6.6 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焔ざみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
17 第249回 PL139	須恵器 椀	+11、埋土 1/4	① 14.2 ② 8.2 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②酸火焔 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は 貼付。	
18 第249回 PL139	須恵器 椀	埋土 1/4	① 16.6 ②8.4③6.0 ③ 5.9	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焔 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付で端部を研削し器高を低くしてい る。	
19 第249回 PL139	須恵器 椀	+11、埋土 1/3	① 19.0 ②8.1③9.4 ③ 8.9	①粗砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。	
20 第249回 PL140	灰輪陶器 椀	埋土、E-18 底部～口縁部下 半片	② 7.0 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施軸方法は漬け掛け、 軸調は透明感のない緑灰色。	大原2号室式期
21 第249回 PL140	灰輪陶器 椀	床直 底部片	② 7.2 ④ 6.2	①微砂粒、水藍 ②還元焔焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施軸方法不明、軸調 は透明感のない灰色。	大原2号室式期
22 第249回 PL140	灰輪陶器 椀	埋土 底部片	② 7.8 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。内面見込み部に重焼 き痕。施軸方法不明、軸調は透明感のない灰色。	大原2号室式期
23 第249回 PL140	灰輪陶器 長頸壺	埋土、C-12 頸部下半片	頸径 7.2	①微砂粒 ②還元焔焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。胴部と頸部は二段 接合。施軸方法不明、軸調は透明感のない灰色。	
24 第249回 PL140	須恵器 羽釜	+26 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 脚径 24.4	①粗砂粒 ②酸火焔 ③黄褐色	内面に輪痕が残る。ロクロ成形。甕は貼付。	
25 第249回 PL140	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 20.3 脚径 23.6	①粗砂粒 ②還元焔 ③褐色	ロクロ成形。甕は貼付。	
26 第249回 PL140	須恵器 羽釜	床直、+20、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 22.0 脚径 25.4	①粗砂粒 ②酸火焔 ③褐色	ロクロ成形。甕は貼付。	
27 第249回 PL140	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 23.8 脚径 27.8	①粗砂粒 ②酸火焔 ③褐色	ロクロ成形。甕は貼付。	
28 第249回 PL140	須恵器 羽釜	カマド、埋土 胴部～底部	② 6.8	①粗砂粒 ②酸火焔 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向のヘ ラ削り。胴部下位は裏方向のヘラ削り。	

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	備 考
29第14回 PL140	鉄器 鎌 2点	+16 共に基端部欠	L長 8.9 開幅 0.7 厚 0.3 R長 8.6 開幅 0.9 厚 0.3	2点とも柳葉式で刃は直。	
30第14回 PL140	鉄製品 紡錘車	+22 上軸欠	長 (11.0) 軸径 0.4~0.5 円盤径 6.4×6.2 厚 0.4	下軸の端部も欠損。	

71号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第252回 PL141	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.0 ②7.6③7.4 ④ 5.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周辺をヘラナデ。高台は貼付。	
2 第253回 PL141	須恵器 椀	埋土 底部	② 7.0 ④ 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
3 第253回 PL141	灰輪陶器 椀	+9 1/4	① 15.8 ②8.0③7.5 ④ 4.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法ナデ で不明。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ 削り施軸方法は潰け掛け、軸調は透明感のない 灰色。	大原2号室式期
4 第253回 PL141	灰輪陶器 椀	埋方、102住 口縁部片	① 16.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施軸方法不明。軸調は透明感のない 灰色。	大原2号室式期
5 第253回 PL141	灰輪陶器 椀	埋方、埋土、 91住 口縁部片	① 16.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施軸方法不明。軸調は透明感のない 灰色。	大原2号室式期
6 第253回 PL141	灰輪陶器 椀	埋土、95・105住 底部片	② 8.2 ④ 7.6	①細砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。底部下位は回転ヘラ 削り施軸方法は潰け掛け、軸調はやや緑灰色。	大原2号室式期
7 第253回 PL141	灰輪陶器 椀	+15 底部～口縁部下 半片	② 9.0 ④ 8.0	①微砂粒、水筋 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。口縁部下半は回転ヘラ削り。施軸 方法不明。	大原2号室式期
8 第253回 PL141	灰輪陶器 椀	+7 底部～口縁部下 位片	② 9.0 ④ 8.6	①微砂粒、小瘰 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施軸方法不明。軸調 は透明感のない灰色。	大原2号室式期
9 第253回 PL141	灰輪陶器 段皿	+8 1/4	① 14.0 ②7.6③7.2 ④ 2.4	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。施軸方法は潰け掛け、軸調はや や緑色をおびた灰色。	大原2号室式期
10 第253回 PL141	須恵器 羽釜	+8 口縁部～胴部上 位片	① 18.0 口径 19.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。胴は貼付。	
11 第253回 PL141	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 17.0 口径 20.8 胴径 20.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形。胴は貼付。胴部に輪痕が残る。	
12 第253回 PL141	須恵器 羽釜	+13 口縁部～胴部中 位片	① 22.0 口径 26.6 胴径 26.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③にぶい褐色	ロクロ成形。胴は貼付。	
13 第253回 PL141	須恵器 羽釜	埋土 底部片	② 6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。胴部下位は縦方向のヘラ削り。底 部は不定方向のヘラ削り。	

72号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第256回 PL141	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪痕直が残る。口縁部は上位が横ナデ、 中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。	
2 第256回	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第256図 PL141	須恵器 椀	カマド 1/4	① 13.6 ② 7.0③ 6.8 ④ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第256図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 6.8 ④ 6.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。	
5 第256図 PL141	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.4 ④ 6.3	①粗砂粒 ②還元焰焼し ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第256図	須恵器 椀	カマド 底部片	② 7.2 ④ 6.4	①粗砂粒、黒色粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第256図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.5 胴径 19.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。帯は貼付。	
8 第256図	須恵器 甕	+28 口縁部片	胴径 13.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。胴部と頸部は二段接合。	
9 第256図 PL141	須恵器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 25.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形。内面に輪轂痕が残る。	

73号住居

検出番号 図版番号	種別 種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第258図 PL142	須恵器 椀	+14 口縁部一部欠	① 11.7 ② 5.7③ 4.8 ④ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	内面に輪轂痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第258図 PL142	須恵器 椀	+14、53~54住 4/5	① 14.0 ② 6.5③ 5.7 ④ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

74号住居

検出番号 図版番号	種別 種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第261図 PL142	須恵器 椀	床直 完形	① 11.4 ② 5.6 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第261図 PL142	須恵器 椀	埋土 口唇部1/2欠	① 12.0 ② 6.4 ③ 3.9	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第261図 PL142	須恵器 椀	床直 口唇部1/2欠	① 11.8 ② 6.8③ 5.8 ④ 3.7	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第261図 PL142	須恵器 椀	埋土、53住、 B-11 口縁部一部欠	① 11.8 ② 6.8③ 6.2 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③にょい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第261図 PL142	須恵器 椀	床直 口唇部1/2欠	① 12.4 ② 6.2③ 5.6 ④ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰焼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第261図 PL142	須恵器 椀	埋土、B-11 1/3	① 13.2 ② 5.8③ 5.0 ④ 4.5	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第261図 PL142	灰軸陶器 椀	+11 口縁部片	① 14.8 ② 7.6 ③ (4.1)	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大塚2号窯式期
8 第261図 PL142	灰軸陶器 皿	床直 底部片	② 7.0 ④ 6.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラナデ。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。内面に重焼き痕が残る。施釉方法不明。	大塚2号窯式期

9 第261回	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.8 径径 24.2	①粗砂粒 ②燧火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。脚は貼付。内面に輪痕が残る。	
採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
10第34回 PL142	鉄器 釘	埋土 端部欠	長 (6.0) 厚 0.5×0.5 断面 0.7×0.7		断面は折り曲げ。	

75号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	注 (単位 cm)	①粘土 ②色調	③焼成	成形・整形の特徴	備 考
1 第263回 PL142	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.2 ② 6.1 ③ 4.2	①粗砂粒 ②燧火焔 ③残黄褐色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。	
2 第263回 PL142	須恵器 椀	埋土 3/4	① 12.7 ② 5.7 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰青色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。	
3 第263回	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.8 ② 6.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第263回 PL142	須恵器 椀	掘方、82土坑 口縁部一部欠	① 13.4 ②7.2⑥6.8 ③ 5.2	①粗砂粒、小礫 ②燧火焔 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第263回 PL142	須恵器 椀	貯蔵穴 口唇部大半欠	① 14.4 ②6.1④5.5 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 ナデ。高台は貼付。	外面口縁部に墨 書、「樽」。
6 第263回 PL142	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.4	①粗砂粒 ②燧火焔 ③にぶい黄褐色		ロクロ成形、回転方向不明。	外面口唇部に墨 書、「大」。
7 第263回 PL143	須恵器 椀	床直 口縁部片	① 13.6 ② 6.4 ③ (5.6)	①粗砂粒 ②燧火焔 ③黄灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明高台は貼付であるが剥落か。	
8 第264回 PL143	須恵器 椀	床直、埋土 底部	② 6.8 ④ 6.8	①粗砂粒 ②燧火焔 ③褐色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第264回 PL143	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 14.8	①粗砂粒 ②還元焔焼締め ③灰白色		ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下位は回転 へう削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感 のない灰色。	大原2号窯式期
10 第264回 PL143	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①粗砂粒 ②還元焔焼締め ③灰白色		ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉 調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
11 第264回 PL143	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.5	①粗砂粒 ②還元焔焼締め ③灰白色		ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法 はナデで不明。高台は貼付。	大原2号窯式期
12 第264回 PL143	土師器 罌	+8 口縁部～胴部上 位片	① 23.6 胴径 28.0	①粗砂粒 ②燧火焔 ③褐色		ロクロ成形。内面胴部はヘラナデ。	
13 第264回 PL143	須恵器 羽釜	貯蔵穴、87住 口縁部～胴部上 位片	① 17.8 径径 22.0	①粗砂粒 ②燧火焔 ③褐色		ロクロ成形。脚は貼付。口唇部に凹線が1条通 る	
14 第264回 PL143	須恵器 罌	床直 底部片	② 16.0	①粗砂粒 ②燧火焔 ③にぶい黄褐色		ロクロ成形。底部はヘラナデ。	
採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)			特 徴 等	石 備 材 考
15第26回 PL143	石製品 砥石	+6 1/2	長 7.7 幅 3.3~4.8 厚 1.4~2.6 重 96.0			表面・側面に磨痕が見られ、中ほどが濃しく磨 り減っている。	砥石

76号住居

棟号 図版番号	種 類	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第267図 PL143	須志器 椀	床直、埋土 1/2	① 14.4 ② 5.8 ③ 5.9	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③灰色	焼成時の歪みが大さい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。底部に輪痕が残る。	
2 第267図 PL143	須志器 椀	+8 口縁部一部欠	① 12.6 ②6.5③5.2 ③ 4.4	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第267図 PL143	須志器 椀	カマド、埋土 口縁部一部欠	① 13.1 ②7.3③6.6 ③ 5.0	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第267図 PL143	須志器 椀	+11 1/4	① 13.6 ②7.1③6.6 ③ 5.1	①粗砂粒、小礫 ②濃灰焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第267図 PL143	須志器 椀	カマド、埋土 口縁部一部・高台欠	① 13.0 ② 6.8 ③ (4.1)	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが割落。	
6 第267図	須志器 椀	+11 口縁部下半〜高台片	② 6.0 ④ 7.8	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。	
7 第267図 PL144	灰釉陶器 椀	+11 口縁部片	① 16.8	①微砂粒 ②濃灰焰 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある緑灰色。	虎頭山1号窯式期
8 第267図 PL144	灰釉陶器 椀	掘方 底部片	② 6.9 ④ 6.4	①微砂粒 ②濃灰焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期 〜虎頭山1号窯式期
9 第267図 PL144	灰釉陶器 段皿	+11 1/4	① 13.2 ②7.6③7.1 ③ 2.1	①微砂粒 ②濃灰焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない緑灰色。	大原2号窯式期
10 第267図 PL144	須志器 羽釜	カマド、埋土 口縁部〜胴部中心片	① 16.6 口径 21.0 胴径 20.6	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。舞は貼付。	
棟号 図版番号	種 類	出 土 位 置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等		石 礎 材 考
11第267図 PL144	石製品 砥石	床直 両端部を欠く	長 (17.5) 幅 6.8 厚 3.0〜4.2 重 600.0	表裏に若干の擦痕が見られる。		牛伏砂岩

77号住居

棟号 図版番号	種 類	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第269図 PL144	須志器 椀	埋土 1/2	① 10.5 ② 5.2 ③ 4.8	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第269図 PL144	須志器 椀	埋土 底部〜口縁部下 半片	② 7.0	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第270図 PL144	須志器 椀	埋土 1/5	① 12.8 ②6.5③5.3 ③ 4.8	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第270図 PL144	須志器 椀	埋土 1/5	① 14.2 ②9.0③8.6 ③ 5.0	①粗砂粒、黒色粒 ②濃灰焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明高台は貼付。	
5 第270図 PL144	須志器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0 ② 7.6 ③ (6.3)	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
6 第270図 PL144	須志器 椀	埋土、79住 底部〜口縁部下 位片	② 5.2 ④ 5.4	①粗砂粒 ②濃灰焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	

7 第2708回 PL144	須恵器 椀	腹方 底部～口縁部下 位片	② 6.1 ④ 5.9	①粗砂粒 ②燐火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第2709回 PL144	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 5.6	①微砂粒 ②還元焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。高台は貼付。	大原2号窯式副
9 第2709回 PL144	須恵器 羽釜	+20、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.6 脚径 22.6	①粗砂粒 ②燐火焔 ③褐色	ロクロ成形。脚は貼付。	
10 第2709回 PL144	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.0 脚径 22.4	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰黄色	内外面に輪痕が残る。ロクロ成形。脚は貼付。	
11 第2709回 PL144	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 22.6 脚径 24.0	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰黄色	ロクロ成形。脚は貼付。	
12 第2709回 PL144	須恵器 羽釜	+14 底部	② 7.6	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナゲ。胴 部下位は腹方向、最下位は横方向のへら削り。	
検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	石 器 材 考
13第270回 PL144	石製品 砥石	埋土 2/3	長 (8.6) 幅 2.5～4.3 厚 2.0～2.3 重 84.0		表面・側面に磨痕が見られる。	砥沢石

78号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 装 形 の 特 徴	備 考
1 第273回 PL145	須恵器 杯	+29 完形	① 9.6 ② 4.9 ⑤ 2.9	①粗砂粒 ②燐火焔 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第273回 PL145	須恵器 杯	+8 ほぼ完形	① 10.2 ② 5.5 ⑤ 2.6	①粗砂粒 ②燐火焔 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第273回 PL145	須恵器 杯	+7 ほぼ完形	① 9.4 ② 5.5 ⑤ 3.3	①粗砂粒 ②燐火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第273回 PL145	須恵器 杯	カマド 3/4	① 10.0 ② 4.7 ⑤ 3.0	①粗砂粒 ②燐火焔 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第273回 PL145	須恵器 椀	腹方、埋土 1/3	① 9.4 ② 5.2 ⑤ 3.5	①粗砂粒 ②燐火焔 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第273回 PL145	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 10.4 ② 5.5 ⑤ 3.4	①粗砂粒 ②燐火焔 ③洗黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第273回 PL145	須恵器 椀	+8 口縁部一部欠	① 13.2 ② 7.0 ⑤ 4.6	①粗砂粒 ②還元焔 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は静止糸切り。	
8 第273回 PL145	須恵器 椀	+26、埋土 口縁部一部欠	① 10.9 ②6.2⑥6.0 ⑤ 4.6	①粗砂粒 ②還元焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲は高台は貼付時のナゲ。	
9 第273回 PL145	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②還元焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉 調は透明感のある緑灰色。	
10 第273回 PL145	灰釉陶器 椀	埋土、115住 底部	② 7.0 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焔焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナゲ。高 台は貼付。施釉方法は掛け掛けか、釉調は透明 感のない灰色。	大原2号窯式副
11 第273回 PL145	須恵器 鉢	+6、埋土、 70・71住 口縁部片	① 25.5	①粗砂粒 ②燐火焔 ③褐色	ロクロ成形、回転方向不明。	
12 第274回 PL145	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 19.8 脚径 24.4 脚径 22.8	①粗砂粒 ②燐火焔 ③明褐色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部下半は腹方向 のへら削り。	

13 第274図 PL145	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 20.8 口径 25.2 胴径 24.6	①粗砂粒 ②凝火相 ③灰黄色	ロクロ成形。罅は貼付。	
14 第274図 PL146	須恵器 羽釜	カマド 1/2	① 21.4 ② 9.3 ③ 25.0	①粗砂粒 ②凝火相 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。罅は貼付。胴部下位は斜め方向、最下位は横方向のヘラ削り。	
15 第274図 PL145	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 22.0 口径 26.0 胴径 24.8	①粗砂粒 ②凝火相 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罅は貼付。胴部下位は斜め方向のヘラ削り。	

79号住居

押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第277図 PL146	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 8.2 ④ 9.0	①粗砂粒 ②凝火相 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
2 第277図 PL146	須恵器 皿	カマド 2/3	① 11.6 ② 6.8 ③ 1.2	①粗砂粒 ②凝火相 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第277図 PL146	灰釉陶器 椀	カマド、+6 1/2	① 15.6 ②7.2③7.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②凝火相 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口唇部に凹線が1条走る。施釉方法は横け掛け、釉調は透明感のある灰色。	虎尻山1号窯式 期
4 第277図 PL146	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 23.2 口径 27.7 胴径 27.7	①粗砂粒 ②凝火相 ③褐色	ロクロ成形。内外面に輪痕が残る。罅は貼付。胴部は底部への縦方向ヘラ削り。	
5 第277図 PL146	須恵器 羽釜	+8・9 胴部片		①粗砂粒 ②凝火相 ③灰白色	ロクロ成形。胴部下半は縦方向のヘラ削り。	

80号住居

押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第280図 PL146	土師器 杯	カマド、床直、 埋土 3/4	① 11.8 ② 9.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部に輪痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第280図 PL146	土師器 杯	埋土 1/4	① 12.5 ② 9.3 ③ 3.5	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第280図	土師器 杯	カマド、埋土 1/5	① 14.0 ② 9.8 ③ 3.5	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第280図 PL147	須恵器 杯	貯蔵穴 口唇部一部欠	① 13.4 ② 7.2 ③ 3.7	①粗砂粒 ②凝火相 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第280図 PL147	須恵器 杯	カマド、埋土 口唇部一部欠	① 13.8 ② 7.7 ③ 3.6	①粗砂粒 ②凝火相 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第280図 PL147	須恵器 椀	埋土 口唇部一部欠	① 13.5 ② 6.5 ③ 4.2	①細砂粒 ②凝火相 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第280図 PL147	須恵器 椀	床直 ほぼ完形	① 16.4 ②9.1③9.5 ④ 6.4	①細砂粒、小礫 ②凝火相軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	外面底部に墨書「上」。
8 第280図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.7 ② 7.7 ③ (4.2)	①粗砂粒 ②凝火相 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
9 第280図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.4 ② 7.8 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②凝火相 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。	

10 第280回 PL147	須恵器 皿	貯蔵穴 完形	① 13.6 ②8.4③8.2 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
11 第280回 PL147	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のへう削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第280回 PL147	土師器 甕	+7、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のへう削り。	
13 第280回 PL147	土師器 台付甕	貯蔵穴、埋土 胴部欠	① 11.0 ② 4.6 胴径 12.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、 下半は縦方向のへう削り。内面胴部はヘラナデ。	

81号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第282回 PL147	須恵器 碗	床直、埋土 底部～口縁部下 半片	② 7.4	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③藍色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	内外面の口縁部 に墨書「上」、内 面底部刻書「上」
2 第282回 PL147	須恵器 皿	+7 口唇部一部欠	① 13.8 ②7.8③7.6 ③ 2.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

82号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第285回 PL147	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法 はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、軸 調は透明感のない緑灰色。	光ヶ丘1号館式 期
2 第285回 PL147	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 18.2 胴径 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、 下半は縦方向のへう削り。内面胴部はヘラナデ。	
3 第285回 PL147	土師器 甕	+15・18 口縁部～胴部中 位片	① 18.8 胴径 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部に歯面が残る。胴部は上半が横方向、下 半は縦方向のへう削り。内面胴部はヘラナデ。	

83号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第288回 PL148	土師器 杯	カマド 完形	① 12.2 ② 6.6 ③ 4.0	①粗砂粒、小漚 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向のへう削り。底部は不定方向のへう削り。	
2 第288回 PL148	須恵器 碗	カマド 口唇部一部欠	① 13.3 ② 7.3 ③ 4.1	①粗砂粒、小漚 ②還元焰やや軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第288回 PL148	須恵器 碗	+38、N-10 1/3	① 14.2 ② 7.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第288回 PL148	須恵器 碗	+9 口縁部一部欠	① 14.6 ② 8.2 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第288回 PL148	須恵器 碗	カマド、+22 1/2	① 11.8 ②7.2③5.2 ③ 5.0	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第288回 PL148	須恵器 碗	カマド 口縁部一部欠	① 12.2 ②7.7③6.9 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

7 第288回 PL148	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.6 ②7.8③7.2 ④ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
8 第288回 PL148	須恵器 椀	カマF、42・83・152住、M-10 1/2	① 13.7 ②7.0③6.5 ④ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
9 第288回 PL148	須恵器 椀	カマF 3/4	① 13.7 ②6.7③6.3 ④ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③よい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
10 第288回 PL148	須恵器 椀	カマF、埋土 ほぼ完形	① 13.8 ②6.3③6.3 ④ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
11 第288回 PL148	須恵器 椀	カマF 口縁部一部欠	① 14.2 ②6.6③5.6 ④ 5.2	①細砂粒 ②還元焰やや軟質 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
12 第288回 PL148	須恵器 椀	床直 1/5	① 17.8 ② 8.8 ③ (6.0)	①細砂粒 ②還元焰燼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付であるが新落。
13 第289回 PL148	土師器 椀	カマF 胴部一部欠	① 18.8 ② 3.4 ③ 26.8	①細砂粒 ②良好 ③褐色	内面胴部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部に指痕が見える。胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
14 第289回 PL149	土師器 椀	カマF 口縁部～胴部 中位片	① 18.0 胴径 21.4	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪痕が残る。上下に凹線が2条走る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上半が横方向・縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
15 第289回 PL149	土師器 椀	床直、+22 口縁部～胴部 中位片	① 18.2 胴径 21.2	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部は横ナゲ、頸部はナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
16 第289回 PL149	土師器 椀	+22・26・27 口縁部～胴部上 位片	① 18.6	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口唇部・頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
17 第289回 PL149	土師器 椀	カマF 底部～胴部上 位片	② 4.0 胴径 20.2	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部は上半が横方向、下半は縦方向、底部付近は斜め方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
18 第289回 PL149	須恵器 椀	カマF、床直、+ 17～26、M・N -10 1/5	② 17.0 胴径 15.4 ③(25.0～)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。輪痕が残る。胴部は上位に回転ヘラ削り、底部付近は横方向のヘラ削り。内面底部付近は強いナゲ。
神居番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	石 礎 材 考
19第300回 PL149	石製品 砥石	床直 完形	長 10.6 幅 1.5～2.8 厚 2.2～3.0 重 104.0	表面・側面に擦痕が見られる。	
20第300回 PL149	石器 磨き石	+20 完形	長 14.3 幅 6.2 厚 5.6 重 820.0	両端部に磨打痕がみられ、側面中ほどは表面が剥落している。	

84号住居

神居番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 変 形 の 特 徴	備 考
1 第292回 PL149	土師器 杯	床直 1/3	① 12.2 ② 8.7 ③ 3.7	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部は上半が横ナゲ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第292回 PL149	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.2 ② 10.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は上半が横ナゲ、下半がナゲ、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第292回 PL149	須恵器 杯	+11 完形	① 12.8 ② 6.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第293回 PL150	須恵器 杯	+6、埋土 口縁部一部欠	① 13.4 ② 7.6 ③ 3.5	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第293回 PL150	須恵器 杯	+7、埋土、 68住 1/4	① 13.8 ② 7.6 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

6 第2938回 PL150	須恵器 椀	+6・7、埋土 3/4	① 13.8 ② 5.8 ③ 4.0	①粗砂粒、褐色粒 ②燧火燭ぎみ ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第2938回 PL150	須恵器 椀	+6 口縁部一部欠	① 13.6 ② 7.0 ③ 4.1	①粗砂粒 ②燧火燭 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第2938回 PL150	須恵器 椀	床直、+6、 埋土 3/4	① 14.8 ② 7.2 ③ 5.4	①粗砂粒、褐色粒 ②燧火燭 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第2938回 PL150	須恵器 椀	床直、埋土 1/4	① 14.2 ②6.9③6.8 ③ 5.8	①粗砂粒 ②燧火燭 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
10 第2938回 PL150	須恵器 椀	+6、埋土 ほぼ完形	① 14.4 ②8.1③7.7 ③ 5.1	①粗砂粒、小礫 ②燧火燭 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第2938回 PL150	須恵器 椀	床直 1/2	① 14.7 ②7.2③6.5 ③ 5.5	①粗砂粒 ②燧火燭 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第2938回 PL150	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.6 ②7.9③7.1 ③ 5.1	①粗砂粒 ②燧火燭やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
13 第2938回 PL150	須恵器 椀	床直、68住 口縁部上半欠	② 7.8 ④ 7.2	①粗砂粒 ②燧火燭 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第2938回 PL150	土師器 甕	+6・13、埋土頸 部へ胴部下位片	頸径 16.6 胴径 20.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	内面胴部に輪痕が残る。頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
15 第2938回 PL150	土師器 甕	+6、埋土 胴部上半片	頸径 19.4 胴径 22.4	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
16 第2938回 PL150	土師器 甕	埋土 底部へ胴部下位 片	② 5.4	①粗砂粒 ②良好 ③によい赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は一定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
17 第294回 PL150	須恵器 甕	床直、埋土、 68住、H-15 口縁部へ胴片	① 16.0 頸径 12.8 胴径 22.4	①粗砂粒 ②燧火燭 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。	
採回番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 備 材 考
18第294回 PL150	石製品 凹石	+18 周囲欠損	長 11.4 幅 8.3 厚 4.3 孔 7.5×5.5×2.7 重 120.0		周囲は打ち欠いている。凹は回転による擦痕が見られる。	橋名二ツ岳転石

85号住居

採回番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第297回 PL151	須恵器 杆	床直 完形	① 12.8 ② 7.2 ③ 3.9	①粗砂粒 ②燧火燭 ③黄灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第297回 PL151	須恵器 杆	+13 底部	② 7.4	①粗砂粒 ②燧火燭 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第297回 PL151	須恵器 椀	+11 底部	② 7.9 ④ 8.8	①細砂粒 ②燧火燭 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第297回 PL151	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部へ胴部上 位片	① 21.6 胴径 24.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
5 第297回 PL151	土師器 台付甕	カマド 胴部下位片	② 5.2	①粗砂粒 ②良好 ③によい褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。脚部との接合部は横ナゲ。内面胴部はヘラナゲ。	

86号住居

棟号 図番	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第300図	黒色土器 椀	+9、埋土 口縁部片	① 14.0	①細砂粒 ②燻火焼 ③黒褐色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。 内面は横方向のヘラ磨き。	
2 第300図	黒色土器 椀	埋土、116住 口縁部片	① 14.6	①細砂粒 ②燻火焼 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。口 唇部の一部と内面は横方向のヘラ磨き。	
3 第300図	黒色土器 椀	+6、117住 底部	② 7.8	①粗砂粒 ②燻火焼 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 は回転糸切り後ナデ。口縁部は横方向のヘラ磨 き。内面はヘラ磨き。	
4 第300図 PL151	黒色土器 椀	+16 底部	② 7.2 ③ 7.6	①粗砂粒 ②燻火焼 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 切り磨し技法はナデで不明。高台は貼付。内面 はヘラ磨き。	
5 第300図 PL151	須恵器 椀	+6、埋土 1/2	① 10.8 ② 5.7 ③ (3.3)	①粗砂粒 ②燻火焼 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが割落。	
6 第300図 PL151	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.8 ② 7.4 ③ (5.6)	①粗砂粒、褐色粒 ②燻火焼 ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第300図	須恵器 椀	+8 底部	② 5.8 ① 7.2	①細砂粒 ②燻火焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
8 第300図 PL151	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 15.0	①微砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部下位は回転 ヘラ磨り。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや 緑色をおびた灰色。	虎浜山1号窯式 期
9 第300図 PL151	灰釉陶器 椀	カマド 底部片	② 7.0 ① 6.3	①微砂粒 ②燻火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、 釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式 期
10 第300図 PL151	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.0 ④ 8.0	①微砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、 釉調は透明感のある灰色。	大原2号窯式 期 ～虎浜山1号窯 式期
11 第300図 PL151	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 6.9 ④ 6.5	①微砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調 は透明感のない灰色。	虎浜山1号窯式 期
12 第300図 PL151	須恵器 長頸壺	+7 胴部下位片	② 12.2 ④ 12.0	①細砂粒 ②燻火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り磨し技法 はナデで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘ ラ磨り。	
13 第300図	須恵器 羽釜	+7、116住 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 脚径 23.1	①粗砂粒 ②燻火焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。内外面胴部に輪横板が 残る。	
14 第300図 PL151	須恵器 羽釜	+6・8 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 脚径 24.0	①粗砂粒 ②燻火焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。口唇部は横ナデ。内面 に輪横板が残る。	
15 第300図 PL151	須恵器 羽釜	+8 口縁部～胴部上 位片	① 21.6 脚径 26.8	①粗砂粒 ②燻火焼 ③にぶい褐色	ロクロ成形。罫は貼付。口縁部に輪横板が残る。	
16 第300図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 25.4 脚径 28.6	①細砂粒 ②燻火焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。内面はヘラナデ。	
17 第300図 PL151	須恵器 壺	埋土 口縁部片		①粗砂粒 ②燻火焼 ③黒褐色	口縁部はロクロ成形。口唇部下に凸帯が1条通 る。凸帯は貼付。口縁部上位は凹縁により区画 され波状文が施されている。	
棟号 図番	種類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
18 第300図 PL151	鉄器 鏝	+18 釜・葦一部欠	長 (8.1) 幅 (3.8) 厚さ 0.4 筈 0.4		雁又式小型	
19 PL151	銅製品 不明	埋土 一部片	長 (3.0) 幅 (2.0) 厚 0.2			

87号住居

棟図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第303回 PL152	黒土器 椀	+14 底部片	② 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付であるが剥落。内面はヘラ置き。	
2 第304回 PL152	須恵器 椀	カマド 2/3	① 10.4 ② 5.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第303回 PL152	灰軸陶器 椀	埋土 口縁部片	① 15.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明。釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
4 第303回 PL152	灰軸陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法不明。釉調は透明感のある灰色。	大原2号窯式期
5 第304回 PL152	灰軸陶器 椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下半は回転ヘラ削り。施釉方法不明。釉調は透明感のない灰色	大原2号窯式期
6 第304回 PL152	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 18.0 口径 21.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にょい褐色	ロクロ成形。脚は貼付。	
7 第304回 PL152	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 口径 23.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形。脚は貼付。	
8 第304回 PL152	須恵器 羽釜	カマド 底部～胴部下位 片	② 6.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にょい褐色	ロクロ成形、回転右回りか。胴部は縦方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。	

88号住居

棟図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第307回 PL152	須恵器 椀	カマド、床直 4/5	① 13.4 ② 6.2 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第307回 PL152	須恵器 椀	カマド 1/4	① 14.8 ②9.1⑦7.7 ③ 5.5	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第307回 PL152	須恵器 椀	埋土 1/3	① 17.0 ②7.7⑦7.2 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第307回 PL152	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8 ② 7.0 ③ (4.6)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付であるが剥落。	
5 第307回 PL152	灰軸陶器 椀	埋土 1/3	① 14.4 ②6.9⑥3.3 ③ 3.7	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のない灰色。	无ヶ丘1号窯式期

89号住居

棟図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第310回 PL152	土師器 杯	+10 完形	① 11.8 ② 7.2 ③ 3.7	①細砂粒 ②良好 ③にょい褐色	口縁部は上半が横ナゲ、下半が縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	外面口縁部に墨書、「毛」か。
2 第310回 PL152	須恵器 椀	床直、L-16 口縁部一部欠	① 14.2 ②9.0⑧8.1 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第310回	須恵器 椀	床直、L-16 口縁部小片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	内外面口縁部に墨書、文字判読不能。

4 第310図 PL153	土師器 壺	カマド、床直、 +8、L-16 胴部片	頸径 19.6 胴径 22.7	①細砂粒 ②良好 ③褐色	頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向、下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
5 第310図 PL153	須恵器 椀	+7 口縁部片	① 11.7 ② 4.6 ③ (3.4)	①粗砂粒 ②燻火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付であるが剥落。	混入品
6 第310図 PL153	須恵器 椀	床直 口縁部片	① 12.8	①粗砂粒 ②燻火焔 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	混入品

90号住居

探検番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ③色調	②焼成	成形・整形の特徴	備 考
1 第313図 PL153	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.7 ②6.8③6.7 ③ 5.8	①粗砂粒 ②燻火焔 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
2 第313図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②燻火焔 ③灰色		ロクロ成形、回転右回りか。	
3 第313図 PL153	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.9 ④ 6.5	①細砂粒 ②燻火焔 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
4 第313図	土師器 壺	埋土 口縁部片	① 16.0	①細砂粒 ②やや軟質 ③褐色		口縁部から頸部は横ナゲ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	

91号住居

探検番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ③色調	②焼成	成形・整形の特徴	備 考
1 第316図 PL153	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.6 ② 5.6 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色		口縁部に輪痕が残る。口縁部は上半が横ナゲ、下半がナゲ、底部は砂底が残る。	
2 第316図 PL153	土師器 杯	床直 ほぼ完形	① 11.2 ② 5.2 ③ 3.7	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色		口唇部は横ナゲ、口縁部は上半がナゲ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り、中央部に離れ砂が残る。	
3 第316図 PL153	土師器 杯	床直、+9 1/2	① 11.8 ② 5.9 ③ 3.3	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色		口唇部は横ナゲ、口縁部は上半がナゲ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。中央部に離れ砂が残る。	
4 第316図 PL153	土師器 杯	床直、埋土 ほぼ完形	① 11.4 ② 7.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色		口唇部は横ナゲ、口縁部は上半が横ナゲ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。中央部に離れ砂が残る。	
5 第317図 PL153	須恵器 椀	埋土 1/2	① 13.7 ②7.4③6.5 ③ 5.2	①粗砂粒 ②燻火焔 ③灰黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
6 第317図 PL153	灰軸陶器 椀	床直 口縁部一部欠	① 15.2 ②7.8③7.2 ③ 5.2	①微砂粒 ②燻火焔焼締め ③灰黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナゲで不明。高台は貼付。蒸触方法は刷毛塗り、軸面は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号築 期
7 第317図 PL153	灰軸陶器 椀	埋土 底部	② 8.2 ④ 7.4	①微砂粒 ②燻火焔 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナゲで不明。高台は貼付。蒸触方法は刷毛塗り、軸面は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号築 期(古)
8 第317図 PL154	土師器 壺	+9・16、埋土、 71住 口縁部~胴片	① 19.8 胴径 21.6	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色		口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向、中位~下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部は上位がハケ目、中位以下がヘラナゲ。	
9 第317図 PL154	須恵器 羽釜	+14・17・21、 埋土、71住 口縁部~胴片	① 18.3 胴径 22.8 胴径 23.6	①粗砂粒 ②燻火焔ざみ ③にぶい褐色		ロクロ成形、回転右回り。胴下に輪痕が残る。脚は貼付。胴部下位は底部への縦方向ヘラ削り。	
10 第317図 PL154	須恵器 壺	床直、+8、埋土 底部~胴部下 片	② 19.2	①粗砂粒 ②燻火焔 ③灰色		胴部は僅かに平行叩き痕が残る。底部付近は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りか。内面はヘラナゲ。	

92号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第319図 PL154	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第319図 PL154	土師器 甕	床直、+5、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 19.8 胴径 18.8 胴径 21.6	①粗砂粒 ②良好 ③棕色	頸部に輪横痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り。 内面胴部はヘラナデ。	

93号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第322図 PL154	土師器 甕	カマド、110住口 縁部～胴部上位 片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデであるが口縁部下半には ヘラ削りが及んでいる。胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
2 第322図 PL154	土師器 甕	カマド、110住口 縁部～胴部上位 片	① 21.2	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	内外面に輪横痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。 内面胴部はヘラナデ。	

94号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第325図 PL154	須恵器 杯	+7 完形	① 9.6 ② 3.8 ③ 2.1	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
2 第325図 PL154	須恵器 杯	埋土 1/5	① 9.4 ② 4.0 ③ 2.9	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
3 第325図 PL154	須恵器 杯	床直 完形	① 10.1 ② 4.6 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	口唇部と底部に 傷付着。
4 第325図 PL154	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① 14.2 ② 7.2 ③ (4.5)	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付で頸部を打ち欠いている。	
5 第325図 PL154	灰輪陶器 椀	+10 口縁部一部欠	① 14.6 ②6.5④6.3 ③ 5.9	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面底部にトチン痕。 底部は回転余切り。高台は貼付。施釉方法は漬 け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	丸石2号式副
6 第325図 PL154	灰輪陶器 椀	埋土 底部片	② 8.6 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切りか。 高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない 灰色。	
7 第325図 PL154	土師器 甕	埋土 胴部下位片	② 5.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部は斜め方向へのヘラ削り。内面胴部はヘラ ナデ。	
8 第325図 PL154	須恵器 羽釜	埋土 胴部下位片	② 10.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部は縦方向のヘラ 削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
9 第325図 PL154	須恵器 羽釜	床直 胴部下位片	② 13.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転方向不明。残存部分の胴部は 横方向と縦方向のヘラ削りが見られる。	

95号住居

採回番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第328図 PL155	黒色土師 椀	カマド 1/2	① 14.0 ②8.0⑦7.6 ③ 5.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③赤褐色	本来は内面黒色処理か。ロクロ成形、回転右回 り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台 は貼付。内面は口縁部横方向、底部は放射状ヘ ラ磨き。	

2 第328図 PL155	須恵器 椀	埴土 1/4	① 11.8 ② 5.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
3 第328図 PL155	須恵器 椀	埴土 底部～口縁部下 半片	② 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
4 第328図 PL155	須恵器 椀	カマド 1/4	① 12.8 ②6.2③6.2 ④ 4.5	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
5 第328図 PL155	須恵器 椀	埴土 1/2	① 12.8 ②6.6③6.4 ④ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
6 第328図 PL155	須恵器 椀	床直 口唇部一部欠	① 13.8 ②7.0③6.3 ④ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
7 第328図 PL155	須恵器 椀	埴土、91住 1/3	① 13.8 ②6.4③6.0 ④ 5.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
8 第328図 PL155	須恵器 椀	床直 1/2	① 14.4 ②6.3③5.3 ④ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
9 第329図 PL155	須恵器 椀	カマド 1/3	① 14.8 ②7.8③8.0 ④ 6.7	①細砂粒 ②還元焰ざみ ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。	
10 第329図 PL155	灰釉陶器 椀	床直 3/4	① 13.6 ②6.8③6.2 ④ 5.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛 塗り、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
11 第329図 PL155	灰釉陶器 長頸壺	埴土 口縁部小片	① 11.4	①夾雜物なし ②還元焰統締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉 調は透明感のある緑色をおびた灰色。	
12 第329図 PL156	須恵器 長頸壺	床直 口縁部・高台 欠	② 10.0 ③ (21.8) 胴径 16.3	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付であるが欠落。胴部下 位は横方向のヘラ削り。頸部と胴部は二段接合。	
13 第329図 PL155	須恵器 甕	カマド 底部片	② 23.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転方向不明。	
14 第329図	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 16.8	①細砂粒 ②良好 ③褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハ ケ目。	
15 第329図 PL156	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
16 第329図 PL156	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 19.6 胴径 22.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転方向不明。	
17 第329図 PL156	須恵器 羽釜	カマド 1/2	① 20.4 ② 6.0 ③ 25.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。罫は貼付。胴部は下 半が底部から上位へ向けての斜め方向のヘラ削 り。底部は不定方向のヘラ削り。	
18 第329図 PL155	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 胴径 23.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部の上位に一部ヘラ ナデ。	
19 第329図 PL155	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 半片	① 20.0 胴径 24.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
20 第329図	須恵器 羽釜	カマド 胴部片	胴径 27.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。胴部下半は下位から上位へ向けて の縦方向のヘラ削り。	

96号住居

棟目番号 図版番号	種別 種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第331回	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 15.0	①細砂粒 ②燻火焼 ③灰褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。内面は横方向のへう磨き後斜格子状へう磨き。	
2 第331回	須恵器 椀	埋土 底部下半片	② 6.0	①細砂粒 ②燻火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転糸切り。	
3 第331回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 11.2 ② 7.0 ③ (3.9)	①細砂粒 ②燻火焼 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。	
4 第331回	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.3 ④ 6.9	①粗砂粒 ②燻火焼 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第331回	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.6	①細砂粒 ②燻火焼焼締め ③灰白色	ロクロ成形。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。高台端部と内面見込み部に重焼さび。施釉方法不明。釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
6 第331回	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 6.8 ④ 6.0	①細砂粒 ②燻火焼焼締め ③灰白色	ロクロ成形。高台は貼付。施釉方法不明。釉調は透明感のない黒みがかった灰色。	大原2号窯式期
7 第331回 PL156	須恵器 羽釜	埋土、78住 口縁部～胴部上 位片	① 20.4 脚径 24.6	①粗砂粒 ②燻火焼 ③淡黄褐色	ロクロ成形。脚は貼付。	

97号住居

棟目番号 図版番号	種別 種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第334回 PL156	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 13.0 ②6.0③5.2 ③ 5.0	①細砂粒 ②燻火焼 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第334回 PL156	須恵器 椀	+11・13 口縁部一部・ 高台欠	① 14.4 ② 6.8 ③ (4.9)	①粗砂粒 ②燻火焼 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。剥落後高台貼付箇所を磨き磨き使用か。	
3 第334回 PL156	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.8	①細砂粒 ②燻火焼 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第334回 PL156	須恵器 椀	カマド 底部片	② 7.3 ④ 7.0	①粗砂粒、小礫 ②燻火焼 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
5 第334回 PL156	灰釉陶器 椀	+17 1/3	① 16.0 ②8.0③7.8 ③ 6.4	①細砂粒 ②燻火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。口縁部下位は回転へう磨り。内面口唇部に口縁が1条走る。施釉方法は漬け掛け。釉調は透明感のない灰色。	虎渡山1号窯式期
6 第334回 PL157	土師器 壺	カマド 1/4	① 21.8 ② 3.8 ③ 24.3	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪痕痕が残る。口縁部から頸部は横ナデであるが頸部にへう磨り及び、胴部は上位が横方向、中位・下位は斜め方向のへう磨り。	
7 第334回 PL157	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 13.8 脚径 17.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪痕痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のへう磨り。内面胴部は横ナデ。	
8 第335回 PL157	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 17.8 脚径 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	頸部に輪痕痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のへう磨り。内面胴部は横ナデ。	
9 第335回 PL157	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪痕痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のへう磨り。内面胴部は横ナデ。	
10 第335回 PL157	須恵器 壺	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片		①細砂粒 ②燻火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
11 第335回 PL157	鉄器 釘	埋土 先端部欠	計 柄 径 (単位 cm, g)		特 徴 等	備考
			長 (6.0) 厚 0.4~0.6 頭部 1.6×0.7		頭部折り曲げ。	

12第38回 PL157	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 (5.3) 厚 0.7~0.8	頭部折り曲げ、頭部先端欠。使用していたためか全体的に湾曲している。	
13第38回 PL157	鉄器 釘	埋土 先端部から1/2	長 (4.8) 厚0.3~0.5		

98号住居

検出番号 図版番号	器具 種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第338回 PL157	須志器 椀	埋土 小片	① 12.4 ② 7.0 ③ (4.1)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが脱落。	
2 第338回 PL157	須志器 椀	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 6.8 ③ (3.7)	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。	
3 第338回 PL157	須志器 椀	+15 口縁部片	① 14.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
4 第338回 PL157	須志器 椀	埋土 底部	② 7.2 ④ 6.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、周囲はナデ。高台は貼付。	
5 第338回	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部小片	① 11.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式類
6 第338回	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.9 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない緑灰色。	
7 第338回 PL157	須志器 瓶	埋土 胴部片	胴径 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部中位は横方向のヘラ削り。	
8 第338回 PL157	須志器 羽釜	カマド 口縁部~胴部中 位片	① 19.2 胴径 24.0 胴径 24.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回りか。脚は貼付。内外面に輪横筋が残る。	
9 第338回 PL157	須志器 羽釜	カマド 口縁部~胴部中 位片	① 19.2 胴径 22.8 胴径 21.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。脚は貼付。内面に輪横筋が残る、中位は横方向のハケ目。	
10 第338回 PL157	須志器 羽釜	埋土 口縁部~胴部中 位片	① 20.0 胴径 24.5 胴径 23.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。脚は貼付。	
11 第338回	須志器 羽釜	カマド 底部~胴部下位 片	② 8.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形。胴部は縦方向のヘラ削り、底部はヘラ削りか。	

99号住居

検出番号 図版番号	器具 種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第342回 PL158	須志器 椀	カマド 3/4	① 11.5 ② 5.8 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第342回 PL158	須志器 椀	+10、埋土 1/3	① 13.2 ②6.7③6.0 ④ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第342回 PL158	須志器 椀	+8、埋土 1/3	① 12.7 ②8.9③6.0 ④ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	外側口縁部に墨書、「大」。
4 第342回 PL158	須志器 椀	+20、埋土 1/2	① 13.2 ②6.7③6.0 ④ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第342回 PL158	須志器 椀	+7、埋土 3/4	① 13.2 ②7.2③6.3 ④ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

6 第342区 PL158	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 13.4 ② 7.2 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
7 第342区 PL158	須恵器 椀	床直 底部	② 5.9 ④ 5.5	①粗砂粒 ②湿火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第342区 PL158	灰釉陶器 椀	埋土、111住 底部	② 8.4 ④ 7.6	①微砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。 釉調は透明感のない緑灰色。	光ヶ丘1号窯式 期～大原2号窯 式期
9 第343区 PL158	土師器 甕	埋土、98住、 N-13 口縁部～胴部	① 19.6	①粗砂粒 ②やや軟質 ③にょい赤褐色	頸部に輪痕が残り、口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデとハケ目。	
10 第343区	土師器 甕	埋土 底部付近	② 5.0	①粗砂粒 ②良好 ③暗褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部もヘラ削り。内 面はヘラナデ。	
11 第343区 PL158	須恵器 羽釜	+7 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 口径 25.2 胴径 26.0	①粗砂粒 ②湿火焰ざみ ③黒褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
12 第343区 PL158	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 24.6 口径 28.6	①粗砂粒 ②湿火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
採掘番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
13第340区 PL158	鉄器 鏃	床直 柄部片	長 (8.6) 幅 0.9 厚 0.7			

100号住居

採掘番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第346区 PL159	土師器 杯	埋土 1/6	① 10.4 ② 4.0 ③ 3.1	①細砂粒 ②良好 ③にょい褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が 横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第346区 PL159	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.0 ②6.0③6.0 ③ 4.3	①粗砂粒 ②湿火焰 ③にょい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法不 明。高台は貼付。	
3 第346区 PL159	須恵器 椀	床直 底部	② 8.0 ④ 9.0	①粗砂粒 ②湿火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
4 第346区 PL159	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.4 ④ 5.7	①微砂粒 ②湿火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	光ヶ丘1号窯式 期～大原2号窯 式期
5 第346区	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.0	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は液け掛け、 釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
6 第346区 PL159	須恵器 杯	埋土 1/4	① 12.4 ② 6.8 ③ 3.3	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	混入品
7 第346区	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 17.8	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	頸部に輪痕が残り、口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	混入品

101号住居

採掘番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第349区 PL159	土師器 杯	埋土 1/2	① 12.4 ② 5.2 ③ 4.1	①粗砂粒 ②良好 ③にょい赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第349区 PL159	須恵器 杯	+12 1/2	① 10.0 ② 5.6 ③ 3.6	①粗砂粒 ②湿火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第349回 PL159	須恵器 椀	カマド、床直、+	① 13.0 ② 10 ③ 1/2	① 粗砂粒 ② 燧火屑 ③ ぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
4 第349回 PL159	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.4 ② 6.0③5.0 ④ 4.5	①粗砂粒、褐色粒 ②燧火屑 ③ぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
5 第349回 PL159	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.6 ② 6.8③5.8 ④ 5.1	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法不明。高台は貼付。
6 第349回 PL159	須恵器 椀	床直 口唇部一部欠	① 13.8 ② 7.2③6.0 ④ 5.7	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
7 第349回 PL159	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.4 ② 7.2③6.2 ④ 5.0	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
8 第349回 PL159	須恵器 椀	+12 1/2	① 14.2 ② 7.0③5.6 ④ 4.9	①粗砂粒 ②燧火屑 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
9 第349回 PL159	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.0 ② 8.4③7.2 ④ 4.7	①粗砂粒 ②燧火屑 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法不明。高台は貼付。
10 第349回 PL160	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.5 ② 9.0③8.4 ④ 4.5	①粗砂粒 ②燧火屑 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨し技法不明。高台は貼付。
11 第350回 PL160	土師器 壺	カマド、+10、埋土、口縁部～胴部下位片	① 19.8 ② 18.8 ③ 23.8	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向、中位～下位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
12 第349回	土師器 壺	+20 口縁部～胴部上位片同	① 17.8 ② 18.0 ③ 21.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
13 第350回 PL160	土師器 壺	カマド、埋土 口縁部～胴部上位片	① 18.0 ② 18.5	①粗砂粒 ②良好 ③ぶい赤褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部は横ナゲ、頸部はナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
14 第350回 PL160	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部中位片同	① 18.4 ② 18.2 ③ 22.0	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③ぶい赤褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部は横ナゲ、頸部はナゲ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
15 第350回 PL160	土師器 壺	床直、埋土 口縁部～胴部中位片	① 19.0 ② 17.8 ③ 21.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部は横ナゲ、頸部はナゲ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。
16 第350回 PL160	土師器 壺	+18、埋土 底部～胴部中位片	② 5.8	①粗砂粒 ②良好 ③ぶい褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ、底部はハケ目。
17 第350回 PL160	土師器 壺	床直 底部～胴部下位片	② 6.3	①粗砂粒 ②良好 ③ぶい褐色	胴部は縦方向のヘラ削り、底部は磨れ砂が残る。内面胴部・底部はヘラナゲ。

102号住居

縄文番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	量	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第353回	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.0 ② 6.0 ③ 3.1	①細砂粒 ②良好 ③ぶい褐色	口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナゲ、口縁部は上半がナゲ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。		
2 第353回 PL160	須恵器 椀	カマド 1/6	① 12.0 ② 6.4 ③ (4.2)	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが脱落。		
3 第354回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.6 ② 6.6 ③ (5.2)	①粗砂粒 ②燧火屑 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回りか。		
4 第354回 PL160	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.6 ② 9.8 ③ (5.7)	①粗砂粒 ②燧火屑 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回りか。		

5 第354回 PL160	須恵器 椀	埋土 底部片	② 9.4 ④ 7.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第354回 PL160	灰胎陶器 椀	埋土 底部へ口縁部下 半	② 8.0 ④ 7.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。口縁部下位は回 転へラナデ。施釉方法は刷毛塗りであり底部も一部 施釉。	光ヶ丘1号窯式 跡
7 第354回 PL160	須恵器 長頸壺	埋土、67住 口縁部位片	① 12.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
8 第354回 PL161	土師器 甕	埋土 口縁部へ割部片	① 13.9 割径 15.2	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪痕痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部 はナデ、割部は横方向のへラナデ。内面割部は ヘラナデ。	
9 第354回 PL161	土師器 甕	カマド、67住、 C-16 口縁部へ割片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪痕痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 割部は上位が横方向のへラナデ。内面割部はヘ ラナデ。	
10 第354回 PL161	土師器 甕	埋土 口縁部へ割部上 位片	① 18.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、割部は上位が横方向 のへラナデ。内面割部はヘラ目とヘラナデ。	
11 第354回 PL161	土師器 台付甕	+6 3/4	① 9.8 ②5.2⑦0.8 ⑤ 13.5	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	頸部・割部に輪痕痕が残る。口縁部は横ナデ、 割部は横方向のへラナデ。割部と脚部は接合、 脚部は横ナデ。内面割部はヘラナデ。	
12 第354回 PL161	須恵器 羽釜	カマド 口縁部へ割部中 位片	① 21.0 割径 26.0 割径 25.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。脚は貼付。	
13 第354回	須恵器 羽釜	埋土 底部へ割部下位 片	② 7.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。割部下位は斜め方向、 最下位は横方向のへラナデ。底部もへラナデか。	
14 第354回	須恵器 甕	埋土 頸部付近小片		①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	割部は平行印。内面はヘラナデ。	
採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	石 備 材 考
15第35回 PL161	石製品 砥石	埋土 1/2	長 (3.8) 幅 2.4 厚 1.0~1.5 重 21.0		表面・側面に磨痕が見られる。	
16第35回 PL161	鉄器 鏝	床直 基礎部欠	長 (9.7) 身幅 2.5 身厚 0.2 寬被厚 0.3~0.6 基厚 0.3		寬被は長く、鏝身カエリは左右対称ではない。	
17第35回 PL161	鉄製品 紡錘車	埋土 軸片	長 12.5・5.1 厚 0.6~0.9		断面多角形を呈す。長片の下部は円盤部との接 合部か。短片は中心が空洞化している。	

103号住居

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第357回 PL161	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.4 ② 7.4 ③ 2.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。底部は不 定方向のへラナデ。	
2 第357回 PL161	須恵器 椀	埋土、90住 口縁部片	① 13.8 ② 7.6 ③ (4.9)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付か。	

104号住居

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第360回 PL161	須恵器 椀	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第360回 PL161	須恵器 椀	カマド 底部片	② 7.4	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが割落。	

3 第360図 PL162	土師器 甕	カマド、埋土 H-15-16 口縁部へ割片	① 18.8 頸径 17.0 胴径 20.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口唇部と頸部に凹線が各1条走る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向、中位は縦方向のへら削り。内面胴部はへらナデ。	
4 第360図 PL162	土師器 甕	カマド、埋土、 89-104住 口縁部へ割片	① 19.6 頸径 17.3 胴径 21.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	頸部に凹線が1条走る。口縁部から頸部は横ナデ。胴部は上位が縦方向、中位～下位は縦方向のへら削り。内面胴部はへらナデ。	
5 第360図 PL161	須恵器 甕	埋土 口縁部へ頸部片	① 17.4 頸径 14.7	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	

105号住居

検出番号 図版番号	種 類	類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第363図 PL162	須恵器 杯	カマド、床直、 +7 2/3	① 9.4 ② 5.2 ③ 3.0	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後へらナデか。		
2 第363図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 17.2	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転方向不明。		
3 第363図 PL162	須恵器 短頸甕	掘方 口縁部片	① 14.0 頸径 13.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。		
4 第363図 PL162	土師器 甕	カマド 口縁部へ胴部中 位片	① 19.8 頸径 19.4	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向のへら削り。内面胴部はへらナデとハケ目。		
5 第363図 PL162	土師器 甕	カマド 口縁部へ胴部上 位片	① 24.2	①粗砂粒 ②良好 ③浅黄褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向のへら削り。内面胴部はへらナデ。		
6 第364図 PL162	土師器 甕	床直 口縁部へ胴部中 位片	① 25.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向、中位は一部斜め方向のへら削り。内面胴部はへらナデ。		
7 第364図 PL162	土師器 甕	カマド、床直 口縁部へ胴部下 位片	① 27.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	内面に輪横痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向、中位は縦方向のへら削り。内面胴部はへらナデ。		
8 第364図 PL162	須恵器 羽釜	埋土 口縁部へ胴部中 位片	① 25.4 胴径 30.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転方向不明。踵は貼付。		

106号住居

検出番号 図版番号	種 類	類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第366図 PL163	須恵器 椀	+8、埋土 1/2	① 12.2 ②6.2③6.7 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。		
2 第366図 PL163	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.4 ②5.9③6.4 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰横 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで周囲はナデ。高台は貼付。		
3 第366図 PL163	須恵器 甕	+19 口縁部片	① 17.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。胴部と頸部は接合。		

107号住居

検出番号 図版番号	種 類	類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第369図 PL163	土師器 杯	床直、埋土 口唇部一部欠	① 11.4 ② 6.0 ③ 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が縦方向のへら削り。底部は不定方向のへら削り。		

2 第369回 PL163	土師器 杯	+14-15 1/5	① 13.6 ② 8.2 ③ (3.0)	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	焼成時の歪みが大さい。口唇部は横ナゲ、口縁部は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り	
3 第369回 PL163	須恵器 椀	埋土 底部へ口縁部下位片	② 7.4 ④ 6.4	①粗砂粒 ②燼火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付。	
4 第369回 PL163	灰釉陶器 椀	カマド、埋土、D-13	① 15.4 ②7.8④7.2 ③ 4.9	①粗砂粒 ②燼火屑絡め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け施釉は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
5 第369回 PL163	灰釉陶器 長頸壺	埋土、34住、T-14、B-7、D-6 胴部上位片	胴径 15.2	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。胴部は中位が回転ヘラ削りか。施釉方法不明。軸調はやや緑色をおびた灰色。	
6 第369回 PL163	土師器 鉢	土師、埋土 口縁部へ体部中位片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
7 第369回 PL163	土師器 鉢	カマド 口縁部片	① 20.5	①細砂粒 ②良好 ③灰褐色	口縁部は上位が横ナゲ、中位は横方向のヘラ削り内面は口唇部下から横方向のヘラ磨き。	
8 第369回 PL163	土師器 壺	床直 口縁部へ胴部上位片	① 19.6	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	胴部・胴部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部はやや斜め方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目とヘラナゲ。	
9 第369回 PL163	須恵器 羽釜	+9、13 口縁部へ胴部下位片	① 18.6 胴径 23.2 胴径 23.8	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰黄色	ロクロ成形。罫は貼付。胴部下位は底部から上位へ向けての縦方向ヘラ削り。	
10 第369回	須恵器 羽釜	埋土 口縁部へ胴部上位片	① 21.8 胴径 26.0	①粗砂粒 ②燼火屑 ③褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
11 第370回	須恵器 羽釜	床直 口縁部へ胴部上位片	① 21.0 胴径 25.2	①粗砂粒 ②燼火屑 ③褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
12 第370回 PL163	須恵器 双耳瓶	+13 胴部片		①細砂粒 ②燼火屑 ③灰色	ロクロ成形。把手は貼付。	

108号住居

編図番号 図版番号	埋土 種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・繋ぎの特徴	備 考
1 第373回 PL164	須恵器 椀	+9、埋土、 109住、B-18 3/4	① 15.8 ② 7.4 ③ 11.5	①粗砂粒、褐色粒 ②燼火屑 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
2 第373回	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部片	① 13.7	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
3 第373回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8 ② 7.0 ③ (3.7)	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付であるが欠落。	
4 第373回	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 5.8	①粗砂粒 ②燼火屑 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付。	
5 第373回 PL164	灰釉陶器 輪花椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①粗砂粒 ②燼火屑絡め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛け施釉は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
6 第373回 PL164	灰釉陶器 小瓶	+10 底部へ胴部下半片	② 5.6	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。施釉方法不明。軸調はやや緑色をおびた灰色。	
7 第373回	須恵器 鉢	+11 口縁部へ体部片	① 24.6	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。体部下位は斜め方向のヘラ磨き。	
8 第373回	土師器 壺	カマド 底部片	② 5.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部は砂底か。内面胴部はヘラナゲ。	

9 第373回	須恵器 羽釜	+10 口縁部～胴部中 位片	① 24.0 ② 27.0	①粗砂粒 ②酸火焼 ③赤褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
10 第373回 PL164	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 22.0 ② 27.0	①粗砂粒 ②酸火焼 ③橙色	ロクロ成形。罫は貼付。	
11 第373回 PL164	須恵器 羽釜	+6・10・11、埋土 胴部下半～底部 片	② 7.4	①粗砂粒 ②酸火焼 ③褐色	ロクロ成形。回転左回り。胴部下位は横方向と 一部縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ 削り	
12 第373回 PL164	須恵器 羽釜	床直、+13、 B-18 胴部下半片	② 6.0	①粗砂粒 ②酸火焼 ③橙色	ロクロ成形。胴部下位は底部から上位へ向けて の縦方向、最下位は横方向のヘラ削り。底部は 不定方向のヘラ削りか。	
13 第374回	須恵器 羽釜	貯蔵穴、+10、 埋土、109住 胴部片		①粗砂粒 ②酸火焼 ③明赤褐色	ロクロ成形。胴部下位は縦方向のヘラ削り。	
14 第374回	土師器 杯	+25 口縁部片	① 15.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り 内面は難な放射状轆文。	混入品
押控番号 図版番号	種 類 種 類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	石 備 材 考
15第37回 PL164	石製品 砥石	+7 1/2	長 (9.0) 幅 4.1～4.4 厚 1.8～4.2 重 213.0		表裏・側面に磨痕がみられ、右側面に深い痕が 残る。中ほどの使用が激しく磨り減っている。	砥石
16第37回 PL164	鉄器 簾	+19 完形	長 12.2 身幅 2.4 身厚 0.3 寛被幅厚 0.2			

109号住居

押控番号 図版番号	種 類 種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第377回 PL164	黒色土器 椀	カマド、床直 1/4	① 14.8 ②7.2④7.3 ③ 7.4	①細砂粒 ②酸火焼 ③橙色	内面黒色処理。ロクロ成形。回転右回り。底部 切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。 内面は口縁部横方向、底部は縦方向のヘラ磨き。	
2 第377回	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 14.0	①粗砂粒 ②還元火焼質 ③灰白色	内面黒色処理。ロクロ成形。内面口縁部は横方 向のヘラ磨き。	
3 第377回	黒色土器 椀	+6 底部	② 6.8 ④ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焼 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形。回転右回り。底部 切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面 底部は放射状ヘラ磨き。	
4 第377回	黒色土器 椀	+7 底部	② 7.3 ④ 7.1	①粗砂粒 ②酸火焼 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形。回転右回り。底部 切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面 底部はヘラ磨き。	
5 第377回 PL164	須恵器 杯	埋土、C-18 1/2	① 10.0 ② 6.0 ③ 2.6	①細砂粒 ②酸火焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。回転右回り。底部は回転余切り。	
6 第377回 PL164	須恵器 椀	埋土 1/4	① 10.2 ② 4.1 ③ 3.1	①粗砂粒 ②酸火焼 ③にぶい褐色	ロクロ成形。回転右回り。底部は回転余切り。	
7 第377回 PL164	須恵器 椀	カマド 1/2	① 11.4 ②6.2④6.0 ③ 5.2	①粗砂粒、小礫 ②酸火焼 ③橙色	ロクロ成形。回転右回り。底部は回転余切り後 ナデ。高台は貼付。	
8 第377回 PL164	灰輪陶器 小椀	カマド、埋土 口縁部片	① 10.0	①微砂粒 ②還元火焼 ③灰白色	ロクロ成形。回転方向不明。施釉方法は掛け掛 け、釉調は透明感のない灰色。	
9 第377回 PL164	灰輪陶器 椀	埋土 底部片	② 6.5 ④ (6.0)	①微砂粒 ②還元火焼 ③灰白色	ロクロ成形。回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛 塗りや底部の中ほども施釉。釉調は透明感のない 灰色	光ヶ丘1号家式 期
10 第377回 PL165	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 21.6 ② 21.2 ③ 26.8	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
11 第377回 PL165	土師器 壺	埋土、B-18 底部～胴部下位 片	② 8.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部下位は斜め方向、最下位は横方向のヘラ削り 底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラ ナデ。	

12 第377回 PL165	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 17.7 口径 21.7	①粗砂粒 ②燧火屑 ③褐色	ロクロ成形。罍は貼付。内面胴部に輪痕が残る。	
13 第377回 PL165	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 23.8 口径 26.6	①粗砂粒 ②瀝火屑 ③灰黄色	ロクロ成形。罍は貼付。	
押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	計 (単位 cm, g)	測 量	特 徴 等	備 考
14第37回 PL165	鉄器 刀子	+8 刀身片	長 (9.2) 幅 2.0～2.4 厚 0.4		端部が丸く作られている。	

110号住居

押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第379回 PL165	須恵器 椀	埋土 2/3	① 13.8 ②6.4⑥6.8 ③ 5.5	①細砂粒 ②燧火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
2 第379回 PL165	須恵器 椀	埋土、94住 1/4	① 13.6 ②6.6⑥6.4 ③ 5.0	①細砂粒 ②燧火屑 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第379回	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ④ 7.2	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
4 第379回	灰輪陶器 椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①微砂粒 ②瀝火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。胎土方法は漬け掛りか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式刷

111号住居

押出番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第382回 PL165	土師器 杯	床直 完形	① 10.6 ② 6.2 ③ 3.4	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪痕。口唇部は横ナデ、口縁部上・中位はナデ、下位が横方向のヘラ削り。底部はヘラ削りで中ほどに離れ砂が残る。内面はヘラナデ。	内面口縁部に墨書、「人」。
2 第382回 PL165	土師器 杯	床直、+8 1/4	① 11.0 ② 6.0 ③ 4.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第382回 PL165	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.6 ② 6.3 ③ 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第382回 PL165	須恵器 杯	埋土 1/4	① 11.0 ② 6.0 ③ 4.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向のヘラ削り。	
5 第383回 PL165	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.9	①細砂粒 ②瀝火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。	
6 第383回	須恵器 椀	+11 底部	② 7.0	①細砂粒 ②瀝火屑 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第383回 PL165	須恵器 椀	埋土、N-13 1/3	① 12.0 ②6.8⑥5.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②瀝火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第383回 PL165	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.0 ②6.0⑥5.4 ③ 5.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
9 第383回	須恵器 椀	床直 1/5	① 13.8 ② 8.0 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②瀝火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	
10 第383回 PL166	須恵器 椀	カマド、埋土 1/2	① 13.6 ②6.4⑥5.0 ③ 5.0	①粗砂粒 ②瀝火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	

11 第383図 PL166	須恵器 椀	+6、埋土 ほぼ光形	① 13.6 ②6.7③6.2 ③ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ワロク成形、回転右回り。底部と口縁部の輪襷痕が残る。底部は回転未切り。	
12 第383図 PL166	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部大半欠	① 13.8 ② 7.6 ③ (5.0)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ワロク成形、回転右回り。底部は回転未切り。高台は貼付であるが頸部欠落、欠落部分を磨き使用か。	
13 第383図 PL166	緑釉陶器 椀	N-13 底部片	② 6.2 ④ 6.0	①灰青物なし ②還元焰軟質 ③黄灰色	ワロク成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付で底部へラナデ。内面へラ磨き。施釉方法は刷毛塗り、釉調は淡緑色。	東海産
14 第383図 PL166	灰釉陶器 椀	+6・15 口縁部片	① 15.6 ② 8.4 ③ (3.9)	①粗砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ワロク成形、回転右回り。施釉方法は横け掛け、釉調は透明感のある灰色。	大原2号室式期
15 第383図 PL166	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 18.8	①粗砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ワロク成形、回転右回りか。施釉方法不明、釉調は透明感のある灰色。	
16 第383図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 11.6	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	内外面に輪襷痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のへラ削り。内面胴部はハケ目。	
17 第383図 PL166	土師器 甕	+6-8～11、埋土 口縁部～胴部下 位	① 17.6 頸径 16.2 胴径 20.4	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	内面胴部に輪襷痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位・下位は縦方向のへラ削り。内面胴部はへラナデ。	
18 第383図 PL166	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 22.0 頸径 20.0 胴径 22.4	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は横方向から斜め方向のへラ削り。内面胴部はへラナデ。	
繰回番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計 量 (単位 cm, g)	調 検	特 徴 等	備 考
15第383図 PL166	鉄器 鏝	+9 基部片	長 (5.7) 幅 0.4～0.6 厚 0.4～0.5		端部付近に木質が付着。	

112号住居

繰回番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第385図 PL166	土師器 杯	床直、埋土 1/4	① 12.4 ② 7.2 ③ 4.6	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪襷痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は斜めと横方向のへラ削り。底部は不定方向のへラ削り。内面はへラナデ。	
2 第385図 PL166	土師器 杯	埋土 1/4	① 12.6 ② 7.0 ③ (4.2)	①粗砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のへラ削り。底部は不定方向のへラ削り。	
3 第385図 PL166	土師器 杯	埋土 1/5	① 13.6 ② 7.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位・下位部分的にへラ削りでナデ部分が残存。底部は不定方向のへラ削り。	内面底部に墨書文字判読不能。
4 第385図 PL166	土師器 皿	埋土 1/4	① 12.4 ② 5.6 ③ 2.1	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ。基部は不定方向のへラ削り。	
5 第385図 PL167	須恵器 杯	カマド 1/2	① 13.0 ② 6.1 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ワロク成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
6 第385図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.8 ②6.4③6.1 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ワロク成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
7 第385図 PL167	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.6 ② 6.6 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰褐色	ワロク成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
8 第385図	土師器 甕 (台付甕)	カマド、床直 口縁部～胴部中 位片	① 10.8	①粗砂粒 ②良好 ③によい褐色	頸部に輪襷痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は横方向のへラ削り。内面胴部はへラナデ。	
9 第385図 PL167	土師器 甕	埋土 底部～胴部下位 片	② 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	胴部は縦方向のへラ削り。底部もへラ削り。内面胴部はへラナデとハケ目。	

10 第386回 PL167	須置器 羽釜	+11・埋土 口縁部～胴部中 位片	① 18.0 ② 25.6 ③ 26.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③にぶい藍色	ロクロ成形、回転右回りか。罫は貼付。	
----------------------	-----------	-------------------------	----------------------------	------------------------	--------------------	--

113号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第389回 PL167	須置器 椀	床直+6 1/2	① 14.0 ② 6.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転決切り。	
2 第389回 PL167	灰釉陶器 椀	床直、埋土 118住、P-Q-15 1/2	① 15.4 ②8.0③7.2 ③ 5.0	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。口縁部最下位は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗り、釉調は緑灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
3 第389回 PL167	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.8 頸径17.2 胴径 20.4	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデであるが頸部の一部はナデ。胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
4 第389回 PL167	土師器 壺	カマド、床直 口縁部～胴部上 位片	① 21.4	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第389回 PL167	土師器 壺	床直、埋土 胴部中位～底部 片	② 4.2	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	胴部は中位が斜め方向、下位は縦方向のヘラ削り 底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ	
6 第389回 PL167	土師器 壺	カマド、埋土 胴部下位～底部 片	② 4.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、底部はハケ目。	
検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
7 第389回 PL167	鉄鋸 刀子	埋土 棟～刀身片	長 (7.6) 身幅 0.6～1.9 厚 0.4		全体的に磨り減っており種も丸みを帯びている。	

114号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第392回	須置器 椀	埋土 口縁部片	① 13.0 ② 8.0 ③ (3.8)	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台が付く形種か。	
2 第392回	須置器 椀蓋	埋土 口縁部片	① 18.0	①細砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
3 第392回 PL167	須置器 椀	床直 底部片	② 10.0 ④ 9.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転決切り。 高台	
4 第392回 PL167	土師器 壺	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	胴部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第392回 PL167	須置器 椀	カマド 底部～口縁部下 半片	② 6.6 ④ 6.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第392回 PL167	須置器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 19.0 脚径 23.0	①細砂粒 ②燧火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。内面胴部に輪痕が残る。	
7 第392回 PL167	須置器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 19.6 脚径 23.4	①細砂粒 ②燧火屑 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	

115号住居

棟目番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第395図 PL168	須恵器 椀	床直 3/4	① 12.2 ② 6.0 ③ 5.1	①細砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第395図 椀	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.6 ② 6.0 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。	
3 第395図 PL168	須恵器 椀	床直 完形	① 13.6 ②6.8③6.4 ③ 5.1	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台	

116号住居

棟目番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第397図 PL168	須恵器 杯	+15、埋土、 107住 ほぼ完形	① 12.0 ② 6.8 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をヘラ削り。	

117号住居

棟目番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第399図 PL168	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 11.3 ② 6.2 ③ 3.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第399図 PL168	須恵器 椀	+15 1/3	① 14.4 ② 7.4 ③ (4.5)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第399図 椀	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第399図 椀	須恵器 椀	床直 底部片	② 8.2 ③ 7.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第399図 椀	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.8 ④ 7.4	①粗砂粒、水漬 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透 明感のない灰色。	光ヶ丘1号築式 期
6 第399図 PL168	土師器 壺	埋土 口縁部へ胴部中 位片	① 20.0 頸径 18.7 胴径 23.2	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	内外面に輪横痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ。胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ 削り。内面胴部はヘラナデ。	

118号住居

棟目番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第402図 PL168	須恵器 椀	+6・9 1/2	① 15.6 ②7.9③7.1 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第402図 椀	須恵器 椀	貯蔵穴 口縁部片	① 15.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
3 第402図 PL168	土師器 壺	貯蔵穴 口縁部へ胴部上 位片	① 21.0 頸径19.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方 向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
4 第402図 壺	土師器 壺	埋土 底部へ胴部下位 片	② 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内 面胴部はヘラナデ。	

119号住居

採掘番号 採取番号	埋器 種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第404回 PL168	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第404回	須恵器 椀	埋土 底部	② 5.4 ④ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第404回	須恵器 椀	+11 底部	② 6.2 ④ 5.8	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
4 第404回 PL168	須恵器 甕	+10 底部付近片	② 22.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい褐色	ロクロ成形。輪轆痕が残る。	

120号住居

採掘番号 採取番号	埋器 種類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第407回 PL168	須恵器 椀	+17、埋土 口縁部一部欠	① 10.4 ② 5.8 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第407回 PL168	須恵器 椀	+12、埋土 口縁部一部欠	① 10.2 ② 5.2 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第407回 PL168	須恵器 椀	+11 3/4	① 10.6 ② 6.0 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口縁部はヘラナデ。	
4 第407回 PL168	須恵器 椀	+12、埋土 底部	② 8.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第407回 PL168	須恵器 椀	+11 1/3	① 10.4 ②5.6③5.4 ④ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい褐色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下位に輪轆痕が残る。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第408回 PL169	須恵器 椀	埋土、B-18 1/5	① 10.8 ②5.8③5.2 ④ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
7 第408回 PL169	須恵器 椀	カマド ほぼ完形	① 11.0 ②7.5③6.7 ④ 4.6	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第408回 PL169	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.2 ②6.0③5.7 ④ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第408回 PL169	須恵器 椀	+8 口唇部一部欠	① 11.3 ②6.3③5.9 ④ 4.4	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
10 第408回 PL169	須恵器 椀	埋土 1/2	① 11.4 ②5.8③4.8 ④ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
11 第408回 PL169	須恵器 椀	+9、埋土 1/4	① 12.6 ②6.0③5.6 ④ 4.3	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
12 第408回 PL169	須恵器 椀	+11・13・14、 埋土 3/4	① 14.4 ②6.4③5.0 ④ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
13 第408回 PL169	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 10.8 ② 5.7 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
14 第408回 PL169	須恵器 椀	埋土 口縁部～高台片	① 14.6 ② 8.0 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	

15 第408回 PL169	須志器 椀	+10、埋土 底部	② 7.5 ④ 8.8	①粗砂粒、小礫 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
16 第408回 PL169	緑釉陶器 椀	+11 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。釉調は濃緑色。	
17 第408回 PL169	灰釉陶器 椀	床直 1/5	① 14.2 ②6.8④6.4 ③ 4.3	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない黄灰色。	大塚2号窯式期
18 第408回 PL169	灰釉陶器 椀	+13 底部へ口縁部下位片	② 7.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	大塚2号窯式期 ～虎浜山1号窯式期
19 第408回 PL169	須志器 羽釜	床直 胴部下位～底部欠	① 18.0 胴径 22.4 ③ (24.0)	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部に輪痕が残る。脚は貼付。胴部下半は底部から上位へ向けての縦方向のヘラ削り。	
20 第408回 PL169	須志器 羽釜	カムド 口縁部～胴部上位片	① 20.6 胴径 25.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。内面に輪痕が残る。脚は貼付。	
21 第408回	須志器 羽釜	+9 底部片	② 8.8	①粗砂粒 ②還元焰 ⑤にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向のヘラ削り。胴部下半は上位へ向けての縦方向ヘラ削り。	
22 第408回 PL170	須志器 椀	カムド、+11、埋土109・121住 頸部～底部片	② 14.0 胴径 16.4 胴径 27.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。胴部は上位が横方向、中位～下位は斜め方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
挿入番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	計 測 値 【単位 cm、g】	特 徴 等		石 皿 材 考
23第408回 PL169	石製品 紡錘車?	+13 完形	径 6.6×5.6 厚 1.5 孔 1.2×1.2 重 60.0		表面は研磨を行い平滑面を作っている。側面は縦な打ち欠けのままである。	標名二ツ岳石

121号住居

挿入番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 【単位 cm】	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第412回 PL170	須志器 椀	埋土、120住 1/2	① 11.1 ②6.8④6.0 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第412回	須志器 椀	埋土 口縁部～高台片	① 12.6 ②6.1④6.5 ③ 5.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	
3 第412回 PL170	須志器 椀	カムド 2/3	① 14.0 ②6.8④7.5 ③ 6.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色・褐色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第412回 PL170	須志器 椀	埋土 1/4	① 12.6 ②6.2④4.4 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付で底部欠損後磨り込み使用か。	
5 第412回	須志器 椀	床直 1/5	① 13.4 ② 7.0 ③ (3.6)	①細砂粒 ②還元焰ざみ ⑤にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第412回	須志器 椀	埋土 口縁部片	① 14.6 ② 8.0 ③ (3.8)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。	
7 第412回	須志器 椀	カムド 口縁部片	① 16.0 ② 9.2 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②還元焰 ⑤にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。	
8 第412回 PL170	須志器 椀	埋土 底部	② 6.0 ④ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
9 第412回	須志器 椀	埋土 高台片	④ 8.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	
10 第412回 PL170	灰釉陶器 椀	カムド 1/5	① 16.2 ②8.2④7.8 ③ 5.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	大塚2号窯式期

11 第412図 PL170	須恵器 長頸壺 or 短頸壺	埋土 胴部下半片	② 10.8 ④ 9.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。胴部下 半は回転ヘナナ削り後一部斜め方向のヘナナ削り。	
12 第412図 PL170	須恵器 羽釜	埋土、109住、B -18 口縁部～胴片	① 21.2 脚径 24.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③よい褐色	ロクロ成形、回転右回り。脚は貼付。	

139号住居

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第414図 PL170	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 11.8 ②6.1④6.4 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第414図 PL170	須恵器 椀	床直 高台欠	① 13.6 ② 6.4 ③ (4.6)	①粗砂粒 ②還元焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナダで不明。高台は貼付。	
3 第414図 PL170	須恵器 椀	床直 底部～口縁部下 半片	② 7.0 ④ 7.0	①粗砂粒、小礫 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第414図 PL170	灰輪陶器 椀	床直、埋土 1/4	① 13.4 ②6.8④6.6 ③ 3.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘナナで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け 掛け釉調は透明感のない灰色。	転用磁(内面) 大原2号窯式期
5 第414図 PL170	灰輪陶器 椀	埋土 底部片	② 6.4 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘナナで不明。高台は貼付。施釉方法不明。 釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
6 第414図 PL170	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 24.0 脚径 29.0	①粗砂粒 ②還元焰ざみ ③洗黄色	ロクロ成形。脚は貼付。	

140号住居

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第416図 PL171	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.6 ② 6.0 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第416図 PL171	須恵器 椀	+6 2/3	① 12.6 ②7.0④6.7 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第416図 PL171	須恵器 椀	床直 1/3	① 13.8 ②8.4④6.8 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰やや軟質 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第416図 PL171	須恵器 椀	床直 口縁部片	① 12.8 ② 7.2 ③ (6.0)	①粗砂粒 ②還元焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが脱落。	
5 第416図 PL171	須恵器 椀	+8、埋土 口縁部片	① 14.2 ② 7.2 ③ (5.1)	①細砂粒 ②還元焰 ③よい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが脱落。	
6 第416図 PL171	須恵器 椀	+14 底部	② 7.4 ④ 6.6	①細砂粒 ②還元焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をヘナナ削り。高台は貼付。	
7 第416図 PL171	灰輪陶器 椀	埋土、C-7、D-6 口縁部片	① 15.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り か、釉調は透明感のある緑色。	光ヶ丘1号窯式 期

141号住居

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第418図 PL171	土師器 杯	床直 2/3	① 11.4 ② 6.8 ③ 4.1	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪痕が残り、口縁部の一部に粘土を 継ぎ足した痕が見られる。口唇部は横ナダ、口 縁部は上半がナダ、下半と底部がヘナナ削り。	

2 第418図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.8	①粗砂粒 ②燻火痕 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
3 第418図	須恵器 椀	+21 口縁部片	① 12.8	①粗砂粒 ②燻火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第418図 PL171	灰釉陶器 椀	+23・24 1/2	① 13.4 ②7.0③6.2	①微砂粒 ②燻火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は襷け掛け、軸調はやや緑色をおびた灰色。	大塚2号宮式期
5 第418図 PL171	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①微砂粒 ②燻火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は刷毛塗りか、軸調は透明感のある灰色。	光ヶ丘1号宮式期か

142号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第420図 PL171	須恵器 杯	床直、埋土 1/2	① 11.4 ② 5.6 ③ 3.2	①細砂粒 ②燻火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第420図	須恵器 杯	床直 口縁部片	① 12.6 ② 7.0 ③ 3.3	①細砂粒 ②燻火痕 ③灰色	焼成時の歪み大きい。ロクロ成形、回転右回り 底部は回転糸切り。	
3 第420図 PL171	須恵器 椀	床直 1/3	① 12.6 ②6.6③5.8 ③ 4.9	①粗砂粒 ②燻火痕 ③黄褐色	高台の凹凸が激しい。ロクロ成形、回転右回り。 底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第420図 PL171	須恵器 椀	床直 底部	④ 7.0 ④ 6.4	①粗砂粒 ②燻火痕 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	内面底部に割書。
5 第421図	灰釉陶器 椀	床直 口縁部片	① 13.8 ② 7.0 ③ (4.0)	①微砂粒 ②燻火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法不明、軸 調は透明感のある灰色。	
6 第421図 PL171	須恵器 羽釜	床直、G-12 口縁部～胴部中 位片	① 26.0 胴径 28.8	①粗砂粒 ②燻火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴は貼付。	
7 第421図 PL171	須恵器 双耳瓶	床直、+6、 35住、G-11・12 胴部1/2	胴径 28.0	①粗砂粒 ②燻火痕 ③灰色	ロクロ成形。把手は貼付。胴部は回転ヘラ削り。	
8 第421図 PL171	須恵器 甕	床直、+20 底部付近片	② 15.2	①粗砂粒 ②燻火痕 ③褐色	ロクロ成形。小規模の高台は貼付。胴部は器面 の制約のため不鮮明であるが回転ヘラ削りか。 内面に指痕が残る。	
検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 量 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	石 材 考	
9 第421図 PL171	石製品 砥石	床直 1/2	長 (13.4) 幅 10.5 厚 9.3～10.1 重 1,620.0	表裏・右側面を使用している。	粗粒輝石安山岩	

143号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第423図 PL172	土師器 杯	埋土 1/2	① 10.6 ② 6.0 ③ 3.5	①粗砂粒 ②良好 ③褐色・褐色	口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底 部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
2 第423図 PL172	土師器 杯	+13 D-7 1/2	① 10.8 ② 5.6 ③ 3.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、 中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は 不定方向のヘラ削り。	
3 第423図 PL172	土師器 杯	床直 口縁部一部欠	① 11.8 ② 6.2 ③ 2.7	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第423図 PL172	須恵器 杯	床直 口縁部1/3欠	① 12.4 ② 6.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②燻火痕 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

5 第423回 PL172	須恵器 椀	埋土 完形	① 12.0 ②5.4③5.4 ③ 5.2	①粗砂粒、白色粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第423回 PL172	須恵器 椀	+9 1/2	① 13.6 ②6.8③6.0 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にやや黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
7 第423回 PL172	須恵器 椀	+15 1/5	① 12.7 ②6.6③5.2 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第424回 PL172	須恵器 椀	床直 1/3	① 13.9 ②6.6③6.2 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
9 第424回 PL172	灰釉陶器 椀	+22 底部片	② 9.0 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付で底部は重焼き直 による表面割断。施釉方法不明。	
10 第424回 PL172	灰釉陶器 小瓶	+18、D-6 口縁部欠 位片	② 5.9 胴径 7.4 ③ (9.0)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は塗り掛け、 軸調はやや緑色をおびた灰色。	
11 第424回 PL172	土師器 壺	+13・17 口縁部→胴部中 位片	① 12.0 胴径 11.4 胴径 13.6	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	内外面に輪痕が見える。口縁部から頸部は横ナ デ胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部は ヘラナデ。	
12 第424回 PL172	土師器 壺	埋土 口縁部→胴部中 位片	① 12.6 胴径 12.4 胴径 13.0	①粗砂粒 ②良好 ③にやや赤褐色	頸部に輪痕が見える。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
13 第424回 PL172	土師器 壺	床直 口縁部→胴部上 位片	① 17.0	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪痕が見える。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
14 第424回 PL172	土師器 壺	床直 口縁部→胴部上 位片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
15 第424回 PL172	土師器 壺	+10 口縁部→胴部中 位片	① 21.4 胴径 19.8 胴径 24.6	①粗砂粒 ②軟質 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、 中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
16 第424回 PL172	須恵器 羽釜	床直、+6・16 口縁部→胴部下 位片	① 17.8 胴径 21.8 胴径 22.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にやや橙色	ロクロ成形、回転右回り。罫は貼付。胴部下位 は底部から上位へ向けての縦方向のヘラ削り。	
17 第424回 PL172	須恵器 羽釜	+19、C-7 口縁部→胴部中 位片	① 17.8 胴径 22.8 胴径 23.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にやや褐色	ロクロ成形、回転右回り。罫は貼付。	
18 第424回 PL173	須恵器 壺	+14、埋土、C-8 口縁部片	① 49.6 胴径 40.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。断面に輪痕が見られる。口縁部 は凹縁区画後4段の波状文(単位9条)を施文。	

144号住居

検出番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①粘土 ②構成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第427回 PL173	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.8 ② 6.0 ③ 3.9	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪痕が見える。口縁部は上位が横ナデ、 中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。	
2 第427回 PL173	須恵器 杯	埋土 底部片	② 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第427回 PL173	須恵器 椀	カマド、床直 1/3	① 13.6 ②6.4③5.6 ③ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③にやや褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第427回 PL173	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.8 ④ 7.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。 高台は貼付。	
5 第427回 PL173	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部小片	① 15.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り、 軸調は透明感のない灰黒色。	光ヶ丘1号室式 副

6 第427回 PL173	灰焼陶器 皿	+ 8 底部片	② 7.4 ④ 7.0	①微砂粒、水蔵 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨き技法はヘラナゲで不明。高台は貼付。旋軸方法不明。	光ヶ丘1号墓式 期～大原2号墓 式期
7 第428回 PL173	土師器 鉢	カマド、埋土 口縁部～体部下 位片	① 27.2 ② 16.0 ③ (15.7)	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰やや軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部と体部は輪挽。	
8 第428回	須恵器 羽釜	埋土 底部付近片	② 9.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。胴部下位は横方向のヘラ削り。	
検出番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	石 鑑 考	
9 第429回 PL173	石製品 持形丸柄	床直 完形	縦 2.5 横 3.4 厚 0.6 孔 1.8×0.5 重 8.0		裏面の一部剥離、裏面に留める為の小孔が3カ所開けられている。	碧玉

146号住居

検出番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第431回 PL173	土師器 杯	埋土 1/4	① 13.2 ② 6.2 ③ 3.7	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナゲ、中位・下位はナゲ。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第431回 PL173	須恵器 杯	カマド 1/3	① 10.6 ② 5.0 ③ 3.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
3 第431回 PL173	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 10.3 ② 5.4 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
4 第431回 PL173	須恵器 椀	埋土 1/2	① 11.4 ② 5.0 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
5 第431回 PL173	須恵器 椀	床直、埋土 口唇部・高台 一部欠	① 11.6 ②6.0③5.5 ④ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
6 第431回 PL174	須恵器 椀	床直、埋土 2/3	① 10.8 ②6.5③5.0 ④ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨き技法はナゲで不明。高台は貼付。	
7 第431回 PL174	須恵器 椀	カマド 1/3	① 11.5 ②6.2③6.0 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
8 第431回 PL174	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 11.3 ②6.4③6.2 ④ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
9 第431回 PL174	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① 11.8 ②7.0③6.3 ④ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨き技法はナゲで不明。高台は貼付。	
10 第432回 PL174	須恵器 椀	床直 完形	① 12.0 ②7.2③6.5 ④ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
11 第432回 PL174	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 12.0 ②6.0③5.8 ④ 4.6	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨き技法はナゲで不明。高台は貼付。	
12 第432回 PL174	須恵器 椀	カマド、床直 ほぼ完形	① 13.0 ②6.4③7.2 ④ 6.5	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨き技法はヘラナゲで不明。高台は貼付。	
13 第432回 PL174	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部一部・ 高台部一部欠	① 13.8 ② 7.0 ③ (6.2)	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
14 第432回 PL174	須恵器 椀	床直 口唇部1/2・高台 一部欠	① 14.4 ② 9.2 ③ (6.0)	①粗砂粒 ②還元焰やや軟質 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り磨き技法はナゲで不明。高台は貼付。	
15 第432回 PL174	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 23.6 胴径 28.6	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形。磨は貼付。	

16 第432回 PL174	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部中 位片	① 25.6 胴径 28.2	①粗砂粒 ②熾火焔 ③にぶい黄色	ロクロ成形。脚は貼付。	
----------------------	-----------	---------------------	-------------------	------------------------	-------------	--

147号住居

神代番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②焼成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第435回 PL175	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.0	①粗砂粒 ②良好 ③棕色		口縁部は上位が横ナデ、中位ナデ、回転ヘラ削り。	
2 第435回 PL175	須恵器 杯	床直 ほぼ完形	① 12.2 ② 5.0 ③ 4.3	①粗砂粒 ②熾火焔 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	外面口縁部に墨書、「物」
3 第435回 PL174	須恵器 杯	床直、埋土 3/4	① 13.2 ② 5.2 ③ 3.9	①粗砂粒 ②熾火焔 ③にぶい棕色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第435回 PL174	須恵器 杯	+6 2/3	① 13.5 ② 6.6 ③ 4.8	①粗砂粒 ②熾火焔 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第435回 PL175	須恵器 杯	+6 口縁部一部欠	① 11.8 ②6.0③5.3 ③ 5.0	①粗砂粒 ②熾火焔 ③にぶい棕色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第435回 PL175	須恵器 杯	+10、埋土 ほぼ完形	① 12.3 ②6.2③5.7 ③ 4.6	①粗砂粒 ②熾火焔 ③黄褐色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第435回 PL175	須恵器 杯	埋土 1/4	① 15.2 ②6.6③6.2 ③ 4.3	①粗砂粒 ②熾火焔 ③黄褐色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
8 第435回 PL175	須恵器 杯	+16、埋土 2/3	① 14.0 ② 7.2 ③ (4.8)	①粗砂粒、褐色色 ②熾火焔 ③棕色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第435回 PL175	須恵器 杯	+9 高台欠	① 13.4 ② 6.8 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②熾火焔 ③ (4.8) 灰色		焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第435回 PL175	灰釉陶器 兵舞伎	床直 頸部～口縁部上 位片	胴径 5.6	①粗砂粒 ②熾火焔 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は二段接合。着釉方法不明、釉調は透明感のある緑灰色。	
11 第435回	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 10.0 胴径 11.6	①粗砂粒 ②良好 ③褐色		口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第435回 PL175	土師器 壺	床直、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 12.6 胴径 15.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色		口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
13 第435回 PL175	土師器 壺	床直、埋土、 146住 口縁部～胴部 片	① 18.4 胴径 19.4 胴径 21.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色		頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
14 第435回 PL175	土師器 壺	カマド 底部～胴部下位 片	② 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色		胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、底部はハケ目。	
15 第435回 PL175	土師器 壺	埋土 底部～胴部下位 片	② 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色		胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
16 第435回	土師器 台付壺	床直 胴部下位片	② 5.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色		脚部は接合。胴部下位は縦方向のヘラ削り、脚部との接合部は横ナデ。底部はナデ。内面胴部はヘラナデ。	

148号住居

棟号 図取番号	種 類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第438図 PL175	土師器 杯	床直 2/3	① 12.0 ② 6.2 ③ 3.4	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第438図 PL175	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.8 ② 6.4 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪模様が残る。口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第438図 PL175	須恵器 椀蓋	埋土 1/5	口径 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。内面に椀との重焼きの痕跡が見られる。掴みは貼付。天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
4 第438図 PL175	須恵器 杯	床直 ほぼ完形	① 11.4 ② 5.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第438図 PL176	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 12.2 ② 6.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第438図 PL176	須恵器 杯	+13 1/5	① 12.0 ② 6.2 ③ 3.5	①粗砂粒 ②還元焰様 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第438図 PL176	須恵器 椀	+7 口縁部一部欠	① 12.4 ② 5.3④4.8 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第438図 PL176	須恵器 椀	+13 2/3	① 12.8 ② 6.4④6.0 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第438図 PL176	須恵器 椀	床直 1/4	① 13.0 ② 6.3④6.6 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
10 第438図 PL176	須恵器 椀	床直、+8 口縁部一部欠	① 13.2 ② 7.2④6.6 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰やや軟質 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第438図	須恵器 椀	埋土 口縁部～高台片	① 14.0 ② 8.0④7.4 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③淡黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	
12 第438図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
13 第438図 PL176	灰釉陶器 椀	床直 底部片	② 8.2 ④ 7.8	①微砂粒 ②還元焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
14 第438図 PL176	灰釉陶器 皿	床直 口縁部一部欠	① 13.3 ② 7.5④6.7 ③ 3.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
15 第438図 PL176	灰釉陶器 長頸壺	埋土、149住 底部片	② 5.6 ④ 5.0	①微砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。	
16 第438図 PL176	須恵器 罌	床直 口縁部片	① 46.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③明褐色	ロクロ成形。口唇部下に貼付した凸帯が一条通る。	

149号住居

棟号 図取番号	種 類	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第442図 PL176	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 12.8 ② 7.2 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第442図 PL176	須恵器 椀	埋土 1/3	① 13.2 ② 7.0④6.8 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

3 第442回 PL176	須恵器 椀	カマド、埋土 1/3	① 16.3 ② 7.0 ③ 5.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第442回	灰釉陶器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 8.0 ④ 8.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛 塗り。釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号室式 期
5 第442回 PL176	灰釉陶器 長頸壺	埋土、1住、 C-2・5 胴下半～底部	② 8.2 ④ 7.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。胴部下半は回転 ヘラナデ。施釉方法不明。	
6 第442回 PL176	須恵器 鉢	埋土 底部片	② 16.0 ④ 16.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。高台は貼付。体部下半はヘラナデ。	
7 第442回	土師器 甕	埋土 口縁部～頸部上 位片	① 21.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。	
採収番号 採取番号 8第443回 PL176	種類 器種	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
	須恵器 刀子	埋土 刀身片	長 (6.5) 身幅 0.4～1.2 身厚 0.3			

150号住居

採収番号 採取番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②焼成	成形・整形の特徴	備 考
1 第445回	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 9.6 ③ (2.5)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色		口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部ヘラ ナデ。	
2 第445回	土師器 杯	+8 口縁部片	① 12.0 ② 6.8 ③ (3.1)	①粗砂粒 ②良好 ③褐色		口縁部に輪痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ。底部は不定方向のヘラナデ。	
3 第445回 PL177	土師器 杯	+10、埋土 3/4	① 11.8 ② 9.8 ④ 4.0	①細砂粒 ②軟質 ③浅黄色		口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラナ デ。底部は不定方向のヘラナデ。	
4 第445回 PL177	土師器 杯	+6 口縁部一部欠	① 12.0 ② 8.4 ③ 4.2	①細砂粒 ②軟質 ③棕色		口縁部は上位が横ナデ、中位・下位は2段の横 方向ヘラナデ。底部は不定方向のヘラナデである が器面磨耗のためヘラナデの単位不明。	
5 第445回	土師器 杯	埋土 1/5	① 12.2 ② 8.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②やや軟質 ③棕色		口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラナ デ。底部ヘラナデであるが器面磨耗のためヘラ ナデの単位不明。	
6 第445回	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 8.4 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明	
7 第445回 PL177	須恵器 杯	埋土 1/2	① 12.0 ② 7.6 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第445回	須恵器 杯	埋土 口縁部～底部小 片	① 11.8 ② 8.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第445回 PL177	須恵器 杯	+34、埋土 3/4	① 12.6 ② 7.8 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
10 第445回 PL177	須恵器 杯	+19、埋土 2/3	① 11.8 ② 6.4 ③ 4.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
11 第445回 PL177	須恵器 杯	+42、埋土 3/4	① 11.8 ② 6.2 ③ 4.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 底部は寛鬆高台状を呈す。	
12 第445回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色		ロクロ成形、回転右回りか。	
13 第445回 PL177	須恵器 椀	+42、埋土 口縁部上位～底 部片	② 9.5 ④ 8.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

14 第445図	灰物陶器 皿	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のない灰色。	
15 第445図 PL177	須恵器 長頸煮蓋	+7 完形	① 9.4 口径 2.1 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴みは貼付。天井部中程までは回転ヘラ削り。	
16 第445図 PL177	須恵器 短頸煮	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 12.2 口径 11.4 胴径 18.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
17 第445図 PL177	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 口径 16.6	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
18 第446図 PL177	土師器 甕	床直、+6～19 口縁部～胴部下 位片	① 20.0 口径 18.0 胴径 20.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
19 第446図 PL177	土師器 甕	床直、+7～14 口縁部～胴部下 位片	① 20.4 口径 18.1 胴径 21.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
20 第446図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 21.0 口径 19.0 胴径 22.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
21 第446図	土師器 甕	カマド 底部～胴部下位 片	② 6.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部下位は斜め方向と横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
22 第446図	土師器 台付甕	埋土 底部片	② 4.5	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部下位はヘラ削り。脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
23 第446図	須恵器 甕	埋土 口縁部片	① 18.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口唇部に貼付された凸帯が1条走る。	

151号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第449図 PL178	土師器 杯	+8・8、埋土 1/2	① 11.8 ② 8.4 ③ 3.4	①粗砂粒、褐色粒 ②やや軟質 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り 底部は不定方向のヘラ削り。	内面底部刻書?
2 第449図 PL178	須恵器 杯蓋	床直、埋土 口縁部片	① 18.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。端部折り曲げ。	
3 第449図 PL178	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 口径 17.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

152号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第452図 PL178	須恵器 碗	床直、埋土 1/4	① 11.8 ② 6.0 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第452図 PL178	須恵器 碗	床直 完形	① 12.6 ②6.7③6.4 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第453図 PL178	土師器 甕	床直、+2・13・ 14・16、埋土 口縁部～胴片	① 19.6 口径 19.2 胴径 22.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
4 第453図 PL178	土師器 甕	+12、83・86住 口縁部～胴部上 位片	① 16.6 口径 15.6	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目とヘラナデ。	

5 第453回 PL178	須恵器 壺	+32 口縁部片	① 18.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口唇部は上下に引き出されている。	
---------------------	----------	-------------	--------	---------------------	------------------------	--

153号住居

押戻番号 回収番号	種 器	類 型	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第456回	須恵器 杯	埋土 口縁部片		① 9.6		①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下半は回転ヘラ削り。	
2 第456回 PL178	須恵器 椀	カマド、床直 口縁部一部欠		① 15.4 ②7.6③8.6 ③ 6.4		①多量の細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第456回 PL178	土師器 壺	カマド、埋土 口縁部～胴部下 位片		① 24.8 ②類径 23.4 ③ 25.8		①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。胴部下半の上位は横方向、下位は縦方向のヘラ削り。	
4 第456回	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～唇片		① 29.4 ② 24.6		①粗砂粒 ②還元焰 ③明褐色	ロクロ成形。唇は貼付。	

154号住居

押戻番号 回収番号	種 器	類 型	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第460回 PL179	黒色土器 椀	床下土坑、床直 底部		② 7.8 ④ 7.4		①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	内面黒色地埋。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。内面はヘラ磨き。	
2 第460回 PL179	須恵器 椀	床直、+6 1/2		① 15.6 ② 7.0 ③ (5.0)		①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが端部を打ち欠いている。	
3 第460回 PL179	灰輪陶器 皿	床直 底部片		② 7.4 ④ 6.6		①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りで行われている。	光ヶ丘1号墓式 期
4 第460回 PL179	須恵器 羽釜	カマド、O-9 口縁部～胴部下 位片		① 25.0 ② 29.2 ③ 28.8		①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。唇は貼付。胴部下位は底部から髀方向へ向けての縦方向のヘラ削りが一部施されている。	5と同一個体か
5 第460回 PL179	須恵器 羽釜	カマド、+9、埋 土、P-9 底部		② 10.8		①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下位は縦方向、底部上は横方向のヘラ削り。内面底部はヘラナデ。	4の底部か

155号住居

押戻番号 回収番号	種 器	類 型	出土位置 残 存 率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第463回 PL179	須恵器 杯	+42 1/4		① 11.8 ② 6.6 ③ 3.6		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。底部は疑似高台状を呈す。	
2 第463回	須恵器 杯	埋土 1/4		① 13.0 ② 7.4 ③ 3.3		①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第464回 PL179	須恵器 杯	埋土 1/4		① 12.0 ② 6.6 ③ 3.6		①細砂粒 ②還元焰 ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第464回 PL179	須恵器 杯	+28 1/4		① 13.2 ② 8.4 ③ 3.9		①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第464回	須恵器 椀	埋土 口縁部片		① 13.0 ② 8.0 ③ (4.9)		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	

6 第464回 PL179	灰釉陶器 小瓶	+48 口縁部～胴部片	直径 2.0 胴径 7.2	①微砂粒 ②還元焰 ③ふよい褐色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り、 釉調は透明感のある緑灰色と透明感のない灰色。
7 第464回	土師器 瓶	埋土 底部片	② 14.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部下位は斜め方向のヘラ削り、最下位は横ナ デ、底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
8 第464回	土師器 壺	埋土 口縁部片	① 21.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
9 第464回 PL180	土師器 壺	床直、+46 口縁部片	① 23.0 胴径 21.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
10 第464回 PL180	土師器 台付壺	カマド 胴部片	② 5.0 胴径 16.2	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部に輪横痕が残る。胴部は上半が横方向、下 半は縦方向のヘラ削り。底部付近は横ナデ。内 面胴部はヘラナデ。

156号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ③色調	②焼成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第467回 PL180	土師器 杯	カマド 口縁部一部欠	① 11.4 ② 5.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②良好 ③褐色		口縁部に輪横痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底 部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
2 第467回 PL180	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0	①粗砂粒 ②やや軟質 ③褐色		口縁部に輪横痕が残る。口縁部は上半がナデ、 下半が横方向のヘラ削り。	
3 第467回 PL180	須恵器 杯	床直 1/2	① 11.6 ② 6.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③明黄褐色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	155号住居から の混入か
4 第467回 PL180	須恵器 碗	床直 完形	① 10.8 ② 4.8 ③ 5.0	①細砂粒 ②還元焰 ③浅黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口唇部に煤が付着。	内面口縁部に墨 書、「日干」か。
5 第467回 PL180	須恵器 碗	床直 1/3	① 12.6 ② 6.6 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第467回 PL180	須恵器 碗	カマド 1/4	① 13.2 ②6.4③6.2 ③ 6.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第467回 PL180	須恵器 碗 (底部穿孔)	床直 底部片	② 8.0 ① 7.0 孔径 1.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。底部に焼成後の穿孔が見られる。	
8 第467回 PL180	灰釉陶器 碗	埋土 底部片	② 7.8 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	大塚2号室式陶
9 第467回 PL180	土師器 壺	床直、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.2 胴径 19.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色		口縁部・頸部に輪横痕が残る。口縁部から頸部 は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内 面胴部はヘラナデ。	
10 第467回 PL180	須恵器 羽釜	カマド、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 18.0 胴径 22.6 胴径 22.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③明赤褐色		ロクロ成形。罫は貼付。	
検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm, g)	①胎土 ③色調	②焼成	特 徴 等	備 考
11 第467回 PL180	鉄器 釘	埋土 完形	長 8.8 厚 0.3~0.5 頭部 2.0×1.0			頭部は折り曲げて端部は広がる。針部は使用後 再度引き抜いたためか湾曲している。	
12 第467回 PL180	鉄器 釘	埋土 完形	長 7.9 厚 0.5~0.7 頭部 1.0×0.7			頭部は折り曲げて小型である。	

157号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ③色調	②焼成	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第471回	土師器 杯	+11 口縁部片	① 11.0 ② 8.2 ③ (3.9)	①細砂粒 ②軟質 ③褐色		口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削 り。底部はヘラ削り。	

2 第471回 PL181	土師器 杯	カマド 1/4	① 11.7 ② 8.2 ③ (4.1)	①細砂粒 ②軟質 ③にぶい黄褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。
3 第471回	土師器 杯	+27 口縁部片	① 12.0 ② 8.2 ③ (3.7)	①細砂粒 ②軟質 ③褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。
4 第471回	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.0 ② 9.4 ③ (2.8)	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。底部はヘラ削り。
5 第471回 PL181	須恵器 杯蓋	+24・28 1/2	① 16.5 胴径 4.2 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴みは貼付。天井部中ほどまでは回転ヘラ削り。
6 第471回 PL181	須恵器 杯蓋	+24 2/3	① 17.2 胴径 4.2 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴みは貼付。天井部中ほどまでは回転ヘラ削り。
7 第471回 PL181	須恵器 杯	カマド、+20・ 24、埋土 2/3	① 12.0 ② 6.8 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
8 第471回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。
9 第471回 PL181	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 19.6 胴径 17.0 胴径 21.6	①細砂粒 ②良好 ③褐色	頸部に輪積みが残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向、下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
10 第471回 PL181	土師器 甕	カマド、+12・33 口縁部～胴部下 位片	① 21.4 胴径 18.8	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削りであるが単位・方向は不鮮明。内面胴部はヘラナデ。
11 第471回 PL181	土師器 甕	+33、埋土 口縁部～胴部	① 23.6 胴径 19.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	頸部・胴部に輪積みが残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削りであるが単位・方向は不鮮明。内面胴部はヘラナデ。
12 第471回	土師器 甕	床直 底部～胴部下位 片	② 4.4	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。

158号住居

探訪番号 回覧番号	種別 器種	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第474回 PL181	土師器 杯	+8 口唇部一部欠	① 11.2 ② 6.7 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪積みが残る。口唇部は横ナデとナデ、口縁部は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りで中ほどに磨れ砂が残る。内面はヘラナデ	
2 第474回 PL181	土師器 杯	+19、埋土 口唇部一部欠	① 11.8 ② 6.6 ③ 3.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積みが残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
3 第474回 PL181	土師器 杯	+30、83住 口縁部一部欠	①11.6～ 12.6 ②5.6 ③4.4	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	焼成時の歪みが大い。口縁部に輪積みが残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第475回 PL181	須恵器 杯	カマド、152住3/ 4	① 12.4 ② 6.4 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第475回 PL182	須恵器 椀	カマド、+23、 152住 3/4	① 12.6 ②6.6③6.1 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③淡褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第475回 PL182	須恵器 椀	カマド 1/3	① 13.0 ②7.3③6.2 ③ 4.8	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。	
7 第475回 PL182	須恵器 椀	+23、83住 口唇部・高台 一部欠	① 13.0 ②6.7③6.4 ③ 5.1	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ヘラナデ。高台は貼付。	
8 第475回 PL182	須恵器 椀	+14 完形	① 13.2 ②6.3③5.9 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。	

9 第475回 PL182	須恵器 椀	カマド 2/3	① 13.4 ②6.8③6.4 ③ 4.8	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ヘラナデ。高台は貼付。
10 第475回 PL182	須恵器 椀	カマド、+23、 152住、M-10口 縁部一部欠	① 14.0 ②6.8③6.2 ③ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。
11 第475回 PL182	土師器 小壺	塚土 口縁部～胴部中 位片	① 13.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	内外面に輪積痕が残る。口縁部から胴部は横ナデ。胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
12 第475回 PL182	土師器 壺	塚土 口縁部～胴部中 位片	① 19.6 胴径 17.6 胴径 23.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部に輪積痕が残る。口縁部から胴部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。

159号住居

神宮寺号 図版番号	種 器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①動土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第477回 PL182	須恵器 椀	壁外 口唇部一部欠	① 12.1 ② 6.8 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第477回 PL182	須恵器 椀	床直 1/4	① 11.6 ② 5.4 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第477回 PL182	須恵器 椀	+17 3/4	① 11.6 ② 5.1 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい赤褐色	底部・口縁部に輪積痕が見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第477回 PL182	須恵器 椀	床直 1/4	① 11.9 ②6.2③5.7 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第477回 PL182	須恵器 椀	+8、埋土 4/5	① 13.0 ②7.0③7.0 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。	
6 第477回 PL182	須恵器 椀	+20 口唇部・高台 一部欠	① 13.2 ②6.1③5.6 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第477回 PL183	須恵器 椀	+11 1/3	① 13.5 ②6.0③5.4 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不明。高台は貼付。	
8 第477回 PL183	須恵器 椀	+8・11 口唇部大半・ 高台欠	① 17.8 ② 8.6 ③ (5.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
9 第477回 PL183	須恵器 椀	床直、+10、 塚土、D-6 3/4	① 13.4 ② 7.0 ③ (6.2)	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をヘラナデ。高台は貼付であるが端部欠損。	
10 第477回 PL183	灰釉陶器 椀	塚土、B-7、 C-6、D-6 一部欠	① 14.0 ②7.0③6.4 ③ 4.9	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある灰色。	大塚2号宮式期
11 第477回 PL183	須恵器 長頸壺	塚土、C-6 1/2	②7.8③7.3 胴径 5.8 胴径 14.0	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り難し技法はナデで不明。高台は貼付。胴部の整形は磨面磨減のため不明。	
12 第477回 PL183	須恵器 鉢	+16、C-7 胴部片	② 12.0 ④ 14.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部は貼付。	
13 第478回 PL183	土師器 壺	+8・9 口縁部～胴部中 位片	① 18.4 胴径 16.4 胴径 20.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部に輪積痕が残る。口縁部から胴部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
14 第478回	須恵器 壺	+8・20・22 胴部上半片	胴径 17.0 胴径 22.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄褐色	ロクロ成形。	
15 第478回 PL183	須恵器 羽釜	+25、塚土、C-6 口縁部～胴部中 位片	① 17.6 胴径 22.6 胴径 22.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴は貼付。	

16 第478回 PL183	須置器 羽釜	+28、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 胴径 21.6	①粗砂粒 ②燼火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
17 第478回 PL183	須置器 羽釜	+28、埋土 底部～胴部中 位片	② 7.8 胴径 24.2	①粗砂粒 ②燼火屑 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下位は斜め方向のへう削り。底部は不定方向のへう削り。	
18 第478回 PL183	須置器 罫	+12～25、埋土、 C-6	② 13.2 胴径 11.6 胴径 22.0	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰色	底部・胴部に接合痕が見られる。ロクロ成形、回転右回り。胴部は上半がへうナダ、下半は縦方向へう削り後部分的に横方向のへう削り。	
19 第478回 PL183	須置器 罫	床直+6～28 口縁部と胴部の 一部を欠く	② 16.0 胴径 17.2 胴径 26.0	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部は回転へう削り後下位の一部に縦方向のへう削り。底部は一定方向のへう削り。	
20 第479回 PL183	須置器 罫	+8～20、壁外 2/3	胴径 16.6 胴径 31.2	①粗砂粒 ②燼火屑 ③明赤褐色	ロクロ成形。胴部は平行叩き後横方向のへう削りであるが部分的に叩き痕が残る。	

160号住居

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第481回 PL183	須置器 杯	埋土 1/3	① 11.0 ② 6.4 ③ 3.6	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第481回 PL183	須置器 椀	貯蔵穴 底部	② 6.6 ④ 6.0	①粗砂粒 ②燼火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第481回 PL183	須置器 椀	埋土 底部・高台片	② 8.6 ④ 8.0	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付で端部に切れ込みが見られる。	
4 第481回 PL183	須置器 罫	+15 底部～胴部下位 片	② 21.0	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰色	ロクロ成形。胴部下位は横方向のへう削り。底部はへう削り。内面胴部はへうナダ。	

1号建物

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	備 考	
1 第480回 口絵	銅製品 八種鏡	埋土 完形	径 9.9 重 73.3	厚 0.5	鏡面に2体の仏像が毛彫りされている。裏面は蓮花双鳥文である。	考察・分析参照

4号建物

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第487回	黒色土器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ③ 6.6	①粗砂粒 ②燼火屑 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はへうナダで不明。高台は貼付。内面は放射状へう磨き。	
2 第487回	須置器 杯	埋土 口縁部片	① 9.2 ② 5.0 ③ 3.1	①粗砂粒、褐色粒 ②燼火屑 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第487回	須置器 椀	埋土 底部片	② 8.8 ④ 8.6	①粗砂粒 ②燼火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第487回	灰輪陶器 椀	埋土 口縁部下位片	② (7.0)	①微砂粒 ②燼火屑 ③灰白色	ロクロ成形。口縁部下位は回転へう削り。高台が貼付か。施釉方法は漬け掛け、釉薬はやや緑色をおびた灰色。	虎渡山1号窯式 期
5 第487回	須置器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.8 胴径 23.6	①粗砂粒 ②燼火屑 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	

3号井戸

検出番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第493図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.0 ②8.0③7.5 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
2 第493図	須恵器 椀	埋土 口縁部下半片	② 8.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	

1号土坑

検出番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第495図	須恵器 椀	埋土 底部へ口縁部下 位片	② 7.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第495図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.4 ④ 7.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

3号土坑

検出番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第495図	土師器 杯	埋土 1/4	① 12.4 ② 6.0 ③ 3.5	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部中に輪積板が残る。口縁部は上位が横ナズ、中位はナズ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第495図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.6 ②5.8③5.9 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明高台は貼付。	
3 第495図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部へ胴部	① 22.0 口径 25.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。舞は貼付。	
4 第495図	須恵器 羽釜	埋土 底部へ胴部下位 片	② 9.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。胴部・底部ともヘラ削りが施されているが単位・方向は不鮮明。	

9号土坑

検出番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第497図	黒色土器 椀	埋土 底部片	② 7.6 ④ 7.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘクナデで不明。高台は貼付。	
2 第497図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 9.4 ② 4.9 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.2 ② 6.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 1/5	① 9.4 ② 4.8 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 完形	① 10.6 ② 4.6 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 3/4	① 12.0 ② 5.2 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

7 第497回	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.6 ② 5.2 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第497回	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.6 ② 5.2 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 口縁部・高台 大平欠	① 10.5 ②6.9③6.5 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。	
10 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ②7.6③6.8 ④ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰燐 ③黒色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
11 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 口唇部一部欠	① 11.6 ② 5.3 ③ (4.0)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
12 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ②5.9③5.6 ④ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰燐 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。	
13 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ②5.9③5.7 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
14 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 1/2	① 12.0 ②6.0③5.3 ④ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
15 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 2/3	① 12.4 ②6.3③6.1 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
16 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.4 ②5.8③5.6 ④ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰燐 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
17 第497回 PL184	須恵器 椀	底面 1/2	① 15.0 ②7.7③8.7 ④ 6.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
18 第497回 PL185	須恵器 椀	埋土 1/2	① 14.6 ②7.9③8.9 ④ 7.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③淡黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
19 第497回 PL184	須恵器 椀	埋土 高台片	② 7.0 ④ 9.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
20 第497回 PL185	須恵器 皿	埋土 1/2	① 13.8 ②8.4③8.0 ④ 2.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
21 第497回 PL185	灰釉陶器 椀	底面 1/2	① 15.8 ②7.8③7.5 ④ 5.7	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け 掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
22 第497回	灰釉陶器 皿	埋土 底面片	② 7.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け 掛け、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期～大原2号窯 式期
23 第498回 PL185	須恵器 長頸壺	埋土 胴部上半片	頸径 2.8 胴径 16.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は二段接 合。頸部は横ナデ、胴部・頸部付近は一部ヘラ 削り。	
24 第497回	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 胴径 23.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。踵は貼付。口唇部に粘土小塊付着。	
25 第497回 PL185	須恵器 羽釜	底面、埋土 口縁部～胴部下 位片	① 22.0 胴径 24.8 胴径 24.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。踵は貼付。胴部下半 は底部から上位へ向けての縦方向ヘラ削り。	
26 第497回	須恵器 羽釜	埋土 胴部下半片	② 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。内面に輪轡痕が残る。胴部下半は 縦方向、最下位は横方向のヘラ削り。	
27 第497回	須恵器 椀 (底部穿孔)	埋土 高台片	② 12.0 ④ 13.4 孔径 0.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部に輪轡痕が残る。 底部切り離し技法はナデで不明。底部の穿孔は 焼成前。	

15号土坑

検出番号 図版番号	種類	形態	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第500図 PL185	須恵器	椀	埋土 口縁部一部欠	① 10.9 ② 5.8 ③ 3.5	①粗砂粒、褐色粒 ②燉火硝 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第500図 PL185	須恵器	椀	埋土 完形	① 10.7 ② 5.4 ③ 4.2	①粗砂粒 ②燉火硝 ③灰色	内面底部に輪痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第500図 PL185	須恵器	椀	埋土 口縁部大半欠	① 11.2 ② 5.0 ③ 4.1	①粗砂粒 ②燉火硝 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第500図 PL185	須恵器	椀	埋土 口唇部一部欠	① 10.7 ②5.7③5.0 ③ 4.5	①粗砂粒 ②燉火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第500図 PL185	須恵器	椀	埋土 2/3	① 13.4 ②7.2③8.0 ③ 6.5	①細砂粒 ②燉火硝がみ ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
6 第500図	須恵器	椀	埋土 1/5	① 11.8 ② 5.4 ③ (3.9)	①細砂粒 ②燉火硝 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが脱落。	
7 第500図 PL185	須恵器	椀	底面 口縁部上半欠	② 6.4 ④ 5.7	①粗砂粒 ②燉火硝 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第500図	須恵器	椀	埋土 底部片	② 9.0 ④ 7.6	①細砂粒 ②燉火硝 ③にぶい灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第500図 PL185	須恵器	皿	埋土 1/2	① 13.0 ② 6.4 ③ 2.1	①粗砂粒、褐色粒 ②燉火硝 ③にぶい灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
10 第500図	須恵器	耳皿	埋土 口縁部片		①細砂粒 ②燉火硝塊 ③黒褐色	ロクロ成形。	
11 第500図	灰軸陶器	椀	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.4	①微砂粒 ②燉火硝 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。蓋触方法不明。軸調は透明感のない灰色。	大原2号窯式類
12 第500図 PL185	須恵器	羽釜	埋土 口縁部～胴部上位片	① 18.0 口径 22.6	①粗砂粒 ②燉火硝 ③灰色	ロクロ成形。罫は貼付。	
13第500図 PL185	須恵器	鉄器	埋土 釘	計 調 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備考
				長 (3.5) 厚 0.4×0.5 頭部 0.7×1.0		頭部は台形状を呈し、折り曲げ。	

16号土坑

検出番号 図版番号	種類	形態	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第501図 PL186	須恵器	椀	埋土 底部片	② 7.2 ④ 7.2	①細砂粒 ②燉火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

17号土坑

検出番号 図版番号	種類	形態	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第501図 PL186	須恵器	杯	底面 2/3	① 12.4 ② 6.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②燉火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第501図	須恵器	杯	埋土 口縁部片	① 12.0	①細砂粒 ②燉火硝 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向右回りか。	

3 第501図	須恵器 杯	埋土 底部片	㊸ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
------------	----------	-----------	-------	------------------------	-----------------------	--

19号土坑

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第501図	須恵器 椀	底面 口縁部片	① 13.8	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③洗黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第501図	須恵器 椀	埋土 底部片	㊸ 6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

21号土坑

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第502図	須恵器 椀	底面 1/5	① 14.0 ② 7.0 ③ 4.1	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第502図 PL186	須恵器 椀	埋土 1/3	① 13.8 ②7.8⑦7.0 ③ 5.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第502図	須恵器 椀	底面 口縁部片	① 11.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形。	
4 第502図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第502図	須恵器 椀	底面 底部	② 7.0 ④ 6.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第502図	須恵器 椀	底面 底部～口縁部下 半片	② 6.4 ④ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第502図 PL186	須恵器 椀	底面 底部～口縁部下 半片	② 6.9 ④ 6.2	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

25号土坑

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第502図	須恵器 椀	底面 底部～口縁部下 位片	㊸ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り	
2 第502図	須恵器 羽釜	底面 口縁部～胴部上 位片	① 22.0 口径 24.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。跡は貼付。	

26号土坑

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第503図 PL186	須恵器 杯	埋土 口唇部一部欠	① 10.5 ② 6.5 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口唇部の一部に煤が付着。	
2 第503図 PL186	須恵器 椀	埋土 1/6	① 9.4 ② 5.0 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第503図 PL186	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ② 5.4 ③ 4.0	①粗砂粒 ②凝火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。	
4 第503図 PL186	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.8 ②7.2③6.7 ④ 4.7	①細砂粒 ②凝火硝塊 ③黒色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。 高台は貼付。	
5 第503図 PL186	須恵器 椀	底面 口縁部一部欠	① 15.0 ②7.4③7.2 ④ 6.3	①粗砂粒、褐色粒 ②凝火硝 ③いぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。 高台は貼付。	
6 第503図	灰釉陶器	埋土 底部	② 6.8 ④ 6.0	①微砂粒 ②凝火硝 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大塚2号室式期
7 第503図 PL186	灰釉陶器 耳皿	埋土 1/2	② 3.6	①微砂粒 ②凝火硝 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	
8 第503図 PL186	土製品 平瓦	埋土 小片		①粗砂粒 ②凝火硝 ③いぶい赤褐色	上面は布目紋。下面はヘラナデ。	

27号土坑

探函番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第504図 PL186	土師器 杯	埋土 1/2	① 12.9 ② 6.4 ③ 4.2	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部中ほどに輪痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第504図 PL186	須恵器 杯	底面 1/4	① 11.8 ② 6.2 ③ 3.5	①粗砂粒、小礫 ②凝火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切りで疑似高台状を呈す。	
3 第504図 PL186	須恵器 椀	埋土 ほぼ完形	① 11.6 ②6.2③6.0 ④ 4.6	①粗砂粒 ②凝火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。 高台は貼付。	外面口縁部に墨書、「物」。
4 第504図 PL186	須恵器 皿	埋土 2/3	① 13.4 ② 6.0 ③ (2.7)	①細砂粒 ②凝火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り。 高台は貼付であるが剥落。	
5 第504図 PL186	須恵器 平瓶	埋土 口縁部・胴部片	① 4.8 胴径 13.0	①細砂粒 ②凝火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。頸部と胴部は二段接合。	
6 第504図 PL187	須恵器 長頸甕	埋土 胴部片	胴径 23.2	①粗砂粒 ②凝火硝 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
7 第504図 PL187	須恵器 壺	埋土 口縁部～胴部上 半	① 55.0	①粗砂粒 ②凝火硝 ③灰色	口唇部下に凸帯が1条走る。口縁部は上半に凹縁によって3区画されその内部に波状文(5～8条)胴部は外面が平行叩き、内面が同心円状アテ具痕	

29号土坑

探函番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第505図 PL187	須恵器 椀	埋土 1/2	① 11.8 ②6.0③5.7 ④ 4.3	①粗砂粒 ②凝火硝軟質 ③いぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
2 第505図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 5.8 ④ 5.1	①粗砂粒 ②凝火硝軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転未切り後ナデか。高台は貼付。	

30号土坑

探函番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第505図	土師器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 5.2	①粗砂粒 ②良好 ③黄褐色	口縁部下半はナデ。底部は雑なヘラ削り。	

2 第505回	須恵器 杯	埋土 1/6	① 13.4 ② 6.8 ③ 3.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は不明。	
3 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 完形	① 11.6 ② 4.6 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。口縁部はヘラナダ。	
4 第505回	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.6 ④ 6.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	

31号土坑

探検番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 完形	① 11.8 ②6.1③5.8 ④ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
2 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 2/3	① 11.5 ②6.0③5.5 ④ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
3 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 48.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	口唇部下に貼付された凸部が1条走る。口縁部は2段以上の波状文(単位6〜)が施文。	

33号土坑

探検番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第505回	土師器 杯	埋土 口縁部片	② 6.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部下半はナダ。底部はヘラ削り。	
2 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.4 ②6.2③6.0 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
3 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.8 ②6.7③6.5 ④ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
4 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.8 ②7.0③6.2 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
5 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 1/3	① 13.0 ②8.0③7.3 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付で難な成・整形。内面は還元焰でにぶい褐色を呈す。	
6 第505回 PL187	須恵器 椀	埋土 1/2	① 12.4 ②6.8③6.4 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
7 第505回	土師器 椀	埋土 口縁部片	① 19.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナダ。	
8 第505回 PL188	須恵器 椀	埋土 口縁部下半~胴部上位片	頸径33.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口縁部上半は凹縁による区画がきれ波状文(単位5〜)が施されている。内面胴部は同心円状アテ具痕。	

35号土坑

探検番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第506回	黒色土師器 椀	埋土 口縁部片	① 12.8	①粗砂粒 ②還元焰ざみ ③灰黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。内面は横方向のヘラ削り。	
2 第506回	須恵器 椀	埋土 底部~口縁部下位片	② 6.4 ④ 6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナダで不明。高台は貼付。	

3 第506図	須志器 皿	埋土 1/5	① 12.0 ② 6.7 ③ (2.0)	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
4 第506図 PL188	灰軸陶器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 6.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。軸調は透明感のある淡緑色。	黒管90号窓式箱
5 第506図	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 28.0	①粗砂粒 ②良好 ③によい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向のヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。	
6 第506図	須志器 羽釜	埋土 口縁部～脚部片	① 23.8 脚径 25.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい褐色	ロクロ成形。脚は貼付。内面は口唇部横ナデ、口縁部が横方向のハケ目。	

36号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第508図	須志器 羽釜	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 20.0 脚径 23.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい褐色	ロクロ成形、回転右回りか。脚は貼付。	
検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備考
2 第508図 PL188	鉄製品 釘	埋土 1/2	長 (5.2) 厚 0.6×0.6		断面は多角形を呈す。	

38号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第508図 PL188	須志器 杯	埋土 完形	① 10.8 ② 4.6 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。	
2 第508図 PL188	須志器 椀	埋土 1/3	① 12.1 ②5.9③5.9 ④ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第508図	須志器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
4 第508図	須志器 具類壺	埋土 胴部下位～底部 片	② 11.6 ④ 11.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラナデ。	

40号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第508図	須志器 椀	埋土 口縁部片	① 12.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第508図	灰軸陶器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 8.0 ④ 8.2	①粗砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。胎輪方法は不明。軸調は透明感のない灰色。	大塚2号窓式箱

41号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第507図 PL188	須志器 椀	底面 1/2	① 14.0 ②7.1③6.0 ④ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪み大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	
2 第507図 PL188	須志器 椀	埋土 1/2	① 13.5 ② 7.5 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り後ナデ。高台は貼付。	
3 第507図	須志器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 7.0 ④ 6.6	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高台は貼付。	

4 第507回 PL188	須恵器 椀	底面 底部～口縁部下 位片	② 8.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
			④ 8.0			
5 第507回 PL188	緑釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。内面はヘラ磨き。 底部に円を陰刻。釉調は透明感のある濃緑色。	東面産10C前半 代
			④ 6.6			
6 第507回 PL188	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 15.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り。 釉調は透明感のない黒色を帯びた灰色。	光ヶ丘1号室式 期

42号土坑

採回番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第507回 PL188	須恵器 椀	埋土 4/5	① 12.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	②焼成 ③色調	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右 回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
			② 6.7				
			③ 4.7				
2 第507回 PL188	須恵器 椀	埋土 底部・高台	② 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	②焼成 ③色調	内外面に輪轍面が残る。ロクロ成形、回転右回 り底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。	
			④ 11.6				
			台高 4.1				

43号土坑

採回番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第507回 PL188	須恵器 杯	埋土 1/2	① 12.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③明赤褐色	②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
			② 6.6				
			③ 3.6				
2 第507回 PL188	須恵器 椀	埋土 完形	① 11.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
			② 6.2				
			④ 4.8				
3 第507回 PL188	須恵器 椀	埋土 完形	① 11.8	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③黒褐色	②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口縁部下半はヘラナデ。高台は貼付。	
			② 6.2				
			④ 4.5				
4 第507回 PL188	須恵器 椀	埋土 1/2	① 13.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
			② 6.6				
			④ 5.7				

44号土坑

採回番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第508回	須恵器 椀	埋土 1/2	② 6.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

45号土坑

採回番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 (単位 cm)	量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第509回 PL188	須恵器 椀	埋土 2/3	① 13.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③よい褐色	②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
			② 6.6				
			④ 5.5				
2 第509回	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	②焼成 ③色調	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで 周囲はナデ。高台は貼付。	
			④ 6.0				
3 第509回	土師器 壺	埋土 口縁部片	① 25.6	①粗砂粒 ②良好 ③よい黄褐色	②焼成 ③色調	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ磨り。内面胴部はヘラナデ。	

47号土坑

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②焼成	成形・整形の特徴	備 考
1 第509図 PL189	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.4 ② 7.2 ③ 3.5	①細砂粒 ②濃灰褐色 ③黒褐色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 内面は口縁部中ほどに縄痕が1条通る。	
2 第509図	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②濃灰褐色 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

48号土坑

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②焼成	成形・整形の特徴	備 考
1 第510図	須恵器 椀	埋土 1/4	② 7.3 ④ 6.8	①細砂粒 ②濃灰褐色 ③灰色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第510図	土師器 壺	埋土 口縁部片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色		口縁部から頸部は横ナゲ。	
3 第510図	須恵器 壺	埋土 口縁部小片		①細砂粒 ②濃灰褐色 ③灰色		凹縁で区画され波状文が施文。	

49号土坑

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②焼成	成形・整形の特徴	備 考
1 第509図 PL189	土師器 杯	埋土 口唇部一部欠	① 11.4 ② 5.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色		口唇部は横ナゲ、口縁部は下位に僅かに横方向 のヘラ削りの他にナゲで一部に指頭痕が残る。 底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第509図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.0 ② 6.6 ③ 4.0	①粗砂粒 ②濃灰褐色 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第509図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	② 7.4 ④ 7.0	①粗砂粒 ②濃灰褐色 ③にぶい橙色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ナゲで不明。高台は貼付。	
4 第509図	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.0 ④ 5.4	①粗砂粒 ②濃灰褐色 ③黒褐色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

50号土坑

検出番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②色調	②焼成	成形・整形の特徴	備 考
1 第510図 PL189	須恵器 椀	埋土 1/3	① 10.2 ② 5.4 ③ 3.5	①粗砂粒、小礫 ②濃灰褐色 ③浅黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第510図 PL189	須恵器 椀	埋土 3/4	① 10.8 ② 4.8 ③ 3.3	①細砂粒 ②濃灰褐色 ③浅黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第510図 PL189	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.2 ② 4.4 ④ 4.1	①粗砂粒 ②濃灰褐色 ③浅黄色		ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	外面口縁部に墨書、「物」。
4 第510図 PL189	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部一部欠	① 13.0 ②7.7⑦0.0 ③ 2.4	①細砂粒 ②濃灰褐色 ③灰白色		ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ヘラナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け 掛け釉調はやや緑色をおびた灰色。	大塚2号宮式期
5 第510図 PL189	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 口径 24.2	①粗砂粒 ②濃灰褐色 ③にぶい橙色		ロクロ成形。踵は貼付。	

6 第510回 PL189	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 28.0 口径 30.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。外面胴部に輪積痕が残る。罫は貼付。	
検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	石 材 考
7 第510回 PL189	石製品 砥石	埋土 1/2	長 (7.0) 幅 4.1～4.6 厚 1.0～2.9 重 93.0		表裏・側面に磨痕が残る。中ほどの使用頻度が 濃しく磨り減っている。	砥沢石

51号土坑

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第510回 PL189	須恵器 椀	埋土 4/5	① 11.0 ② 5.0 ③ 3.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第510回	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 12.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り か、釉調は透明感のない黒色を帯びた灰色。	光ヶ丘1号室式 副か
3 第510回	灰釉陶器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	② 7.3 ④ 6.9	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、 釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号室式期 か
4 第510回 PL189	須恵器 壺	埋土 底部	② 16.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。胴部最下位は横方向のヘラ削 り、その上位はヘラナデ。	

53号土坑

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第511回	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 19.6	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は樽ナデ、胴部はナデ。口縁部と胴部の 間に凹線が1本走る。	

55号土坑

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第511回 PL189	須恵器 椀	底面 完形	① 12.6 ②6.2③5.4 ④ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	内外面の口縁部 に漆付着。
2 第511回 PL189	須恵器 椀	底面 1/3	① 13.6 ②7.1③6.8 ④ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第511回	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.4	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色④	ロクロ成形、回転右回り。	
4 第511回	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	② 5.6 ④ 5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口縁部下位は横方向のヘラ削り。高台は貼付。	
検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
5 第511回 PL189	鉄器 釘	埋土 胴部・先端欠	長 (6.0) 厚 0.4×0.4		断面四角形を呈す。針部は左右に湾曲している。	

60号土坑

検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第512回	須恵器 椀	埋土 底部	② 5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄褐色		

2 第512図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部~胴座上 位片	① 16.8 口径 20.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。罫は貼付。	
------------	-----------	---------------------	-------------------	---------------------	-------------	--

65号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第512図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部~胴部片	① 21.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
2 第512図	須恵器 羽釜	埋土 底部片	② 9.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下位は斜め方向のへら削り。底部はへら削り。	
検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
3第512図 PL189	鉄器 釘	埋土 2/3	長 (11.1) 厚 0.8×0.8 胴部 1.7×0.9		大型品、胴部は鍛造の。	

66号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第512図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部~胴部小 片	① 20.2 口径 24.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。罫は貼付。	

73号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第513図 PL189	灰輪陶器 椀	埋土 底部~口縁部下 半片	② 6.6 ④ 6.3	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はへらナゲで不明。高台は貼付。口縁部下位は回転へら削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は緑灰色。	虎渡山1号窯式 期

74号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第514図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
2第514図 PL189	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 4.4 厚 0.5×0.5 胴部 0.6×0.8		断面多角形を呈す。胴部折り曲げ。	
3第514図 PL189	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 4.2 厚 0.5×0.5 胴部 0.7×0.8		断面多角形を呈す。胴部折り曲げ。	
4第514図 PL189	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 3.5 厚 0.4×0.5 胴部 0.7×0.7		断面多角形を呈す。胴部折り曲げ。	
5第514図 PL189	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 3.4 厚 0.5×0.5 胴部 0.6×0.7		断面多角形を呈す。胴部は錆で肥厚している。	

80号土坑

検出番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第515図	須恵器 椀	埋土 底部~口縁部下 半片	② 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③によい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

2 第515図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部片	① 20.0 口径 24.6	①粗砂粒 ②燼火焔 ③にぶい褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
------------	-----------	---------------	-------------------	------------------------	-------------	--

82号土坑

探検番号 図版番号	器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第515図 PL190	須恵器 椀	埋土 高台一部欠	① 11.6 ②6.6③6.2 ④ 4.6	①粗砂粒 ②燼火焔 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底面は回転糸切り。高台は貼付。底面の整形は内外面とも雑である。	
2 第515図	須恵器 羽釜	底面 口縁部～胴部片	① 21.6 口径 25.2	①粗砂粒 ②燼火焔 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。罫は貼付。	
3 第515図 PL190	陶器 甕	埋土 口縁部片	① 12.7	①粗砂粒 ②燼火焔 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。内外面に褐輪がかかっている。	

103号土坑

探検番号 図版番号	器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第515図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 6.8 ④ 6.6	①粗砂粒 ②燼火焔 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底面は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第515図	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.2 ④ 7.1	①粗砂粒 ②燼火焔 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底面は回転糸切り後 周囲をナゲ。高台は貼付。	

108号土坑

探検番号 図版番号	器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第516図	灰輪陶器 皿	埋土 1/4	① 14.4 ②8.2③8.0 ④ 2.8	①粗砂粒 ②燼火焔 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底面切り離し技法は ヘラナゲで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛 塗りか、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期

114号土坑

探検番号 図版番号	器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第517図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 11.6 ② 5.4 ③ (4.0)	①粗砂粒 ②燼火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台が貼付。	
2 第517図	須恵器 椀	埋土 底面片	② 7.7 ④ 7.7	①粗砂粒 ②燼火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底面は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第517図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部片	① 20.0 口径 22.6	①粗砂粒 ②燼火焔 ③灰色	ロクロ成形。罫は貼付。	

115号土坑

探検番号 図版番号	器 類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第517図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 4.8	①粗砂粒 ②燼火焔 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底面は回転糸切り。	
2 第517図	須恵器 椀	埋土 1/6	① 13.8 ②7.2③6.6 ④ 5.0	①粗砂粒 ②燼火焔 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底面切り離し技法不 明。高台は貼付。	

117号土坑

採回番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第517図 PL190	黒色土器 椀	埋土 口唇部一部欠	① 15.4 ②7.8③7.6 ③ 5.9	①粗砂粒 ②軟火焼 ③浅黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。内面は中心から放射状へのヘラ磨き。	
2 第517図 PL190	須恵器 杯	埋土 口縁部一部欠	① 12.8 ② 6.4 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元火焼質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第517図 PL190	土師器 台付壺	底部1/2	① 12.1 ② 4.3 ③ (14.4)	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ磨り。胴部と頸部は接合で接合部は横ナゲ。内面胴部はヘラナゲ。	

118号土坑

採回番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第517図 PL190	須恵器 杯	埋土 1/4	① 11.8 ② 7.0 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元火焼 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第517図 PL190	須恵器 杯	底面、埋土 1/2	① 12.6 ② 6.7 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元火焼 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第517図	須恵器 椀	底面、埋土 口縁部片	① 15.8 ② 7.8 ③ (4.6)	①細砂粒 ②還元火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
4 第518図 PL190	土師器 壺 (台付壺)	埋土 口縁部～胴部下 位片	① 10.8 胴径 10.0 胴径 12.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	内面に輪積板が残る。口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は横方向から斜め方向のヘラ磨り。内面胴部はヘラナゲ。	
5 第518図	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向のヘラ磨り。内面胴部はヘラナゲ。	

129号土坑

採回番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第519図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②還元火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第519図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 8.0	①細砂粒 ②還元火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

10号溝

採回番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第526図 PL190	土師器 椀	埋土 3/4	① 14.0 ②5.6③6.6 ③ 5.9	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪積板が残る。口唇部は横ナゲ、口縁部はヘラナゲ。底部～高台は横ナゲ。高台は貼付。	
2 第526図	黒色土器 椀	埋土 底部	② 5.5	①粗砂粒 ②軟火焼 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナゲ。高台は貼付。内面は底部が不定方向、口縁部下位は横方向のヘラ磨き。	
3 第526図	須恵器 杯	埋土 1/4	① 10.2 ② 6.2 ③ 2.8	①細砂粒 ②還元火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第526図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.8 ②6.6③6.0 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	

5 第526図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.8 ② 6.0 ③ (4.0)	①粗砂粒 ②燧火屑 ③によい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナゲで不明。高台は貼付であるが脱落。	
6 第526図	須恵器 椀	埋土 1/6	① 10.6 ② 6.3 ③ (3.4)	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。	
7 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下位片	② 6.4 ④ 6.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付で腹部に1条の凹線が走る。	
8 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下位片	② 6.7 ④ 5.7	①粗砂粒 ②燧火屑軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下位片	② 8.4 ④ 8.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下位片	② 9.2 ④ 9.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下位片	② 9.0 ④ 8.6	①粗砂粒 ②燧火屑軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第526図 PL190	青磁 碗	埋土 口縁部片	① 15.0	①微砂粒緻密 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。外面に片彫りによる顕著弁文。軸葉は透明感があり厚く(0.8mm)施軸。	中国龍泉窯系 13C、中～後葉
13 第526図 PL190	青磁 碗	埋土 口縁部片	① 17.0	①微砂粒緻密 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。外面に片彫りによる顕著弁文。軸葉は透明感があるが薄い(0.2mm)施軸。	中国龍泉窯系 13C、中～後葉
14 第526図 PL190	青磁 碗	埋土 口縁部下位片	① 微砂粒緻密 ②還元焰焼締め ③灰	①微砂粒緻密 ②還元焰焼締め ③灰	ロクロ成形、回転方向不明。連弁文。軸葉は透明感がありかなり薄い(0.3mm)ほどの施軸。	中国龍泉窯系 14C代
15 第526図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.0	①微砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下位は回転ヘラ削り。施軸方法は漬け掛け、軸調は透明感のある緑色を帯びた灰色。	大原2号窯式期 ～虎浜山1号窯式期
16 第526図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①微砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施軸方法は漬け掛けか軸調は透明感のないやや黒みかかった灰色。	大原2号窯式期 ～虎浜山1号窯式期
17 第526図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナゲで不明。高台は貼付。施軸方法不明、軸調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
18 第526図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.4 ④ 8.0	①微砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナゲで不明。高台は貼付。施軸方法不明、軸調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期 ～虎浜山1号窯式期
19 第526図	灰釉陶器 手付瓶	埋土 頸部小片	頸径 7.0	①微砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形。把手は貼付。施軸方法不明、軸調は透明感のある緑灰色。	
20 第526図	灰釉陶器 長頸壺	埋土 底部	② 7.6 ④ 7.2	①微砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナゲで不明。頸部下位は回転ヘラ削り。高台は貼付。	
21 第526図 PL191	須恵器 長頸壺	埋土 頸部片	頸径 7.6	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰白色	ロクロ成形。胴部と頸部の接合は二段接合か。	
22 第526図 PL190	須恵器 瓶	埋土 底部～胴部下位片	② 8.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナゲで不明。胴部最下位はヘラ削り。	内面にベンガラ着色。ベンガラ容器
23 第526図 PL191	土師器 壺	埋土 口縁部～胴部中位片	① 22.4 頸径 21.4 胴径 25.2	①粗砂粒 ②良好 ③によい黄褐色	口縁部から頸部は横ナゲ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナゲ。	
24 第526図	土師器 台付壺	埋土 脚部片	② 4.4 ④ 8.4	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	胴部と脚部は接合。脚部は横ナゲ。内面胴部はヘラナゲ。	
25 第527図	須恵器 羽蓋	埋土 口縁部～胴部中位片	① 17.0 胴径 21.0	①粗砂粒 ②燧火屑 ③灰色	ロクロ成形。脚は貼付。	

26 第527図 PL190	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 19.0 口径 22.0	①粗砂粒 ②凝火痕 ③灰色	ロクロ成形。罫は貼付。	外面口縁部に罫書、「中」。
27 第527図	土製品 丸瓦	埋土 小片		①粗砂粒 ②凝火痕 ③にぶい褐色	端部はヘラ削り。内面は布目。外面はヘラナデ。	
検出番号 図版番号	種 類	出土位置 残存率	計 量 (単位 cm, g)	①胎土 ②焼成 ③色調	特 徴 等	備 考
28第527図 PL190	石製品 凹石	埋土 完形	長 13.0 幅 11.2 厚 3.8 孔 3.8×3.6×0.8 重 500.0		裏面にも2.3×2.3×0.6の凹あり。凹は回転による擦痕が見られる。	
29第527図 PL191	石製品 凹石	埋土 完形	長 13.7 幅 9.7 厚 7.3 孔 4.5×3.7×2.0 重 520.0		周囲を丸く加工し、上面中央部に円錐状の凹を作っている。凹は回転による擦痕が見られる。	
30第527図 PL191	鉄器 刀子	埋土 柄～一枚片	長 5.3 幅 0.6～1.2 厚 0.5		柄は片方だけである。	

12号溝

1 第528図	須恵器 杯	埋土 1/5	① 12.7 ② 8.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②凝火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。内面に自然軸が付着。	
2 第528図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.2 ②6.6③6.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②凝火痕 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明口縁部上半は横ナデ、下半はヘラナデ。内面底部はヘラナデ。	
3 第528図	須恵器 椀	埋土 底部	② 8.0 ④ 7.8	①細砂粒 ②凝火痕軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第528図	灰釉陶器 椀	埋土 胴部～口縁部下 位片	② 7.6 ④ 7.5	①微砂粒 ②凝火痕焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み部に重燒き痕が残る。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	

13号溝

1 第530図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 12.0	①細砂粒 ②凝火痕 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下半は回転ヘラ削り。	
2 第530図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 口径 18.2	①粗砂粒 ②良好 ③明褐色	頸部に輪痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

15号溝

1 第531図 PL191	須恵器 椀	埋土 1/3	① 11.4 ② 5.0 ③ 4.2	①細砂粒 ②凝火痕 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第531図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 10.8	①細砂粒 ②凝火痕 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
3 第531図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.6	①細砂粒 ②凝火痕軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第531図 PL191	白磁 皿	埋土		①微砂粒 ②凝火痕焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。軸葉は透明感がなく厚く(0.5mm)施軸。	中国産 14C.後葉～15C.
5 第531図	須恵器 甕	埋土 頸部～胴部上位 片	口径22.0。	①粗砂粒 ②凝火痕 ③灰色	内外面に輪痕が残る。胴部は外面平行引き、内面に同心円状アケ具痕が残る。外面に自然軸付着	

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	備 考
6 第531図 PL191	銅製品 用途不明	埋土 完形	長 7.1 幅 0.5~1.4 厚 0.3~1.1	銅板を巻くようにして作られ、片方の端部を銅板で塞いでいる。	
7 第532図 PL191	鉄器 釘	埋土 先端部片	長 4.8 厚 0.5×0.6	断面は四角形を呈す。	

17号溝

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第534図	土師器 杯	埋土 1/6	① 12.0 ② 7.8 ③ (3.4)	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は上半が横ナゲ、下半がナゲ、底部はヘラ削り。	
2 第534図	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部片	① 19.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。天井部中ほどまでは回転ヘラ削り。	
3 第534図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 8.6 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。	
4 第534図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 7.2	①細砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第534図 PL191	須恵器 高盤	埋土 1/2	① 14.6 ④ 10.8 ⑤ 9.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。脚部は貼付。脚部上位に凹縁が2条走る。盤身内面と脚部外面の一部に自然釉が付着。	
採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)	特 徴 等	備 考	
6 第536図 PL191	鉄貨 和同開珎	完形	外径 2.43 孔 0.65×0.655 厚 0.23 重 0.12 (単位 cm)		残存状態は非常に良好でほとんど使用されていない状態である。	

19号溝

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第537図 PL191	土師器 円筒形土器	埋土 口縁部片	① 25.0	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	内面に輪襷が残る。内外面ともヘラナゲ。	

25号溝

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第540図 PL191	須恵器 長頸壺蓋	埋土 1/2	① 8.4 天井 6.3 ③ 6.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。筒みは貼付。天井部は回転ヘラ削り。口縁部に凹縁が2条走る。	
2 第540図 PL191	須恵器 長頸壺	埋土 口縁部～胴部下位	① 5.4 ② 4.8 肩径 13.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部中位を2条の凹縁で区画し、内部に被杖文を施文、下位は回転ヘラ削り。	
3 第540図 PL191	須恵器 瓶	埋土 胴部片	胴径 14.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。胴部下半は外面に縦方向の平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る。	

27号溝

採掘番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第545図	灰釉陶器 椀	埋土 底部	② 8.6 ④ 8.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	

遺構外出土遺物

土師器 杯

No.	採回番号 図版番号	器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
1	第5528回 PL192	土師器 杯	86区F-18 1/5	①12.4 ② 6.2 ③ 3.2	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が2段の横方向へ テ開リ。内面口縁部は斜放射状略凸。
2	第5528回 PL192	土師器 杯	86区E-13 1/2	①12.6 ② 8.2 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上位が横ナデ、中・下位は横方向へテ開 リ。内面口縁部は斜放射状、底部は線状略凸。
3	第5528回 PL192	土師器 杯	86区C-8 1/4	①16.0 ②11.8 ③(5.2)	①粗砂粒 ②軟質 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向へテ開 リ。内面口縁部は斜放射状略凸。
4	第5528回 PL192	土師器 杯	86区M-4 1/2	①12.2 ② 9.0 ③ 4.3	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向へテ開 リ。底部は右方向へのテ開リ。
5	第5528回 PL192	土師器 杯	86区L-8 4/5	①13.1 ② 8.6 ③ 3.9	①細砂粒 ②やや軟質 ③褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向へのテ開 リ。底部は不定方向へのテ開リ。
6	第5528回 PL192	土師器 杯	86区N-4 1/6	①12.0 ② 9.6 ③ 2.8	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不 定方向へのテ開リ。
7	第5528回 PL192	土師器 杯	86区C・D-8 1/4	①11.4 ② 6.4 ③(3.3)	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪轂痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ、底部は不定方向へのテ開リ。
8	第5528回 PL192	土師器 杯	86区N-4 3/4	①10.9 ② 7.9 ③ 3.6	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向へのテ開リ。底部は不定方向へのテ開リ。
9	第5528回 PL192	土師器 杯	86区 2/3	①11.8 ② 7.2 ③ 3.4	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪轂痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ、底部は不定方向へのテ開リ。
10	第5528回 PL192	土師器 杯	86区P-15 1/3	①12.0 ② 5.8 ③ 3.8	①粗砂粒、小礫 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向へのテ開リ。底部は不定方向へのテ開リ。
11	第5528回 PL192	土師器 杯	86区F-11 3/4	①12.0 ② 5.8 ③ 4.5	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は横ナデで下位に指頭 痕。底部は不定方向へのテ開リ、口唇部に盛付着。
12	第5528回 PL192	土師器 杯	86区F-3 3/4	①12.2 ② 7.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪轂痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ、底部は不定方向へのテ開リ。
13	第5528回 PL192	土師器 杯	86区C-9 1/4	①12.4 ②7.0 ③ 3.5	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が ナデ、底部は不定方向へのテ開リ。
14	第5528回 PL192	土師器 杯	86区C-2 1/4	①16.0 ② 6.6 ③ 3.7	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向へのテ開リ。底部は不定方向へのテ開リ。

黒色土器 椀・皿

No.	採回番号 図版番号	器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
15	第5538回 PL192	黒色土器 椀	2次調査区 口縁部一部欠	①12.6 ② 7.2 ③ 4.7 ④ 6.6	①細砂粒 ②激火焰 ③明赤褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、右回り。底部へラ ナデ。高台貼付。内面口縁部は横方向へテ開 リ。
16	第5538回 PL192	黒色土器 椀	86区F-13 2/5	①14.4 ②6.6 ③(4.3)	①粗砂粒、褐色粒 ②激火焰 ③赤褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。内面 は口縁部、底部とも横方向へのテ開リ。
17	第5538回 PL192	黒色土器 椀	86区G-12 口縁部片	①12.6	①細砂粒 ②激火焰 ③褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。外 面口縁部に盛付、文字判読不能。
18	第5538回	黒色土器 椀	86区E-10 口縁部片	①14.8	①細砂粒 ②激火焰 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内 面口縁部は横方向へのテ開リ。
19	第5538回	黒色土器 椀	86区E-11 底へ口縁下位片	② 6.2	①細砂粒 ②激火焰 ③灰色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底 部は回転余切り。
20	第5538回	黒色土器 椀	86区E-10 底部片	② 7.0	①細砂粒 ②激火焰 ③灰褐色	内外面黒色処理。口縁部は斜め方向、底部は不 定方向へのテ開リ。内面は放射状へテ開リ。
21	第5538回	黒色土器 椀	86区F-12 底へ口縁下位片	② 7.0 ④ 6.6	①細砂粒 ②激火焰 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は へラナデ。高台は貼付。内面は放射状へテ開 リ。
22	第5538回	黒色土器 椀	86区C-6 底へ口縁下位片	② 6.4 ④ 6.0	①細砂粒 ②激火焰 ③にぶい黄褐色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底 部はへラナデ。高台は貼付。内面は放射状へテ開 リ。
23	第5538回	黒色土器 椀	86区F-12 底へ口縁下位片	② 7.0 ④ 7.6	①細砂粒 ②激火焰 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 は回転余切り。高台は貼付。
24	第5538回 PL192	黒色土器 皿	86区C-14 1/5	①12.4 ② 6.6 ③(2.0)	①細砂粒 ②激火焰 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 は回転余切り。内面は縦糸花弁状へテ開リ。

須恵器 杯蓋

No.	採回番号 図版番号	器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
25	第5538回 PL192	須恵器 杯蓋	86区A・B-3 口縁部欠	横径 2.6	①細砂粒 ②激火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。横糸は貼付。天井部 中ほどは回転へテ開リ。

須恵特 杯

No	碑台番号 図版番号	種 類	出 土 位 置 現 存 率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
26	第553図 PL193	須恵器 杯	86区A-12 1/4	①10.2 ② 5.6 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
27	第553図 PL193	須恵器 杯	85区S-5 1/4	①11.4 ② 6.8 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
28	第553図 PL193	須恵器 杯	86区J-4 1/3	①11.6 ② 7.4 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
29	第553図 PL193	須恵器 杯	86区A-7 1/3	①11.8 ② 6.6 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
30	第553図 PL193	須恵器 杯	86区E-12 1/3	①12.0 ② 7.4 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
31	第553図 PL193	須恵器 杯	86区M-4 1/4	①11.8 ② 7.8 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
32	第553図 PL193	須恵器 杯	85区F-11 1/4	①12.0 ② 7.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へつ切り 後回転へつ削り。
33	第553図 PL193	須恵器 杯	86区M-5 1/4	①12.2 ② 7.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 内面見込み部に重焼き痕が残る。
34	第553図 PL193	須恵器 杯	86区O-4 1/2	①12.6 ② 7.1 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
35	第554図 PL193	須恵器 杯	86区C-14 完形	①12.0 ② 7.4 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
36	第554図 PL193	須恵器 杯	86区F-9 1/4	①12.0 ② 6.4 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。
37	第554図 PL193	須恵器 杯	86区C-15 口唇部一部欠	①12.0 ② 7.2 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
38	第554図 PL193	須恵器 杯	86区B-13 1/4	①12.6 ② 7.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
39	第554図 PL193	須恵器 杯	2次 3/4	①12.8 ② 8.0 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へつ切り 後回転へつ削り。
40	第554図 PL193	須恵器 杯	86区A-7 1/4	①12.8 ② 8.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へつ削り。
41	第554図 PL193	須恵器 杯	85区S-6 口縁部大半欠	①12.8 ② 7.8 ③ 2.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
42	第554図 PL193	須恵器 杯	86区D-18 1/4	①13.4 ② 8.0 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
43	第554図 PL194	須恵器 杯	86区F-4 1/5	①14.2 ② 9.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
44	第554図 PL193	須恵器 杯	86区D-5 1/6	①11.1 ② 6.4 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
45	第554図 PL194	須恵器 杯	85区S-6 1/4	①12.2 ② 7.8 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
46	第554図 PL194	須恵器 杯	86区L-16 1/3	①12.4 ② 6.1 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
47	第554図 PL194	須恵器 杯	2次 1/5	①12.6 ② 7.6 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
48	第554図 PL194	須恵器 杯	85区 完形	①12.7 ② 7.2 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
49	第554図 PL194	須恵器 杯	85区 口縁部一部欠	①13.0 ② 6.5 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
50	第554図 PL194	須恵器 杯	86区D-14 1/4	①13.2 ② 7.4 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
51	第554図 PL194	須恵器 杯	85区S-4 1/5	①13.4 ② 7.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
52	第555図 PL194	須恵器 杯	86区A-6 1/2	①11.2 ② 5.3 ③ 3.0	①細砂粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
53	第555図 PL194	須恵器 杯	86区J-4 1/4	①12.8 ② 6.6 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
54	第555図 PL194	須恵器 杯	86区J-10 1/3	①13.0 ② 6.8 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
55	第555図 PL194	須恵器 杯	86区J-10 1/4	①13.0 ② 7.0 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。

56	第555回 PL194	須恵器 杯	86区C-14 口縁部大半欠	①13.2 ② 6.2 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
57	第555回 PL194	須恵器 杯	85区T-13 1/2	①14.2 ② 7.4 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
58	第555回 PL194	須恵器 杯	86区H-18・19 1/2	①14.4 ② 8.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
59	第555回 PL194	須恵器 杯	86区K-16 口唇部一部欠	① 9.5 ② 5.8 ③ 2.7	①細砂粒 ②還元焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は静止糸切り。 内外面の口縁部に煤付着。
60	第555回 PL194	須恵器 杯	86区C-14 3/4	① 8.8 ② 4.0 ③ 2.5	①細砂粒 ②還元焰 ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
61	第555回	須恵器 杯	86区G-10 1/5	① 8.2 ② 5.6 ③ 2.1	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向のへ し削り。内面に煤付着。

須恵器 椀（盤台）

No.	検出番号 図版番号	器 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
62	第555回 PL194	須恵器 椀	86区C-10 ほぼ完形	①11.0 ② 5.6 ③ 3.0	①細砂粒、褐色粒 ②還元 焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
63	第555回	須恵器 椀	85区S-7 1/6	①11.4 ② 6.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
64	第555回	須恵器 椀	86区H-16 3/4	①11.8 ② 5.2 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
65	第555回 PL195	須恵器 椀	86区M-11 1/4	①12.0 ② 5.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
66	第555回	須恵器 椀	86区C-10 1/5	①12.0 ② 5.2 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
67	第555回 PL195	須恵器 椀	86区F-7 3/4	①12.4 ② 6.3 ③ 4.2	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
68	第555回 PL195	須恵器 椀	86区B-13 1/5	①12.4 ② 6.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
69	第555回 PL195	須恵器 椀	86区F-13 1/4	①13.2 ② 6.2 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
70	第555回 PL195	須恵器 椀	86区E-10 1/4	①13.2 ② 6.8 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
71	第555回 PL195	須恵器 椀	86区 1/4	①13.6 ② 7.0 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
72	第556回	須恵器 椀	85区T-11 1/4	①14.0 ② 7.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
73	第556回 PL195	須恵器 椀	86区N-4 口縁部上半欠	② 7.6 ③ 3.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
74	第556回 PL195	須恵器 椀	86区B-7 1/4	①10.0 ② 4.9 ③ 3.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
75	第556回 PL195	須恵器 椀	86区B-7 1/3	①10.0 ② 4.6 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
76	第556回 PL195	須恵器 椀	86区F-10 1/5	①10.0 ② 6.0 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
77	第556回 PL195	須恵器 椀	86区C-10 3/4	①10.2 ② 6.0 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
78	第556回 PL195	須恵器 椀	86区C-8 1/3	①10.4 ② 5.4 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
79	第556回 PL195	須恵器 椀	86区C-10 完形	①10.6 ② 5.2 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
80	第556回 PL195	須恵器 椀	86区C-8 3/4	①10.6 ② 6.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
81	第556回 PL195	須恵器 椀	86区A-6 1/2	①10.7 ② 5.0 ③ 3.1	①細砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
82	第556回 PL195	須恵器 椀	86区C-10 完形	①10.7 ② 5.6 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	焼成時の歪みあり。ロクロ成形、回転右回り。 底部は回転糸切り。
83	第556回 PL195	須恵器 椀	86区E-13 2/3	①10.8 ② 5.4 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
84	第556回 PL195	須恵器 椀	85区R-8 口縁部大半欠	①10.8 ② 5.6 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。

85	第556回 PL196	須惠器 椀	86区A-7 口唇部一部欠	①11.0 ② 4.8 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
86	第556回 PL196	須惠器 椀	86区A-7 1/5	①11.0 ② 6.6 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はナデで不明。
87	第556回 PL196	須惠器 椀	86区B-18 2/3	①11.0 ② 5.8 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。
88	第556回 PL196	須惠器 椀	85区S-5 1/6	①11.1 ② 5.6 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法はヘラナデで不明。
89	第556回 PL196	須惠器 椀	86区L-2 1/2	①11.4 ② 5.2 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
90	第557回 PL196	須惠器 椀	86区K-10 1/4	①11.6 ② 7.0 ③ 4.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
91	第557回 PL196	須惠器 椀	86区L-9 1/4	①12.0 ② 6.4 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
92	第557回 PL196	須惠器 椀	86区D-9 口唇部一部欠	①12.1 ② 6.4 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
93	第557回 PL196	須惠器 椀	85区T-16 1/2	①12.2 ② 6.0 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
94	第557回 PL196	須惠器 椀	86区F-16 1/3	①12.6 ② 6.5 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
95	第557回 PL196	須惠器 椀	86区B-3 口唇部一部欠	①12.6 ② 6.2 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
96	第557回 PL196	須惠器 椀	86区F-9 1/3	①13.0 ② 6.7 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
97	第557回 PL196	須惠器 椀	86区C-8 1/3	①13.4 ② 6.2 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
98	第557回 PL196	須惠器 椀	86区E-12 2/3	①11.9 ② 4.4 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	焼成時の歪みが大い。ロクロ成形、回転右回り底部は回転糸切り。口縁部下平にヘラナデ。
99	第557回 PL196	須惠器 椀	86区C-16 3/4	①10.2 ② 5.6 ③ 3.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
100	第557回 PL196	須惠器 椀	86区E-11 完形	①10.8 ② 5.3 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
101	第557回 PL196	須惠器 椀	86区H-12 完形	①12.8 ② 6.8 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。外面口縁部に墨書「？」と「物」。
102	第557回 PL196	須惠器 椀	86区D・F-11 1/3	①11.0 ② 5.8 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
103	第557回 PL197	須惠器 椀	86区B-10 1/2	①11.8 ② 5.4 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。内面口唇部に墨付書。
104	第557回 PL197	須惠器 椀	86区C-9 1/3	①10.6 ② 5.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
105	第558回 PL197	須惠器 椀	86区F-10 口唇部僅か欠	①10.8 ② 4.7 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は難な回転糸切り。
106	第558回 PL197	須惠器 椀	86区A-6 1/4	①11.0 ② 4.8 ③ 3.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
107	第558回 PL197	須惠器 椀	86区F-11 1/5	①11.6 ② 5.0 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
108	第558回 PL197	須惠器 椀	86区C-4 2/3	①11.4 ② 4.6 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
109	第558回 PL197	須惠器 椀	86区D-10 1/4	①13.6 ② 5.6 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。内面に墨？が付着。

須惠器 椀 (高台)

No.	探訪番号 図版番号	器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
110	第558回 PL197	須惠器 椀	86区J-12 1/3	①12.6 ② 7.0 ③(6.1)	①細砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大い。底部高台接合面に重燒き痕。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り
111	第558回 PL197	須惠器 椀	85区T-10 1/5	①14.0 ② 6.8 ③(5.0)	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付であるが剥落。
112	第558回 PL197	須惠器 椀	86区D-6 1/4	①12.2 ② 6.8 ③ 4.4 ④ 6.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。
113	第558回 PL197	須惠器 椀	86区D-11 1/3	①14.0 ① 7.1 ③ 4.7 ④ 7.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。

114	第558回 PL197	須志器 機	86区G-3 1/3	①15.9 ②7.2 ③6.9 ④5.7	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
115	第558回 PL197	須志器 機	86区J-10 口縁部大半欠	②9.0 ④9.3	①粗砂粒 ②湿火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
116	第558回 PL197	須志器 機	85区R-5 1/3	①16.0 ②7.6 ③(3.7)	①粗砂粒 ②湿火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。
117	第558回 PL197	須志器 機	次調査区 1/4	①10.6 ②6.8 ③5.0 ④6.2	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
118	第558回 PL197	須志器 機	86区A-12 1/2	①11.3 ②6.1 ③4.6 ④5.7	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
119	第558回 PL197	須志器 機	86区A-12 口縁部大半欠	①11.4 ②6.3 ③4.1 ④6.0	①粗砂粒 ②湿火焰 ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
120	第558回 PL197	須志器 機	86区D-18 口縁部大半欠	①11.6 ②6.6 ③3.8 ④3.8	①粗砂粒、小礫 ②湿火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
121	第559回 PL198	須志器 機	85区T-6 2/3	①12.2 ②6.3 ③4.9 ④6.3	①粗砂粒、褐色粒 ②湿火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口唇部に保付着。
122	第559回 PL198	須志器 機	86区B-18 2/3	①12.2 ②5.3 ③3.9 ④4.8	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
123	第559回 PL198	須志器 機	86区M-4 口縁部大半欠	①14.0 ②9.1 ③5.3 ④8.5	①細砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
124	第559回 PL198	須志器 機	86区P-15 1/4	①14.2 ②7.8 ③9.2 ④4.7	①粗砂粒、小円礫 ②湿火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
125	第559回 PL198	須志器 機	86区E-8 ほぼ完形	①15.0 ②8.8 ③6.4 ④7.0	①粗砂粒、小円礫 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
126	第559回 PL198	須志器 機	86区J-9 1/5	①11.3 ②5.6 ③4.3 ④4.9	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明。高台は貼付。
127	第559回 PL198	須志器 機	85区T-7 1/5	①11.8 ②6.4 ③4.4 ④6.0	①粗砂粒 ②湿火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
128	第559回 PL198	須志器 機	86区M-12 1/2	①11.8 ②7.3 ③6.6 ④6.6	①粗砂粒 ②湿火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
129	第559回 PL198	須志器 機	85区S-6 1/4	①12.0 ②6.0 ③4.8 ④5.0	①粗砂粒 ②湿火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
130	第559回 PL198	須志器 機	86区E-11 口縁部大半欠	①12.0 ②7.0 ③5.4 ④6.6	①粗砂粒 ②湿火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
131	第559回 PL198	須志器 機	86区E-12 1/5	①12.2 ②7.0 ③5.0 ④6.7	①粗砂粒 ②湿火焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明。高台は貼付。
132	第559回 PL198	須志器 機	86区M-12 1/4	①12.4 ②6.6 ③5.4 ④6.1	①粗砂粒 ②湿火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明。高台は貼付。
133	第559回 PL198	須志器 機	86区B-3 1/4	①12.6 ②6.2 ③5.8 ④4.8	①粗砂粒 ②湿火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 薄い粘土板を貼付か。高台は貼付。
134	第559回 PL198	須志器 機	86区M-12 口縁部一部欠	①12.8 ②6.6 ③4.7 ④6.1	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
135	第559回 PL198	須志器 機	86区F-8 口縁部一部欠	①12.8 ②6.2 ③4.6 ④5.1	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
136	第559回 PL198	須志器 機	86区L-5 1/5	①12.8 ②6.0 ③4.3 ④5.5	①粗砂粒 ②湿火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
137	第559回 PL198	須志器 機	86区 1/4	①13.1 ②6.6 ③5.1 ④6.0	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
138	第559回 PL198	須志器 機	86区F-8 1/5	①13.0 ②7.0 ③4.5 ④6.0	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
139	第560回 PL198	須志器 機	86区C-10 完形	①13.0 ②6.8 ③6.4 ④5.3	①粗砂粒 ②湿火焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
140	第560回 PL198	須志器 機	86区C-4 1/4	①13.4 ②6.2 ③4.5 ④6.0	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで 周囲はナデ。高台は貼付。
141	第560回 PL199	須志器 機	86区F-11 完形	①13.6 ②6.8 ③5.3 ④6.2	①粗砂粒 ②湿火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高 台は貼付。外周口縁部に黒書か、文字判読不能。
142	第560回 PL199	須志器 機	86区F-11 1/3	①13.8 ②6.8 ③4.9 ④6.5	①粗砂粒、小礫 ②湿火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
143	第560回 PL199	須志器 機	86区E-11 1/4	①14.0 ②6.8 ③5.1 ④5.9	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明。高台は貼付。
144	第560回 PL199	須志器 機	86区L-3 口縁部一部欠	①14.0 ②7.5 ③5.1 ④6.8	①粗砂粒 ②湿火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。

145	第560図 PL199	須恵器 椀	85区S-6 1/4	①14.2 ②7.0 ③5.4 ④6.6	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
146	第560図 PL199	須恵器 椀	86区L-15 1/3	①14.4 ②7.6 ③5.1 ④6.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
147	第560図 PL199	須恵器 椀	85区T-7 口縁部一部欠	①14.6 ②6.9 ③6.0 ④6.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
148	第560図 PL199	須恵器 椀	86区D-10 高台欠	①14.8 ②6.4 ③(5.9)	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
149	第560図 PL199	須恵器 椀	86区A-19 3/4	①14.8 ②7.0 ③5.7 ④6.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
150	第560図 PL199	須恵器 椀	86区C-9 1/3	①14.8 ②7.0 ③(5.2)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明。高台は貼付。
151	第560図 PL199	須恵器 椀	86区F-10 1/4	①14.9 ②7.6 ③(5.0)	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。
152	第560図 PL199	須恵器 椀	86区C-10 1/4	①11.7 ②6.6 ③5.7 ④5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
153	第560図 PL199	須恵器 椀	85区S-6 1/3	①11.0 ②6.0 ③5.0 ④6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
154	第561図 PL199	須恵器 椀	86区E-10 1/4	①11.6 ②5.0 ③4.6 ④4.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明。高台は貼付。
155	第561図 PL199	須恵器 椀	86区D-10 1/2	①11.8 ②6.2 ③5.8 ④5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
156	第561図 PL199	須恵器 椀	86区A-10 1/3	①12.0 ②6.2 ③4.0 ④5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
157	第561図 PL199	須恵器 椀	86区C-6 1/2	①12.1 ②7.0 ③(4.8)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。
158	第561図 PL199	須恵器 椀	86区E-11 1/3	①12.2 ②6.0 ③4.3 ④5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで 周面をナデ。高台は貼付。
159	第561図 PL200	須恵器 椀	86区K-12 2/3	①12.2 ②6.0 ③5.7 ④6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
160	第561図 PL200	須恵器 椀	86区C-8 1/4	①12.3 ②7.2 ③5.0 ④6.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
161	第561図 PL200	須恵器 椀	86区B-12 ほぼ完形	①12.4 ②6.2 ③4.8 ④5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
162	第561図 PL200	須恵器 椀	85区R-8 1/5	①12.8 ②7.0 ③4.8 ④6.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
163	第561図 PL200	須恵器 椀	86区E-12 完形	①13.0 ②7.1 ③6.0 ④7.4	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
164	第561図 PL200	須恵器 椀	86区M-12 1/3	①13.2 ②6.9 ③5.2 ④6.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③改良褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付で乾燥時の置き台が残る。
165	第561図 PL200	須恵器 椀	86区D-11 2/3	①13.6 ②7.2 ③6.4 ④4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
166	第561図 PL200	須恵器 椀	86区A-11 1/4	①15.4 ②8.5 ③5.4 ④7.8	①粗砂粒 ②還元焰ざみ ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明。高台は貼付。
167	第561図 PL200	須恵器 椀	86区N-7 1/4	①13.8 ②8.0 ③(5.1)	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ナデで不明。高台は貼付であるが剥落。
168	第561図 PL200	須恵器 椀	86区D-11 1/4	①9.8 ②6.0 ③4.2 ④5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口縁部はヘラナデ。
169	第561図 PL200	須恵器 椀	85区Q-5 1/2	①10.6 ②5.9 ③4.3 ④5.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。内外口唇部に横付着。
170	第561図 PL200	須恵器 椀	86区E-11 1/3	①11.0 ②5.4 ③4.6 ④5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
171	第561図 PL200	須恵器 椀	86区C-18 高台端部欠	①11.5 ②6.1 ③(4.5)	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが端部が打ち欠かれている。
172	第561図 PL200	須恵器 椀	86区A-12 3/4	①12.6 ②5.8 ③4.7 ④6.0	①粗砂粒 ②還元焰ざみ ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
173	第561図 PL200	須恵器 椀	86区A-12 3/4	①12.7 ②6.0 ③5.4 ④6.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
174	第562図 PL200	須恵器 椀	86区C-10 1/4	①13.6 ②6.8 ③(6.1)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り難し技法不 明。高台は貼付であるが剥落。
175	第562図 PL200	須恵器 椀	85区T-6 1/5	①12.8 ②6.5 ③4.3 ④6.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。 高台は貼付。

176	第562回 PL200	須恵器 椀	86区A-7	①13.2 ②7.2 1/2 ③4.6 ④6.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。
177	第562回 PL200	須恵器 椀	86区C-11	①13.8 ②6.4 1/4 ③5.0 ④5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。
178	第562回 PL201	須恵器 椀	86区A-19	①14.0 ②6.0 1/3 ③4.6 ④5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。
179	第562回 PL201	須恵器 椀	86区A-7	①13.4 ②6.8 1/4 ③7.1 ④7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。高 台は貼付。口縁部下半ヘラナグ。外面に墨書「物」
180	第562回 PL201	須恵器 椀	86区L-5	①14.6 ②6.6 1/5 ③5.5 ④7.2	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。一部煤付着。
181	第562回 PL201	須恵器 椀	86区G-12	①14.7 ②7.0 1/3 ③6.4 ④8.4	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナグで不明。高台は貼付。
182	第562回 PL201	須恵器 椀	86区D-11	①15.4 ②8.0 1/2 ③6.7 ④8.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナグで不明。高台は貼付。
183	第562回 PL201	須恵器 椀	85区T-8	①17.6 ②8.7 1/4 ③(5.0)	①粗砂粒、褐色粒 ②還 元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナグで不明。高台は貼付であるが割落。
184	第562回 PL201	須恵器 椀	86区N-5 底部片	②6.2 ④6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。内面に放射状の線刻。
185	第562回 PL201	須恵器 椀	86区D-5 底部片	②6.2 ④5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。内面にも回転余切り痕。

須恵器 皿

No	押印番号 図版番号	器 類 種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
186	第562回 PL201	須恵器 皿	86区E-11 1/4	①12.8 ②6.2 ③2.2 ④6.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。
187	第562回 PL201	須恵器 皿	86区C-2 1/4	①13.0 ②7.4 ③3.0 ④8.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切りか。 高台は貼付。
188	第562回 PL201	須恵器 皿	86区C-4 1/4	①13.6 ②8.3 ③2.4 ④8.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラナグ。 高台は貼付。
189	第562回 PL201	須恵器 皿	85区R-6 1/3	①13.4 ②7.0 ③2.9 ④7.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り。 高台は貼付。
190	第562回 PL201	須恵器 皿	86区C-11 1/2	①12.2 ②5.7 ③(1.8)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	内面に輪痕が現れる。ロクロ成形、回転右回り。 底部は回転余切り。高台は貼付であるが割落。
191	第562回 PL201	須恵器 皿	86区D-14 1/4	①13.0 ②5.8 ③(2.5)	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転余切り後 ナグ。高台は貼付であるが割落。

須恵器 罎・高杯・鉢

No	押印番号 図版番号	器 類 種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
192	第563回 PL201	須恵器 罎	86区B-12 底部片	②13.0 ④12.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラナグ。 高台は貼付。
193	第563回 PL201	須恵器 高杯	86区E-12 胴部片	接合部径 5.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部は杯身に貼付。
194	第563回	須恵器 鉢(鉄鉢)	86区H-15 口縁部片	①15.8 最大径17.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。

青磁・白磁 椀

No	押印番号 図版番号	器 類 種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
195	第563回	青磁 椀	86区D-6 口縁部小片		①緻密 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。外面片形りによる 銅蓮弁文。釉薬は透明感あり厚く(0.6mm)施釉。
196	第563回	青磁 椀	86区F-17 口縁部小片		①緻密 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。外面片形りによる銅 蓮弁文。釉薬はやや不透明で厚く(0.5mm)施釉。
197	第563回	白磁 罎	86区D-9 口縁部小片		①緻密 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。口唇部は玉縁状。釉 薬は不透明で厚く(0.4mm)施釉。刷線している。

緑釉陶器 椀・皿

No	押印番号 図版番号	器 類 種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
198	第563回 PL201	緑釉陶器 椀	85・T-18、86・A -14口縁部片	①18.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胎土は透明感のある 濃緑色。東海産10C代
199	第563回	緑釉陶器 椀	86区A-14 口縁部小片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。内面に陰刻。胎土 は透明感のある濃緑色。東海産10C代前半

200	第563回	緑釉陶器 椀	86区C-13 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡黄緑色。東海10C代
201	第563回 PL201	緑釉陶器 底部片	86区E-11 底部片	② 7.0 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。内外面にトナリ痕が見られる。高台は貼付。東海10C代
202	第563回	緑釉陶器 椀	3次調査区 底部片	② 6.2 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部回転へラナデ。高台削り出し。外面底部以外を施釉。京都10C代
203	第563回 PL201	緑釉陶器 輪花椀	86区A-6 口縁部小片	② 7.5	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。外面に輪花。内外面に施釉へラナデ。高台は貼付。東海10C後半
204	第563回	緑釉陶器 耳皿	86区F-5 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰軟質 ③黄褐色	ロクロ成形。釉調は透明感のある淡黄緑色。東海10C後半
205	第563回	緑釉陶器 耳皿	86区A-12 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。東海10C後半
206	第563回	緑釉陶器 椀	85区T-5 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のない濃緑色。東海10C後半
207	第563回	緑釉陶器 椀	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡黄緑色。東海10C後半
208	第563回	緑釉陶器 椀	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。横投産K-90型式期
209	第563回	緑釉陶器 椀	86区F-9 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。横投産K-90型式期
210	第563回	緑釉陶器 椀	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡緑色。東海10C代
211	第563回	緑釉陶器 調査区 椀	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。東海10C代
212	第563回	緑釉陶器 椀	86区F-9 口縁部下位片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部下位は回転へラナデ。釉調は透明感のある濃緑色。横投産K-90
213	第563回	緑釉陶器 椀	86区B-16 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡緑色。東海10C代
214	第563回	緑釉陶器 椀	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。東海10C代
215	第563回 PL202	緑釉陶器 椀	86区B-9 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。東海10C代
216	第563回	緑釉陶器 椀	86区A-7 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③黄褐色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡緑色。
217	第563回	緑釉陶器 皿	86区D-11 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下位は回転へラナデ。東海10C代

灰釉陶器 椀

No	標記番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
218	第563回 PL202	灰釉陶器 椀	86区G-8 1/3	①13.0 ② 6.4 ③ 4.2 ④ 5.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
219	第563回 PL202	灰釉陶器 椀	85区Q-5 2/3	①13.2 ② 6.6 ③ 4.1 ④ 6.2	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
220	第563回 PL202	灰釉陶器 椀	86区D-11 1/4	①13.8 ② 7.0 ③ 4.4 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
221	第563回 PL202	灰釉陶器 椀	86区D-11 3/4	①14.9 ② 8.4 ③ 4.6 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
222	第563回	灰釉陶器 2次調査区 底部		② 6.8 ④ 6.0	①微砂粒、緻密 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法不明。
223	第563回	灰釉陶器 椀	86区D-14 1/5	①13.3 ② 6.4 ③ 6.0 ④ 4.7	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
224	第563回 PL204	灰釉陶器 椀	86区C-2 1/4	①13.8 ② 7.0 ③ 4.7 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
225	第563回 PL202	灰釉陶器 椀	86区B-11-12 1/4	①14.8 ② 8.0 ③ 5.1 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
226	第563回	灰釉陶器 椀	86区E-10 1/4	①15.4 ② 7.4 ③ 4.8 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
227	第564回 PL202	灰釉陶器 椀	86区A-10 1/3	①15.4 ② 7.4 ③ 5.4 ④ 5.4	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はへラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
228	第564回 PL202	灰釉陶器 椀	85区R-6、S-4 1/3	①16.0 ② 8.6 ③ 5.3 ④ 8.4	①微砂粒、緻密 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後へラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。

229	第564回 PL.202	灰釉陶器 椀	86区C-12 1/3	①16.2 ② 7.8 ③ 4.7 ④ 7.8	①微砂粒、微密 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法不明。
230	第564回 PL.202	灰釉陶器 椀	86区A-19 1/4	①16.8 ② 8.6 ③ 5.7 ④ 8.0	①微砂粒、微密 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか。
231	第564回 PL.202	灰釉陶器 椀	85区S-5 口縁部一部欠	①17.1 ② 8.8 ③ 6.2 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
232	第564回 PL.202	灰釉陶器 椀	86区D-5・6 1/4	①18.6 ② 8.0 ③ 6.0 ④ 7.8	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
233	第564回 PL.202	灰釉陶器 椀	85区Q-5 1/5	①19.6 ② 8.8 ③ 8.0 ④ 5.5	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか。
234	第564回 PL.203	灰釉陶器 椀	86区G-10・11 1/4	② 6.6 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。施釉方法は漬け掛け。内外面底部に墨書、内「佐」、外「千山」
235	第564回 PL.203	灰釉陶器 椀	86区F-11 1/4	② 6.8 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
236	第564回	灰釉陶器 底部	2次調査区 底部	② 8.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか。
237	第564回 PL.203	灰釉陶器 椀	86区 1/4	①14.4 ② 7.2 ③ 5.4 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
238	第564回 PL.203	灰釉陶器 椀	86区O-10 底部	② 7.0 ④	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
239	第564回 PL.203	灰釉陶器 椀	86区C-5 口縁部下位片	② 8.0	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付であるが割落。施釉方法は漬け掛け。
240	第564回	灰釉陶器 小椀	85区R-5 1/5	①11.2 ② 6.4 ③ 3.7 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
241	第564回	灰釉陶器 小椀	86区G-9 1/3	① 9.2 ② 4.4 ③ 3.2 ④ 4.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。高台貼付。口縁部下位は回転ヘラナデ。施釉方法は漬け掛け。
242	第564回	灰釉陶器 小椀	85区S-8 1/5	①11.0 ② 6.2 ③ 3.1 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
243	第564回	灰釉陶器 小椀	2次調査区 1/5	①12.2 ② 7.0 ③ 4.2 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
244	第564回	灰釉陶器 椀	86区E-3 口縁部片	径11.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、口縁部下位は回転ヘラナデ。施釉方法は刷毛塗りか。

灰釉陶器 皿

No.	押印番号 図版番号	種類	出土位置 残存	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
245	第564回	灰釉陶器 段皿	86区N-13 底部片	② 7.4 ④ 7.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラナデ。高台は貼付。内面底部にトナシ痕。内面全面施釉。
246	第564回 PL.203	灰釉陶器 皿	86区E-9 1/3	①14.8 ② 7.0 ③ 2.4 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
247	第564回	灰釉陶器 皿	86区K-10 2/3	①13.8 ② 6.4 ③ 5.8 ④ 5.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。高台貼付。見込み部に重焼き痕。施釉方法は刷毛塗り。
248	第564回 PL.203	灰釉陶器 皿	86区G-8・9 1/2	①14.0 ② 7.2 ③ 2.5 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
249	第564回 PL.203	灰釉陶器 皿	86区H-4、E-11 3/4	①12.2 ② 7.0 ③ 2.4 ④ 6.7	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
250	第564回	灰釉陶器 皿	86区C-11 1/5	①13.5 ② 7.4 ③ 2.7 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。高台貼付。見込み部に重焼き痕。施釉方法は刷毛塗り。
251	第564回 PL.203	灰釉陶器 皿	86区E-10 1/4	①13.4 ② 7.4 ③ 2.7 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
252	第565回 PL.203	灰釉陶器 皿	85区T-4 1/4	①12.0 ② 6.8 ③ 2.2 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか。
253	第565回	灰釉陶器 皿	85区S-7 1/4	①12.0 ② 7.0 ③ 2.2 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
254	第565回 PL.203	灰釉陶器 皿	86区C-11 1/2	①12.4 ② 6.8 ③ 4.5 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
255	第565回 PL.203	灰釉陶器 皿	86区P-13 ほぼ完形	①13.2 ② 7.0 ③ 2.9 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台貼付。口縁部下位は回転ヘラナデ。施釉方法は漬け掛け。
256	第565回 PL.203	灰釉陶器 皿	85区R・S-7 1/2	①13.0 ② 6.8 ③ 2.5 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
257	第565回 PL.203	灰釉陶器 皿	86区A-11 1/3	①12.2 ② 5.8 ③(2.0)	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。

258	第565図	灰軸陶器 皿	86区 C-7 1/4	①12.2 ② 6.7 ③ 2.1 ④ 6.1	①微砂粒 ②選火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法不明。
259	第565図 PL203	灰軸陶器 皿	86区 A-3 1/2	①12.2 ② 7.0 ③ 2.8 ④ 6.6	①微砂粒 ②選火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
260	第565図	灰軸陶器 皿	85区 T-6 1/2	①12.6 ② 6.5 ③ 2.7 ④ 6.0	①微砂粒 ②選火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
261	第565図	灰軸陶器 皿	86区 A-7 1/4	①12.8 ② 6.7 ③ 2.8 ④ 6.1	①微砂粒 ②選火焼焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナダ。高台貼付。見込み部に直線さび。施釉方法は漬け掛け。
262	第565図	灰軸陶器 小皿	2次調査区 1/5	①10.8 ② 5.6 ③ 2.3 ④ 4.6	①微砂粒 ②選火焼焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
263	第565図	灰軸陶器 小皿	86区 B-9 1/5	①11.4 ② 6.6 ③ 2.1 ④ 6.0	①微砂粒 ②選火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
264	第565図	灰軸陶器 小皿	86区 C-8 1/5	①11.8 ② 5.6 ③ 2.9 ④ 5.2	①微砂粒 ②選火焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
265	第565図	灰軸陶器 段皿	85区 T-14 1/3	①12.6 ② 7.2 ③ 2.3 ④ 6.8	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
266	第565図	灰軸陶器 折縁皿	86区 D-8 口縁部片	①11.4	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け。
267	第565図 PL203	灰軸陶器 皿	86区 F-9 1/3	①10.6 ② 6.2 ③ 6.0 ④ 2.4	①微砂粒 ②選火焼 ③によい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。

灰軸陶器 磁胎

No.	探検番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
268	第565図 PL203	灰軸陶器 短頸壺蓋	85区 S-6 1/3	①11.4 胴径1.9 ③ 2.8	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴みは貼付。施釉範囲は天井部だけであることから自然釉か。
269	第565図 PL203	灰軸陶器 小壺	86区 L-9 胴下位～底部	② 5.0	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明。
270	第565図	灰軸陶器 長頸壺	86区 O-9 口縁部片	①13.6	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形。施釉方法不明。
271	第565図 PL203	灰軸陶器 長頸壺	86区 B-10 頸部～胴部片	胴径6.0	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は接合。施釉方法不明。
272	第565図 PL204	灰軸陶器 長頸壺	86区 B-7、D-7・8 胴部片	胴径5.2	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は接合。施釉方法不明。
273	第565図	灰軸陶器 長頸壺	86区 A-3・5 胴部片	胴径6.4	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は接合。施釉方法不明。
274	第565図 PL204	灰軸陶器 長頸壺	85区 T-4 胴部片	胴径7.0	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部に凹線が1本走る頸部と胴部は接合。施釉方法不明。
275	第565図 PL204	灰軸陶器 長頸壺	85区 S-5 胴部小片		①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形。胴部に陰刻文。施釉方法不明。
276	第565図 PL204	灰軸陶器 長頸壺	86区 D-6、E-6 底部～胴部下位	② 7.8 ④ 7.6	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
277	第565図	灰軸陶器 長頸壺	86区 P-10、N-10 底部～胴部下位	② 8.0 ④ 8.0	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
278	第565図 PL204	灰軸陶器 長頸壺	86区 G-2・3、F-3 底部～胴部下位	② 8.8 ④ 9.2	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明。
279	第565図 PL204	灰軸陶器 長頸壺	86区 D-18、C-16 底部～胴部下半	② 8.6 ④ 8.6	①細砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。胴部下半は回転ヘラ削り。施釉方法不明。
280	第565図	灰軸陶器 長頸壺	85区 T-4 底部～胴部下位	①11.4 ④ 10.8	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナダ。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明。
281	第566図	灰軸陶器 広口壺	85区 T-4 口縁部片	①18.0	①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形。施釉方法不明。胎土は透明感のある緑灰色。
282	第566図	灰軸陶器 手付瓶	86区 D-11、E-11 胴部片		①微砂粒 ②選火焼 ③灰白色	ロクロ成形。胴部は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか、胎土は透明感のある緑灰色。
283	第566図 PL204	灰軸陶器 手付瓶	86区 L-9		①微砂粒 ②選火焼 ③灰色	表面の施釉方法は刷毛塗りか、裏側はヘラ削りで施釉されていない。

須恵器 磁胎

No.	探検番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
284	第566図	須恵器 長頸壺	86区 H-10 頸部	胴径6.2	①細砂粒 ②選火焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部下位に凹線が2本走る。胴部と頸部は接合。

285	第566回 PL204	須恵器 長頸壺	86区A-5 胴部下位片	②13.6 ④12.4	①細砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。回転右回りか。高台は貼付。
286	第566回 PL204	須恵器 短頸壺蓋	86区G-6、F-5 1/4	①17.0 ③(3.7) ④15.8	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。回転右回り。蓋は貼付。天井部は回転ヘラ削り。外面に自然釉付着。
287	第566回 PL204	須恵器 短頸壺	86区N-5、O-4 口縁～胴部上位	①11.6 胴径 15.0	①細砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。回転右回りか。
288	第566回 PL204	須恵器 短頸壺	86区N-4-5、O-5 胴部片	胴径 15.2	①細砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。回転右回り。
289	第566回	須恵器 短頸壺	86区A・B-12 2/3	① 9.7 ②11.6 ③14.0 ④10.4	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。胴部最下位は回転ヘラ削り。
290	第566回 PL205	須恵器 短頸壺	86区F-11 口縁～胴部中位	①15.6 胴径 29.8	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。回転右回り。胴部下半は平行叩き痕が残る。

須恵器 壺

No	採回番号 図版番号	種別 類種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ③色調	②焼成 ④色調	成形・整形の特徴
291	第566回 PL205	須恵器 壺	H-10、L-11、M-10 口縁～胴部上位	①48.0 胴径36.8	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。口縁部と胴部は接合。胴部は平行叩き。
292	第567回 PL205	須恵器 壺	86区F-11 胴部～胴部上位	胴径32.0	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。口縁部と胴部は接合。胴部は平行叩き。内面頸部はヘラナデ。
293	第567回 PL205	須恵器 壺	86区N-4、M-4 胴部下位片	②20.8	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。胴部は外面平行叩き後一部ヘラナデ内面は同心円状アノ具痕。

須恵器 椀(底部穿孔)

No	採回番号 図版番号	種別 類種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①粘土 ③色調	②焼成 ④色調	成形・整形の特徴
294	第567回 PL205	須恵器 椀	86区F-5 底部1/3	② 7.4 ④ 7.4 孔径1.0	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。穿孔は焼成前。
295	第567回 PL205	須恵器 椀	86区E-5 底部	② 8.4 ④ 7.4 孔径1.0	①粗砂粒 ②黄灰色	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③黄灰色	クロコ成形。回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。穿孔は焼成前。
296	第567回 PL205	須恵器 椀	86区B-12 底部1/2	② 8.0 ④ 8.2 孔径1.0	①粗砂粒 ②灰白色	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	クロコ成形。回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。穿孔は焼成前。
297	第567回 PL205	須恵器 椀	86区E-4 底部～口縁下位	② 8.0 ④ 7.2 孔径1.4	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	クロコ成形。回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。穿孔は焼成前。

土製品 模・紡織車輪

No	採回番号 図版番号	種別 類種	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm)	①粘土 ③色調	②焼成 ④色調	成形・整形の特徴
298	第567回 PL204	土製品 風子硯	86区F-17 端部小片		①粗砂粒 ②灰白色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	側面・下面はヘラナデ。後面は二分割。
299	第567回 PL205	土製品 紡織車	86区C-5 一部欠	外径6.0×6.2 厚 0.9 孔 1.0	①粗砂粒 ②灰白色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	クロコ成形。回転右回り。底部は回転糸切り。穿孔は焼成前。
300	第567回 PL205	土製品 瓦具	86区B-11 一部片	厚 1.9	①粗砂粒 ②黄灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	上面は布目。側面・下面はヘラナデ。
301	第568回	土製品 円盤状製品	86区A-13 一部欠	径 4.2 厚 0.6	①粗砂粒 ②暗灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③暗灰色	上下面は整形痕不明。側面はヘラナデか。
302	第568回 PL205	土製品 棒状製品	86区C-10 一部	長(4.1) 幅 1.7 厚 1.3	①粗砂粒 ②灰色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	整形はヘラ削り。

土製品 瓦

No	採回番号 図版番号	種別 類種	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm)	①粘土 ③色調	②焼成 ④色調	成形・整形の特徴
303	第568回 PL206	土製品 平瓦	86区L-5 一部片		①粗砂粒 ②灰褐色	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰褐色	上面はヘラナデ。側面はヘラ削り、下面は布目。
304	第568回 PL206	土製品 平瓦	86区C-10-11 一部片		①粗砂粒 ②赤褐色	①粗砂粒 ②還元焰 ③赤褐色	上面は布目。側面はヘラ削り、下面はヘラナデ。
305	第568回	土製品 平瓦	86区2次 一部片		①粗砂粒 ②赤褐色	①粗砂粒 ②還元焰 ③赤褐色	上面は布目。側面はヘラ削り、下面はヘラナデ。

土製品 埴輪

No	採回番号 図版番号	種別 類種	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm)	①粘土 ③色調	②焼成 ④色調	成形・整形の特徴
306	第568回 PL206	埴輪 円筒	86区B-8 小片	凸帯径19.0	①粗砂粒 ②褐色	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	凸帯は台形状で貼付。外面は縦方向のハケ目。内面は斜め方向のハケ目で一部ナデが施されている。

石製品

No.	押印番号	図版番号	種類・器種	出土位置	残存率	計測値(単位 cm, g)	石材等
307	第568図	PL206	袴帯 蛇尾	86区 B-6	1/3	長(5.5) 幅(3.0) 厚 0.75 重(18)	
308	第568図	PL206	袴帯 丸柄	86区 D-7		長 4.5 幅 2.7 厚 0.65~0.8 重	瑠璃質頁岩
309	第568図	PL206	紡錘車	86区 B-7		径 3.8×3.8 厚 1.1 孔 0.8 重 19	
310	第568図	PL206	紡錘車	86区		径 4.1×4.2 厚 1.5 孔 0.7 重 25	
311	第569図	PL206	碁石	86区 F-5		完全形	
312	第569図	PL206	碁石	85区 T-14	1/2	径(7.7) 幅(2.0~2.6 厚1.8~2.4 重(74)	
313	第569図	PL206	碁石	86区 E-9	1/3	長(5.9) 幅(3.0~3.6 厚1.2~2.6 重(56)	
314	第569図	PL206	石皿	86区		長(10.7) 幅(25.7) 厚(2.2) 重(1,700)	
315	第569図	PL206	用途不明品	86区		長 8.8 幅 8.0 厚 3.5 重190	碁名ニツ岳石
316	第569図	PL206	凹石	86区 B-5		長12.3 幅 8.8 厚 6.8 孔 6.8×5.3×1.8 重 380	碁名ニツ岳石
317	第569図	PL206	凹石	86区 B-6		長14.0 幅13.5 厚 7.0 孔 6.6×6.4×2.0 重 700	碁名ニツ岳石
318	第569図	PL206	凹石	86区		長17.5 幅13.0 厚 9.5 孔 5.1×4.2×1.8 重 1,100	碁名ニツ岳石

金属製品

No.	押印番号	図版番号	種類・器種	出土位置	残存率	計測値(単位 cm, g)	通票等
319	第570図	PL207	銅製品 印	6区 A-3		完全形	
320	第570図	PL207	銅製品 鏡貨	黄色砂層下		完全形	「犬甘」
321	第570図	PL207	銅製品 キセル	表土		径 2.42 芯幅 0.24 孔 0.70×0.705	「煎茶実貨」
322	第570図	PL207	鉄器 紡錘車	86区 E-9		径 5.33 径 0.63×1.02	
323	第570図	PL207	鉄器 紡錘車	86区 F-9		軸長(3.9) 厚 0.5~0.6 円盤径 6.1 厚 0.3	
324	第570図	PL207	鉄器 鎌先	86区 N-5		軸片 長(9.8) 厚 0.5~0.65	
325	第570図	PL207	鉄器 鎌	86区 D-9		長 21.2 幅 16.3 厚 1.5	
326	第570図	PL207	鉄器 鎌	86区 D-9		柄全欠損	柳葉式
327	第571図	PL207	鉄器 刀子	85区 S-4		長 6.1 鎌身長 3.2 幅 1.5 厚 0.4 寛幅 0.8	雁又式
328	第571図	PL207	鉄器 刀子	86区 B-12		長 6.3 鎌身長 3.9 幅 3.6 厚 0.3~0.8 柄 0.5	
329	第571図	PL207	鉄器 刀子	86区 N-10		同端全欠損	
330	第571図	PL207	鉄器 刀子	86区 N-10		刀身大部分欠損	
331	第571図	PL207	鉄器 刀子	86区 I-5		同前破片	
332	第571図	PL207	鉄器 鏡	86区 I-5		長 5.5 刀身幅 0.8~1.5 厚 0.2 開幅 1.0	
333	第571図	PL207	鉄器 角金具	86区 I-5		長 5.2 幅 1.5 厚 0.5	
334	第571図	PL208	鉄器 棒状	86区 B-3		長 3.2 幅 0.9 厚 0.3	
335	第571図	PL208	鉄器 棒状	86区 O-12		柄部分 長 3.9 幅 1.1 孔 0.4 径 0.5×0.6	
336	第571図	PL208	鉄器 棒状	86区 O-12		角部片 長 4.2 幅 0.8, 0.9 厚 0.3	
337	第571図	PL208	鉄器 棒状	86区 O-12		片端部欠損 長 15.0 幅 0.3~0.5 厚 0.2~0.4	端部平坦面
338	第571図	PL208	鉄器 棒状	86区 O-12		両端部欠損 長 8.3 幅 0.5~0.6 厚 0.3~0.5	紡錘車軸?
339	第571図	PL208	鉄器 棒状	86区 O-12		両端部欠損 長 8.4 幅 0.5~0.7 厚 0.4~0.6	鏡柄?
340	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 J-9		長 5.8 幅 0.4 厚 0.4	
341	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 C-5		長 8.4 幅 0.4~0.6 厚 0.3~0.5	紡錘車軸?
342	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 C-5		長 7.1 径 0.7×0.8 頭部 1.4×1.5	頭部折り曲げ
343	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 C-5		長 6.0 径 0.8×1.0 頭部 0.4×1.2	頭部折り曲げ
344	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 A-3		長 4.3 径 0.5×0.8 頭部 0.5×1.2	頭部折り曲げ
345	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 A-3		長 4.2 径 0.5×0.5 頭部 0.7×1.0	頭部折り曲げ
346	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 A-13		長 3.7 径 0.4×0.5 頭部 0.9×1.2	頭部折り曲げ
347	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 F-5		長 4.9 径 0.4×0.6 頭部 0.5×0.6	頭部は若干肥厚
348	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 A-13		長 6.3 径 0.5×0.5	先端部平坦
349	第571図	PL208	鉄器 釘	85区 T-14		長 4.3 径 0.5×0.8	先端部折れ曲がる
350	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 C-6		長 3.1 径 0.4×0.6	
351	第571図	PL208	鉄器 釘	86区 B-4		長 4.2 径 0.4×0.6	
352	第571図	PL208	銅 刺片	85区 T-3		長 3.5 径 0.4×0.4	
353	第571図	PL208	銅 刺片	85区 T-3			
354	第571図	PL208	銅 刺片	85区 T-3			
355	第571図	PL208	鉄 鉄幣	86区 L-9			
356	第571図	PL208	鉄 鉄幣				
357	第571図	PL208	鉄 鉄幣				

群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告書 第 230 号

下芝五反田遺跡—奈良平安時代以降編—(第3分冊)

北陸新幹線地域埋蔵文化財発掘調査報告書第 6 集

1999年(平成11年)3月20日 印刷

1999年(平成11年)3月25日 発行

編集・発行／群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 勢多郡北碓村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511 (代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社
